

平成30年12月20日

平成30年度第9回定例松本市教育委員会

会 議 議 案

松本市教育委員会

平成30年度第9回定例松本市教育委員会付議案件

[議案]

- 第1号 松本市指定文化財の指定及び解除について

[報告]

- 第1号 平成30年松本市議会12月定例会の結果について
- 第2号 平成30年度「地区の皆さんと語る会」の開催結果について
- 第3号 宇宙関連事業講演会の開催結果について
- 第4号 平成29年度児童生徒の生徒指導上の諸問題に関する調査結果について
- 第5号 まつもと子ども未来委員会による市長提言について

[周知事項]

- 1 生誕110周年記念 関四郎五郎特集展示の開催について
- 2 松本市立博物館分館の企画展開催について
- 3 「殿村遺跡とその時代IXー平成30年度報告会・講演会ー」の開催について
- 4 松本市美術館館長アートレクチャーの開催について

[その他]

議案第 1 号

松本市指定文化財の指定及び解除について

1 趣旨

松本市文化財審議委員会から答申のあった下記物件について、松本市文化財保護条例に基づき松本市指定文化財の指定及び指定解除を行うものです。

2 指定する文化財

(1) 名称・区分・所在地等

名 称	指定区分	所 在 地
エリ穴遺跡出土品	重要文化財 (考古資料)	松本市大字中山3738番地1 (松本市立考古博物館)

(2) 指定理由

別紙答申物件概要書のとおり

(3) 適用条文

松本市文化財保護条例第3条、同条例施行規則第2条第1項

3 指定解除する文化財

(1) 名称・区分・所在地等

名 称	指定区分	所 在 地
島立南栗の三本松	特別天然記念物 (植物)	松本市大字島立4961番地

(2) 指定解除理由

指定文化財としての価値が失われたため（平成30年8月23日枯死確認）

(3) 適用条文

松本市文化財保護条例第8条第1号

4 答申書（写）

別紙のとおり ※平成30年12月18日第3回文化財審議委員会において答申

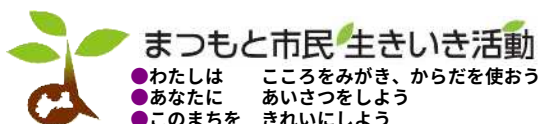
5 その他

エリ穴遺跡出土品については、市重要文化財指定後、長野県宝の指定を目指します。

担当 文化財課

課長 大竹 永明

電話 34-3292





平成30年12月18日

松本市教育委員会 様

松本市文化財審議委員会
委員長 山本 雅道



松本市指定文化財の指定及び解除について（答申）

平成30年9月25日付け松本市教育委員会諮問第2号、及び平成30年12月18日付け松本市教育委員会諮問第3号で諮問のあった、松本市指定文化財の指定及び指定解除について、審議の結果、下記のとおり指定及び指定解除することが適当な旨、答申します。

記

1 指定することが適当と認める物件

名 称	指定区分	所 在 地
エリ穴遺跡出土品	重要文化財 (考古資料)	松本市大字中山3738番地1 (松本市立考古博物館)

2 指定解除することが適当と認める物件

名 称	指定区分	所 在 地
島立南栗の三本松	特別天然記念物 (植物)	松本市大字島立4961番地

以上

松本市文化財審議委員会

答申物件の概要書

平成30年度第3回委員会

松本市教育委員会 文化財課

平成30年12月18日

松本市指定文化財概要書

- 1 指定区分 重要文化財（考古資料）
- 2 名称 エリ穴遺跡出土品
- 3 所在地 松本市大字中山 3 7 3 8 番地 1（松本市立考古博物館）
- 4 所有者 松本市
- 5 物件の概要

- (1) 員数 4 8 4 点
(内訳) 土製耳飾 348 点
土偶、土版・中空動物形土製品、その他の土製品 77 点
土器 48 点
石製品 11 点

- (2) 年代 縄文時代

- (3) エリ穴遺跡の概要

エリ穴遺跡は、縄文時代中期中葉（約 4,500 年前）から晩期後葉（約 2,300 年前）の約 2,200 年にわたって断続して営まれた拠点的な集落である。後期後葉（約 3,400 年前）から晩期中葉（約 2,600 年前）にかけて遺跡が著しく減少する甲信地域のなかで、途絶えることなく継続した希有な集落といえる。

遺跡は松本市域の南東部、鉢伏山の山麓の二つの小河川に挟まれた微高地上にある。古くから土製耳飾が出土し著名であったが、平成 7 年の圃場整備事業に伴う発掘調査によって、遺跡の全容が明らかになった。遺物も、全国最多の 2,643 点の土製耳飾をはじめ、整理用コンテナ 400 箱にのぼった。

- (4) 物件の概要

エリ穴遺跡の特色を示す縄文時代後期後葉から晩期中葉の出土品に絞り学術的・美術工芸的に価値の高い資料を選定した。

ア 土製耳飾

地域における系統や編年の基準資料になり得るもの（17 の系統分類）

イ 土偶、土版・中空動物形土製品、その他の土製品

(内訳)・地域における系統や他地域との関連を示す土偶 33 点

・土版・中空動物形土製品 6 点

・その他の土製品 38 点（手燭形土製品 5 点、スタンプ形の土製品 8 点、ミニチュア土器 8 点他）

ウ 土器

地域の特徴をよく表す深鉢、浅鉢等の精製土器に、人面付土器等の特殊な器種・器形を加えたもの

エ 石製品

石製祭祀用具に対象を絞り、特徴的なもの

6 指定基準及び理由

(1) 指定基準

ア 種別 8 考古資料

イ 基準 1 宗教、教育、学芸、産業、軍事、生活等に関する遺跡の出土品又は遺物のうち学術的に価値の高いもの。

(2) 指定理由

土製耳飾は、縄文時代後期末葉（約 3,200 年前）から晩期にかけて、関東地方を中心に東日本の各地で出土する。エリ穴遺跡の出土点数は際立ったものであり、しかもその全ての出土状態が明らかな点など、一括出土が持つ意義は大きい。

土製耳飾の形態は、白形、環形を主に、彫りが施されたものから無文のものまで精粗さまざまあり、朱で塗られたものも多く出土している。それらは、17 以上の系統に分けることができる。さらに、それぞれの系統の成立から衰退まで、製作技法や装飾の変化を明らかにすることができる。このように土製耳飾の変化を追うことができる資料は、他に類をみない。

さらに土製耳飾の造形は、技巧的にも優れており、縄文時代の繊細で緻密な工芸技術の一端をよく示したものだといえる。また、文様も多様性に富んでおり、美術工芸的な価値も高く、そこに縄文人たちの精神的な意識が反映されたものと考えられる。

土偶等の土製品は、東海から関西の「分銅形土偶」をベースに関東の「山形土偶」等の要素が加わった本遺跡独自の「顔面付分銅形土偶」のほか、東北の「遮光器土偶」の影響を受けたものも認められる。このほか、石棒や石刀、石冠等も存在し、出土品からは当時の人々の精神性や生活の様子を読み取ることができる。また、土器についても、甲信地域の後期上ノ段式等のほか、関東の晩期安行式や東北の晩期亀ヶ岡式の影響を受けたものがみられる。

甲信地域では、縄文時代後期後葉から晩期中葉は、集落・人口の著しい減少が進む。エリ穴遺跡の土製耳飾をはじめとした出土品は、その厳しい生活環境のなかで生き抜いた人々の精神世界を解明する手がかりとして重要である。加えて、甲信地域の縄文時代後・晩期文化は、日本列島のさまざまな他文化との交流の上にできあがったことがうかがえ、当時の儀礼や交易及び社会の結びつきを究明する上で貴重である。

7 その他参考となる資料

松本市教育委員会『エリ穴遺跡』（遺構編 1・2、遺物編 1）

資料1 指定物件 一覧表
(1) 土製耳飾

348点

番号	法量(cm・g)				遺存率 (%)	品質形状等	報告番号		報告書頁		通番
	直径	高さ	厚さ	重量			分冊	No	図版	写真	
1	7.8	2.2	-	43.6	40	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統傍系列A第1段階、後期末葉	3	e- 1	2	5	1
2	3.5	1.5	-	14.2	95	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統主系列第3段階、晩期初頭	3	e- 2	2	5	2
3	4.0	1.8	-	25.2	100	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統主系列第3段階、晩期初頭	3	e- 3	2	5	3
4	4.4	2.0	-	28.3	80	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統主系列第3段階、晩期初頭	3	e- 6	2	5	4
5	3.5	1.5	-	12.9	85	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統主系列第3段階、晩期初頭	3	e- 7	2	5	5
6	5.2	2.1	-	33.5	100	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統主系列第3段階、晩期初頭	3	e- 8	2	5	6
7	4.0	1.7	-	17.3	95	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統主系列第4段階、晩期初頭	3	e- 9	2	5	7
8	2.9	1.5	-	7.5	60	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統主系列第5段階、晩期初頭	3	e- 11	2	5	8
9	5.8	1.8	-	44.0	95	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統傍系列C第5段階、晩期初頭	3	e- 12	2	5	9
10	4.2	1.6	-	12.2	80	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統主系列第6段階、晩期初頭～前葉	3	e- 13	2	5	10
11	3.2	1.6	-	13.7	95	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統主系列第7段階、晩期初頭～前葉	3	e- 15	2	5	11
12	2.6	1.5	-	7.9	90	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統主系列第7段階、晩期初頭～前葉	3	e- 16	2	5	12
13	3.4	1.6	-	11.0	85	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統主系列第8段階、晩期初頭～前葉	3	e- 17	2	5	13
14	3.8	1.7	-	18.3	90	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統主系列第8段階、晩期初頭～前葉	3	e- 18	2	5	14
15	4.4	1.9	-	18.9	90	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統主系列第9段階、晩期前葉	3	e- 19	2	5	15
16	3.8	1.6	-	13.3	100	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統主系列第9段階、晩期前葉	3	e- 20	2	5	16
17	2.3	1.4	-	6.1	100	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統主系列第10段階、晩期前葉	3	e- 22	3	5	17
18	2.3	1.2	-	3.5	100	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統主系列第10段階、晩期前葉	3	e- 23	3	5	18
19	1.8	1.2	-	3.2	95	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統主系列第10段階、晩期前葉	3	e- 26	3	5	19
20	1.3	2.1	-	2.7	100	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統主系列第11段階、晩期前葉	3	e- 28	3	5	20
21	1.8	1.5	-	3.6	95	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統主系列第11段階、晩期前葉	3	e- 29	3	5	21
22	2.0	1.1	-	2.8	80	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統主系列第11段階、晩期前葉	3	e- 30	3	5	22
23	2.3	1.5	-	5.8	100	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統主系列第11段階、晩期前葉	3	e- 31	3	5	23
24	7.5	1.8	-	48.4	80	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統傍系列B第4段階、晩期初頭	3	e- 32	3	6	24
25	[6.0]	[2.0]	-	55.7	80	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統傍系列B第4段階、晩期初頭	3	e- 33	3	6	25
26	2.2	1.9	-	8.2	95	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統傍系列D第10段階、晩期前葉	3	e- 34	3	6	26
27	2.6	1.8	-	11.5	100	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統傍系列D第10段階、晩期前葉	3	e- 35	3	6	27
28	2.3	1.2	-	4.3	90	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統傍系列D第11段階、晩期前葉	3	e- 36	3	6	28
29	3.9	1.6	-	17.0	95	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統傍系列D第8段階、晩期初頭～前葉	3	e- 37	3	6	29
30	4.4	2.1	-	36.6	95	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統傍系列E第3～4段階、晩期初頭	3	e- 38	3	6	30
31	3.3	1.9	-	18.1	85	内開弧ﾌﾞﾘｯｼﾞ系統傍系列E第3～4段階、晩期初頭	3	e- 39	3	6	31
32	2.1	1.2	-	3.3	90	外周帯外傾系統巴系列第1段階、後期末葉～晩期初頭	3	e- 62	5	6	32
33	2.1	[1.6]	-	6.4	80	外周帯外傾系統直線系列第1段階、後期末葉～晩期初頭	3	e- 63	5	6	33
34	3.4	1.9	-	13.0	90	外周帯外傾系統巴系列第2段階、晩期初頭	3	e- 64	5	6	34
35	3.2	2.5	-	18.4	100	外周帯外傾系統直線系列第2段階、晩期初頭	3	e- 65	5	6	35
36	3.5	1.7	-	8.6	90	外周帯外傾系統巴系列第3段階、晩期初頭	3	e- 67	5	6	36
37	3.6	2.0	-	17.3	95	外周帯外傾系統直線系列第3段階、晩期初頭	3	e- 68	5	6	37
38	4.6	1.9	-	23.4	90	外周帯外傾系統巴系列第4段階、晩期初頭～前葉	3	e- 69	5	6	38
39	2.7	1.5	-	6.2	95	外周帯外傾系統巴系列第4段階、晩期初頭～前葉	3	e- 70	5	6	39
40	3.4	2.1	-	11.5	95	外周帯外傾系統直線系列第4段階、晩期初頭～前葉	3	e- 71	5	6	40
41	3.2	1.8	-	8.9	80	外周帯外傾系統巴系列第6段階、晩期前葉	3	e- 75	5	6	41
42	4.3	1.8	-	10.6	75	外周帯外傾系統巴系列第7段階、晩期前葉	3	e- 78	5	6	42
43	1.7	1.8	-	3.9	90	内周帯巴文系統非中心帯系列第1段階、晩期初頭	3	e- 93	6	7	43
44	1.8	1.2	-	3.5	100	内周帯巴文系統中心帯系列第2段階、晩期初頭	3	e- 94	6	7	44
45	2.3	1.6	-	8.9	90	内周帯巴文系統非中心帯系列第2段階、晩期初頭	3	e- 95	6	7	45
46	2.0	1.7	-	5.6	90	内周帯巴文系統非中心帯系列第2段階、晩期初頭	3	e- 96	6	7	46
47	1.7	1.3	-	4.3	100	内周帯巴文系統非中心帯系列第2段階、晩期初頭	3	e- 97	6	7	47
48	2.1	1.7	-	5.3	100	内周帯巴文系統中心帯系列第3段階、晩期初頭～前葉	3	e- 98	6	7	48
49	3.0	1.7	-	12.2	95	内周帯巴文系統非中心帯系列第3段階、晩期初頭～前葉	3	e- 99	6	7	49
50	4.7	1.9	-	27.2	80	内周帯巴文系統非中心帯系列第3段階、晩期初頭～前葉	3	e- 100	6	7	50
51	3.4	1.8	-	14.7	85	内周帯巴文系統非中心帯系列第3段階、晩期初頭～前葉	3	e- 101	6	7	51
52	[3.2]	1.4	-	10.7	80	内周帯巴文系統非中心帯系列第3段階、晩期初頭～前葉	3	e- 102	6	7	52
53	2.8	1.4	-	9.1	100	内周帯巴文系統非中心帯系列第3段階、晩期初頭～前葉	3	e- 103	6	7	53
54	3.3	1.6	-	10.0	70	内周帯巴文系統中心帯系列第4段階、晩期初頭～前葉	3	e- 104	6	7	54
55	2.2	1.3	-	4.9	100	内周帯巴文系統非中心帯系列第4段階、晩期初頭～前葉	3	e- 105	6	7	55
56	1.6	1.5	-	3.0	100	内周帯巴文系統非中心帯系列第5段階、晩期初頭～前葉	3	e- 106	6	7	56
57	1.8	1.4	-	4.4	95	内周帯巴文系統非中心帯系列第6段階、晩期前葉	3	e- 107	6	7	57
58	1.9	1.7	-	5.9	70	渦巻文系統第1段階、後期末葉	3	e- 109	6	7	58
59	5.3	1.7	-	43.8	95	渦巻文系統第3段階(後期末葉～晩期初頭)	3	e- 112	7	7	59
60	2.6	1.8	-	10.7	100	渦巻文系統第4段階、晩期初頭	3	e- 113	7	7	60
61	3.1	2.1	-	21.0	90	渦巻文系統第4段階、晩期初頭	3	e- 114	7	7	61
62	2.2	1.6	-	6.3	100	渦巻文系統第4段階、晩期初頭	3	e- 115	7	7	62
63	2.3	1.3	-	5.8	100	渦巻文系統第4段階、晩期初頭	3	e- 116	7	7	63
64	3.5	1.7	-	23.0	100	同心円文系統主系列第1段階、後期末葉	3	e- 119	7	7	64
65	7.3	2.3	-	87.2	70	同心円文系統主系列第2段階、後期末葉～晩期初頭	3	e- 121	7	7	65
66	4.4	2.1	-	38.1	80	同心円文系統主系列第3段階、後期末葉～晩期初頭	3	e- 123	7	7	66
67	2.6	2.4	-	11.6	90	同心円文系統主系列第3段階、後期末葉～晩期初頭	3	e- 124	7	7	67
68	2.8	1.7	-	11.1	95	同心円文系統主系列第4段階、晩期初頭	3	e- 125	7	8	68
69	3.2	1.8	-	17.4	90	同心円文系統主系列第4段階、晩期初頭	3	e- 126	7	8	69
70	3.0	1.8	-	14.0	100	同心円文系統主系列第5段階、晩期初頭	3	e- 128	7	8	70
71	2.7	1.7	-	10.7	95	同心円文系統主系列第5段階、晩期初頭	3	e- 129	7	8	71
72	2.4	1.5	-	7.0	100	同心円文系統主系列第6段階(晩期初頭～前葉)	3	e- 130	7	8	72
73	2.1	1.8	-	7.0	100	同心円文系統主系列第6段階、晩期初頭～前葉	3	e- 131	7	8	73
74	2.2	1.6	-	6.9	95	同心円文系統主系列第6段階、晩期初頭～前葉	3	e- 133	7	8	74
75	2.1	1.4	-	5.6	100	同心円文系統主系列第7段階a、晩期前葉	3	e- 134	7	8	75
76	2.0	1.4	-	5.3	90	同心円文系統主系列第7段階a、晩期前葉	3	e- 135	7	8	76
77	1.9	1.4	-	4.2	90	同心円文系統主系列第7段階a、晩期前葉	3	e- 136	8	8	77
78	1.8	1.7	-	6.2	95	同心円文系統主系列第7段階a、晩期前葉	3	e- 137	8	8	78
79	2.3	1.5	-	4.0	95	同心円文系統主系列第7段階a、晩期前葉	3	e- 138	8	8	79
80	1.9	1.3	-	4.0	95	同心円文系統主系列第7段階a、晩期前葉	3	e- 139	8	8	80

81	1.6	1.3	-	3.0	100	同心円文系統主系列第7段階b、晩期前葉	3	e- 142	8	8	81
82	1.4	1.1	-	1.9	100	同心円文系統主系列第7段階b、晩期前葉	3	e- 143	8	8	82
83	1.7	1.3	-	3.1	95	同心円文系統主系列第7段階b、晩期前葉	3	e- 144	8	8	83
84	1.3	1.2	-	1.7	100	同心円文系統主系列第7段階b、晩期前葉	3	e- 145	8	8	84
85	1.8	1.4	-	4.1	100	同心円文系統主系列第7段階b、晩期前葉	3	e- 146	8	8	85
86	1.5	1.4	-	3.5	95	同心円文系統主系列第8段階、晩期前葉	3	e- 148	8	8	86
87	1.7	1.3	-	3.2	95	同心円文系統主系列第8段階、晩期前葉	3	e- 149	8	8	87
88	1.5	1.2	-	2.6	80	同心円文系統主系列第8段階、晩期前葉	3	e- 150	8	8	88
89	1.3	1.4	-	2.1	95	同心円文系統主系列第8段階、晩期前葉	3	e- 151	8	8	89
90	1.5	1.3	-	3.1	95	同心円文系統主系列第8段階、晩期前葉	3	e- 153	8	-	90
91	3.8	2.1	-	31.7	95	同心円文系統傍系列A第1段階、後期末葉	3	e- 154	8	8	91
92	3.4	2.0	-	21.5	85	同心円文系統傍系列A第1段階、後期末葉	3	e- 155	8	8	92
93	3.2	(1.6)	-	13.2	70	同心円文系統傍系列A第4段階、晩期初頭	3	e- 156	8	8	93
94	3.6	1.7	-	14.0	90	同心円文系統傍系列C第1段階、後期末葉	3	e- 158	8	8	94
95	2.7	1.7	-	14.9	100	サマ界線系統主系列第1段階、後期末葉	3	e- 161	8	9	95
96	3.2	1.4	-	9.8	85	サマ界線系統主系列第2段階、後期末葉	3	e- 162	8	9	96
97	2.7	1.6	-	4.7	40	サマ界線系統主系列第2段階、後期末葉	3	e- 163	9	9	97
98	2.6	1.8	-	9.7	95	サマ界線系統主系列第2段階、後期末葉	3	e- 165	9	9	98
99	3.3	1.8	-	14.4	100	サマ界線系統主系列第3段階、後期末葉～晩期初頭	3	e- 167	9	9	99
100	4.1	2.3	-	24.6	90	サマ界線系統主系列第3段階、後期末葉～晩期初頭	3	e- 169	9	9	100
101	4.4	2.2	-	30.8	95	サマ界線系統主系列第3段階、後期末葉～晩期初頭	3	e- 171	9	9	101
102	3.6	2.2	-	20.7	100	サマ界線系統主系列第3段階、後期末葉～晩期初頭	3	e- 172	9	9	102
103	3.7	1.8	-	9.7	85	サマ界線系統主系列第3段階、後期末葉～晩期初頭	3	e- 173	9	9	103
104	2.2	1.1	-	4.6	100	サマ界線系統主系列第3段階、後期末葉～晩期初頭	3	e- 174	9	9	104
105	2.9	1.4	-	12.0	95	サマ界線系統主系列第3段階、後期末葉～晩期初頭	3	e- 176	9	9	105
106	3.8	2.0	-	15.2	95	サマ界線系統主系列第4段階、晩期初頭	3	e- 179	9	9	106
107	4.2	1.7	-	16.4	95	サマ界線系統主系列第4段階、晩期初頭	3	e- 180	9	9	107
108	3.7	1.8	-	12.0	95	サマ界線系統主系列第4段階、晩期初頭	3	e- 181	9	9	108
109	4.4	2.0	-	17.6	100	サマ界線系統主系列第4段階、晩期初頭	3	e- 183	9	9	109
110	4.0	1.8	-	13.0	90	サマ界線系統主系列第4段階、晩期初頭	3	e- 184	9	9	110
111	3.0	1.8	-	10.0	90	サマ界線系統主系列第4段階、晩期初頭	3	e- 185	9	9	111
112	3.1	1.5	-	10.2	90	サマ界線系統主系列第4段階、晩期初頭	3	e- 186	9	9	112
113	2.6	1.5	-	5.3	80	サマ界線系統主系列第4段階、晩期初頭	3	e- 187	10	9	113
114	3.4	1.8	-	10.2	95	サマ界線系統主系列第5段階、晩期初頭	3	e- 192	10	10	114
115	4.3	1.8	-	14.6	100	サマ界線系統主系列第5段階、晩期初頭	3	e- 194	10	10	115
116	4.0	1.8	-	17.2	100	サマ界線系統主系列第5段階、晩期初頭	3	e- 195	10	10	116
117	4.5	1.9	-	16.8	95	サマ界線系統主系列第5段階、晩期初頭	3	e- 196	10	10	117
118	4.4	2.0	-	18.5	90	サマ界線系統主系列第5段階、晩期初頭	3	e- 199	10	10	118
119	4.6	1.8	-	15.8	90	サマ界線系統主系列第5段階、晩期初頭	3	e- 202	10	10	119
120	4.0	1.9	-	14.3	80	サマ界線系統主系列第6～7段階、晩期初頭～前葉	3	e- 218	11	10	120
121	3.6	1.7	-	13.3	90	サマ界線系統主系列第6～7段階、晩期初頭～前葉	3	e- 219	11	10	121
122	4.1	1.8	-	15.4	90	サマ界線系統主系列第6～7段階、晩期初頭～前葉	3	e- 220	11	10	122
123	3.6	1.7	-	10.3	95	サマ界線系統主系列第6～7段階、晩期初頭～前葉	3	e- 223	11	10	123
124	4.0	2.0	-	17.6	95	サマ界線系統主系列第8～10段階、晩期前葉	3	e- 244	12	10	124
125	4.9	1.9	-	16.7	65	サマ界線系統主系列第8～10段階、晩期前葉	3	e- 245	12	10	125
126	3.9	1.8	-	12.7	95	サマ界線系統主系列第8～10段階、晩期前葉	3	e- 246	12	10	126
127	4.2	2.1	-	9.3	70	サマ界線系統主系列第11段階、晩期前葉	3	e- 260	13	10	127
128	2.7	1.5	-	4.8	55	サマ界線系統單位文系列第4段階、晩期初頭	3	e- 263	13	11	128
129	4.4	1.8	-	15.1	80	サマ界線系統單位文系列第4段階、晩期初頭	3	e- 264	13	11	129
130	4.2	1.6	-	16.4	100	サマ界線系統單位文系列第4段階、晩期初頭	3	e- 267	13	11	130
131	3.7	1.5	-	9.4	90	サマ界線系統單位文系列第4段階、晩期初頭	3	e- 268	13	11	131
132	4.1	1.8	-	18.4	95	サマ界線系統單位文系列第5段階、晩期初頭	3	e- 270	14	11	132
133	4.1	1.7	-	14.8	95	サマ界線系統單位文系列第5段階、晩期初頭	3	e- 271	14	11	133
134	2.6	(1.4)	-	5.6	70	サマ界線系統單位文系列第5段階、晩期初頭	3	e- 273	14	11	134
135	4.6	1.8	-	8.2	50	サマ界線系統單位文系列第5段階、晩期初頭	3	e- 275	14	11	135
136	2.7	1.6	-	7.3	95	サマ界線系統單位文系列第5段階、晩期初頭	3	e- 276	14	11	136
137	4.1	1.9	-	19.5	95	サマ界線系統單位文系列第6段階、晩期初頭～前葉	3	e- 279	14	11	137
138	3.8	1.8	-	13.1	80	サマ界線系統單位文系列第6段階、晩期初頭～前葉	3	e- 280	14	11	138
139	4.6	1.8	-	3.5	25	サマ界線系統單位文系列第7段階、晩期初頭～前葉	3	e- 281	14	11	139
140	4.2	1.9	-	18.1	95	サマ界線系統單位文系列第7段階、晩期初頭～前葉	3	e- 282	14	11	140
141	4.8	2.0	-	3.7	20	サマ界線系統單位文系列第8段階、晩期前葉	3	e- 283	14	-	141
142	3.8	1.7	-	4.2	30	サマ界線系統單位文系列第8段階、晩期前葉	3	e- 284	14	11	142
143	5.6	1.9	-	3.8	20	サマ界線系統單位文系列第9段階、晩期前葉	3	e- 298	15	11	143
144	5.2	1.7	-	3.7	20	サマ界線系統單位文系列第9段階、晩期前葉	3	e- 299	15	11	144
145	3.6	1.8	-	5.4	40	サマ界線系統單位文系列第9段階、晩期前葉	3	e- 305	15	11	145
146	4.5	1.7	-	12.7	90	サマ界線系統單位文系列第10段階、晩期前葉	3	e- 306	15	11	146
147	4.4	1.7	-	3.3	20	サマ界線系統單位文系列第10段階、晩期前葉	3	e- 310	16	-	147
148	4.5	1.8	-	3.1	25	サマ界線系統單位文系列第10段階、晩期前葉	3	e- 311	16	-	148
149	5.0	1.9	-	2.3	15	サマ界線系統單位文系列第11段階、晩期前葉	3	e- 320	16	-	149
150	4.2	1.5	-	31.0	90	丸瘤文系統第1段階、後期末葉	3	e- 323	16	12	150
151	3.8	1.8	-	31.7	95	丸瘤文系統第1段階、後期末葉	3	e- 324	16	12	151
152	4.3	1.6	-	28.7	80	丸瘤文系統第1段階、後期末葉	3	e- 325	16	12	152
153	2.3	1.3	-	7.5	80	丸瘤文系統第1段階、後期末葉	3	e- 326	16	12	153
154	4.2	1.8	-	33.8	90	丸瘤文系統第2段階、後期末葉～晩期初頭	3	e- 327	16	12	154
155	2.4	1.6	-	11.6	90	丸瘤文系統第2段階、後期末葉～晩期初頭	3	e- 328	17	12	155
156	3.4	1.0	-	9.8	70	丸瘤文系統第2段階、後期末葉～晩期初頭	3	e- 329	17	12	156
157	[6.2]	[3.0]	-	77.3	70	外開弧の系統、内開弧第3～4段階対応、晩期初頭	3	e- 330	17	12	157
158	6.3	2.4	-	41.7	80	円・長円の系統、後期末葉～晩期前葉	3	e- 333	17	12	158
159	4.8	2.4	-	25.2	60	円・長円の系統、後期末葉～晩期前葉	3	e- 334	17	12	159
160	6.0	(2.2)	-	40.3	60	円・長円の系統、後期末葉～晩期前葉	3	e- 335	17	12	160
161	4.7	2.7	-	35.6	80	鼓形の系統古相、後期末葉～晩期前葉	3	e- 337	17	12	161
162	3.7	2.5	-	17.7	95	鼓形の系統古相、後期末葉～晩期前葉	3	e- 338	17	12	162
163	5.0	1.7	-	25.4	75	鼓形の系統中相、後期末葉～晩期前葉	3	e- 339	17	12	163
164	4.8	1.5	-	19.3	70	鼓形の系統中相、後期末葉～晩期前葉	3	e- 347	18	12	164
165	3.5	1.7	-	16.3	95	鼓形の系統中相、後期末葉～晩期前葉	3	e- 348	18	12	165

166	2.3	1.7	-	8.0	100	その他の系統、後期末葉～晩期前葉	3	e- 352	18	13	166
167	2.8	1.6	-	8.5	100	その他の系統内開弧第6段階以前対応、晩期初頭～前葉	3	e- 353	18	13	167
168	2.5	2.2	-	5.3	100	その他の系統内開弧第8段階以後対応、晩期初頭～前葉	3	e- 354	18	13	168
169	2.4	1.4	-	5.2	100	その他の系統内開弧第8段階以後対応、晩期初頭～前葉	3	e- 355	18	13	169
170	1.6	1.1	-	1.5	70	その他の系統内開弧第11段階対応、晩期前葉	3	e- 356	18	-	170
171	1.7	1.8	-	4.6	100	その他の系統、後期末葉～晩期前葉	3	e- 358	18	13	171
172	1.2	1.5	-	2.1	95	その他の系統末期相、晩期前葉	3	e- 359	18	13	172
173	4.4	1.9	-	42.0	90	放物線状断面系統主系列、後期末葉	3	e- 364	18	13	173
174	3.8	1.4	-	21.8	90	放物線状断面系統主系列、後期末葉	3	e- 365	18	13	174
175	2.9	1.2	-	11.2	100	放物線状断面系統主系列、後期末葉	3	e- 368	19	13	175
176	2.4	1.0	-	7.8	100	放物線状断面系統主系列、後期末葉	3	e- 369	19	13	176
177	4.6	1.7	-	34.3	90	放物線状断面系統主系列、後期末葉	3	e- 370	19	13	177
178	2.1	0.9	-	4.9	100	放物線状断面系統主系列、後期末葉	3	e- 372	19	13	178
179	2.6	1.3	-	9.1	100	放物線状断面系統傍系列、後期末葉	3	e- 374	19	13	179
180	4.0	1.2	-	15.9	80	放物線状断面系統傍系列、後期末葉	3	e- 375	19	13	180
181	2.6	1.1	-	5.7	80	放物線状断面系統傍系列、後期末葉	3	e- 385	19	-	181
182	4.3	1.2	-	19.8	95	放物線状断面系統傍系列、後期末葉	3	e- 387	19	13	182
183	2.9	1.6	-	15.9	100	無文白形で系統不明、背面浅い凹面、後期末葉～晩期前葉	3	e- 395	20	14	183
184	1.8	1.3	-	5.0	100	無文白形で系統不明、背面浅い凹面、後期末葉～晩期前葉	3	e- 398	20	14	184
185	1.9	1.7	-	8.3	100	無文白形で系統不明、背面浅い凹面、後期末葉～晩期前葉	3	e- 402	20	-	185
186	3.5	2.0	-	26.1	90	無文白形で系統不明、背面浅い凹面、後期末葉～晩期前葉	3	e- 415	20	-	186
187	2.9	2.0	-	19.2	95	無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期前葉	3	e- 426	21	-	187
188	2.8	1.5	-	12.4	95	無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期前葉	3	e- 427	21	-	188
189	2.4	1.6	-	10.7	100	無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期前葉	3	e- 434	21	-	189
190	2.4	1.8	-	12.0	95	無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期前葉	3	e- 438	21	-	190
191	3.0	1.8	-	19.6	100	無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期前葉	3	e- 439	21	-	191
192	2.6	2.0	-	16.8	100	無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期前葉	3	e- 444	21	-	192
193	3.0	2.1	-	22.1	95	無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期前葉	3	e- 447	21	-	193
194	2.3	1.3	-	7.1	95	無文白形で系統不明、背面深い凹面、後期末葉～晩期前葉	3	e- 476	23	-	194
195	2.0	2.2	-	8.5	100	無文白形で系統不明、背面深い凹面、後期末葉～晩期前葉	3	e- 481	23	15	195
196	5.4	2.3	-	44.4	90	無文白形で系統不明、背面中空状凹面、後期末葉～晩期前葉	3	e- 499	24	15	196
197	6.6	2.5	-	101.0	100	無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期前葉	3	e- 503	24	15	197
198	5.5	2.0	-	61.6	100	無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期前葉	3	e- 505	24	15	198
199	1.2	1.4	-	2.3	100	無文白形で系統不明、著しく小・低、後期末葉～晩期前葉	3	e- 507	24	-	199
200	1.0	1.5	-	1.7	100	無文白形で系統不明、著しく小・低、後期末葉～晩期前葉	3	e- 509	24	-	200
201	1.1	1.4	-	2.2	95	無文白形で系統不明、著しく小・低、後期末葉～晩期前葉	3	e- 525	25	15	201
202	7.4	2.3	1.6	30.6	50	貼瘤直線文系統主系列古2段階、後期末葉	3	e- 617	26	16	202
203	8.6	2.1	1.0	15.3	25	貼瘤直線文系統主系列古3段階、後期末葉	3	e- 644	28	16	203
204	2.5	1.8	0.5	5.3	55	貼瘤直線文系統単位文省略系列古3段階、後期末葉	3	e- 684	30	16	204
205	7.0	2.1	0.6	7.5	20	貼瘤直線文系統区画点列文系列古1段階、後期末葉	3	e- 688	31	-	205
206	4.4	1.9	0.6	6.0	25	貼瘤直線文系統区画点列文系列古3段階、後期末葉	3	e- 709	32	17	206
207	2.4	1.7	0.4	7.1	95	貼瘤直線文系統区画点列文系列古2～3段階、後期末葉	3	e- 712	32	17	207
208	1.7	1.6	0.6	5.4	100	貼瘤直線文系統充填要素系列古3段階、後期末葉	3	e- 714	32	17	208
209	1.9	1.9	0.4	4.1	100	貼瘤直線文系統充填要素系列古3段階、後期末葉	3	e- 722	33	17	209
210	1.7	1.2	0.3	2.7	100	貼瘤直線文系統充填要素系列古3段階、後期末葉	3	e- 723	33	17	210
211	2.1	1.6	0.5	5.7	100	貼瘤直線文系統充填要素系列古3段階、後期末葉	3	e- 724	33	17	211
212	1.9	1.7	0.4	4.7	100	貼瘤直線文系統充填要素系列古3段階、後期末葉	3	e- 725	33	17	212
213	1.4	1.4	0.4	2.5	95	貼瘤直線文系統充填要素系列古3段階、後期末葉	3	e- 726	33	17	213
214	5.0	2.1	0.6	8.1	30	貼瘤弧線文系統古2段階、後期末葉	3	e- 727	33	17	214
215	8.0	2.4	0.9	18.0	25	貼瘤弧線文系統古3段階、後期末葉	3	e- 728	33	17	215
216	8.4	2.3	1.2	26.9	45	貼瘤弧線文系統古4段階、後期末葉	3	e- 738	33	17	216
217	4.7	2.1	0.6	15.9	65	貼瘤単位文系統古3段階、後期末葉	3	e- 748	34	17	217
218	7.6	2.0	1.6	22.6	35	貼瘤単位文系統古4段階、後期末葉	3	e- 757	35	18	218
219	2.3	2.1	0.7	9.4	100	無文・板状環形(板状I種)、後期末葉	3	e- 769	36	18	219
220	2.6	1.8	0.4	5.8	90	無文・板状環形(板状I種)、後期末葉	3	e- 778	36	18	220
221	4.4	2.0	0.4	16.0	100	無文・板状環形(板状I種)、後期末葉	3	e- 784	36	18	221
222	4.0	2.9	0.4	17.6	100	無文・板状環形(板状I種)、後期末葉	3	e- 785	36	18	222
223	3.7	1.7	0.5	10.8	80	無文・板状環形(板状I種)、後期末葉	3	e- 793	37	18	223
224	4.6	2.5	0.6	30.0	100	無文・板状環形(板状I種)、後期末葉	3	e- 799	37	18	224
225	4.6	2.3	0.5	19.9	100	無文・板状環形(板状I種)、後期末葉	3	e- 821	38	18	225
226	3.6	1.8	0.8	17.6	95	巴玉抱三叉文系統主系列新1段階、晩期初頭	3	e- 906	41	19	226
227	6.0	2.0	1.4	20.3	45	巴玉抱三叉文系統主系列新1段階、晩期初頭	3	e- 913	42	19	227
228	6.4	2.3	0.6	12.1	40	巴玉抱三叉文系統主系列新2段階、晩期初頭	3	e- 932	43	19	228
229	7.8	2.3	1.3	18.9	25	巴玉抱三叉文系統主系列新2段階、晩期初頭	3	e- 937	43	19	229
230	6.0	0.8	2.4	20.7	60	巴玉抱三叉文系統主系列新3段階、晩期初頭	3	e- 942	43	20	230
231	6.0	2.1	1.3	18.5	45	巴玉抱三叉文系統主系列新3段階、晩期初頭	3	e- 945	44	20	231
232	4.1	1.6	0.9	16.7	95	巴玉抱三叉文系統主系列新3段階、晩期初頭	3	e- 948	44	20	232
233	4.4	1.8	1.0	21.5	100	巴玉抱三叉文系統主系列新3段階、晩期初頭	3	e- 954	44	20	233
234	5.8	2.0	0.8	28.1	90	巴玉抱三叉文系統主系列新4段階、晩期初頭～前葉	3	e- 968	45	20	234
235	4.8	2.0	0.9	23.9	95	巴玉抱三叉文系統主系列新4段階、晩期初頭～前葉	3	e- 969	45	20	235
236	5.5	2.0	0.8	29.6	100	巴玉抱三叉文系統主系列新5段階、晩期初頭～前葉	3	e- 971	45	21	236
237	6.4	2.3	1.0	13.5	35	巴玉抱三叉文系統主系列新6段階、晩期初頭～前葉	3	e- 973	45	21	237
238	9.2	2.2	1.0	66.3	90	連弧三叉文系統主系列新5段階、晩期初頭～前葉	3	e-1062	51	21	238
239	9.2	2.1	1.0	62.3	90	連弧三叉文系統主系列新5段階、晩期初頭～前葉	3	e-1063	51	21	239

240	8.4	2.3	0.9	15.7	20	連弧三叉文系統主系列新6段階、晩期初頭～前葉	3	e-1090	54	22	240
241	6.2	2.4	0.8	15.0	35	連弧三叉文系統主系列新6段階、晩期初頭～前葉	3	e-1111	55	22	241
242	4.5	1.6	0.6	15.1	90	連弧三叉文系統主系列新8段階、晩期前葉	3	e-1161	59	22	242
243	5.0	2.3	0.6	9.2	35	連弧三叉文系統主系列新9段階、晩期前葉	3	e-1171	60	22	243
244	4.6	1.7	0.5	4.6	35	連弧三叉文系統主系列新10段階、晩期前葉	3	e-1182	61	22	244
245	5.6	2.0	0.5	4.7	20	連弧三叉文系統主系列新11段階、晩期前葉	3	e-1186	61	23	245
246	5.4	2.0	0.8	27.4	95	連弧三叉文系統傍系列D新9段階、晩期前葉	3	e-1223	64	23	246
247	6.4	2.6	0.6	39.3	95	入組三叉文系統内開連弧系統新7段階、晩期初頭～前葉	3	e-1301	66	24	247
248	7.0	2.1	1.0	19.8	40	入組三叉文系統鉤状入組文斜行系列新7段階古相、晩期初頭～前葉	3	e-1306	66	24	248
249	6.6	2.1	1.1	11.0	25	入組三叉文系統雲形状系列新7段階、晩期初頭～前葉	3	e-1312	66	24	249
250	5.2	1.9	0.8	22.8	95	入組三叉文系統鉤状入組文並列系列新8段階、晩期前葉	3	e-1325	67	24	250
251	1.8	1.1	0.4	2.7	90	入組三叉文系統鉤状入組文並列系列新10～11段階、晩期前葉	3	e-1334	68	24	251
252	5.6	1.9	0.7	22.9	90	入組三叉文系統鉤状沈線対向系列新8～9段階、晩期前葉	3	e-1335	68	24	252
253	5.4	1.9	0.5	17.7	95	入組三叉文系統鉤状沈線対向系列新8～9段階、晩期前葉	3	e-1336	68	24	253
254	3.6	1.7	0.4	6.4	70	入組三叉文系統鉤状沈線対向系列新10段階？、晩期前葉	3	e-1341	68	24	254
255	4.4	1.9	0.6	16.1	95	入組三叉文系統系列不明新8～9段階、晩期前葉	3	e-1349	68	25	255
256	4.1	1.9	0.5	12.0	90	入組三叉文系統系列不明新8～9段階、晩期前葉	3	e-1350	68	25	256
257	8.4	2.2	0.7	15.1	25	短線玉抱三叉文系統主系列新1段階、晩期初頭	3	e-1394	71	25	257
258	7.6	2.0	0.8	15.0	35	短線玉抱三叉文系統主系列新2段階、晩期初頭	3	e-1407	72	25	258
259	5.0	2.3	1.0	13.0	30	短線玉抱三叉文系統主系列新5段階、晩期初頭～前葉	3	e-1423	73	25	259
260	7.0	2.4	0.9	17.3	30	短線玉抱三叉文系統主系列新6段階、晩期初頭～前葉	3	e-1424	74	25	260
261	9.0	2.0	0.8	19.8	35	短線玉抱三叉文系統主系列新8段階、晩期前葉	3	e-1429	74	25	261
262	4.4	1.9	0.6	18.2	100	鼻状三叉文系統占3段階、後期末葉	3	e-1456	76	26	262
263	4.0	1.8	0.6	16.6	100	鼻状三叉文系統占3段階、後期末葉	3	e-1457	76	26	263
264	4.9	1.9	0.6	21.9	90	鼻状三叉文系統新8段階？、晩期前葉	3	e-1473	77	26	264
265	4.7	2.2	0.9	28.8	100	鼻状三叉文系統無文新段階、晩期初頭～前葉	3	e-1477	77	26	265
266	7.0	2.3	0.9	32.3	60	無文・内傾斜面環形(狭稜球Ⅱ種)占3～新3段階、後期末葉～晩期初頭	3	e-1508	78	27	266
267	8.0	2.0	2.1	38.0	50	無文・内傾斜面環形(稜球Ⅴ種)、晩期初頭～前葉	3	e-1544	80	27	267
268	3.8	1.9	0.8	19.8	95	無文・内傾斜面環形(ⅡⅡ'状Ⅰ種)、晩期初頭～前葉	3	e-1556	81	-	268
269	4.4	2.0	0.5	15.9	95	無文・内傾斜面環形(ⅡⅡ'状Ⅱ種)、晩期初頭～前葉	3	e-1578	83	-	269
270	4.3	1.7	0.7	19.8	100	無文・内傾斜面環形(ⅡⅡ'状Ⅱ種)、晩期初頭～前葉	3	e-1584	83	27	270
271	4.7	2.0	0.6	22.1	100	無文・内傾斜面環形(ⅡⅡ'状Ⅱ種)、晩期初頭～前葉	3	e-1592	83	27	271
272	4.5	2.2	0.6	20.8	95	無文・内傾斜面環形(ⅡⅡ'状Ⅱ種)、晩期初頭～前葉	3	e-1593	84	-	272
273	2.5	1.8	0.6	7.1	90	無文・内傾斜面環形(ⅡⅡ'状Ⅱ種)、晩期初頭～前葉	3	e-1594	84	-	273
274	2.1	1.3	0.7	5.6	100	無文・内傾斜面環形(ⅡⅡ'状Ⅱ種)、晩期初頭～前葉	3	e-1596	84	-	274
275	3.1	1.8	0.5	10.6	100	無文・内傾斜面環形(ⅡⅡ'状Ⅲ種)、晩期初頭～前葉	3	e-1618	84	-	275
276	3.2	1.5	0.5	7.4	85	無文・内傾斜面環形(ⅡⅡ'状Ⅲ種)、晩期初頭～前葉	3	e-1619	84	-	276
277	4.7	2.1	0.5	16.7	90	無文・内傾斜面環形(ⅡⅡ'状Ⅲ種)、晩期初頭～前葉	3	e-1624	85	27	277
278	1.3	1.5	0.3	1.9	100	無文・内傾斜面環形(ⅡⅡ'状Ⅳ種)、晩期初頭～前葉	3	e-1634	85	-	278
279	9.4	2.0	1.0	32.1	40	無文・内傾斜面環形(三角環形)、晩期初頭～前葉	3	e-1660	86	-	279
280	1.1	1.1	0.3	1.1	100	無文・内傾斜面環形(著しく小・低)、晩期初頭～前葉	3	e-1671	87	27	280
281	1.2	1.2	-	1.6	100	無文・内傾斜面環形(著しく小・低)、晩期初頭～前葉	3	e-1672	87	-	281
282	1.4	1.1	-	2.1	100	無文・内傾斜面環形(著しく小・低)、晩期初頭～前葉	3	e-1676	87	27	282
283	1.9	1.9	-	7.0	100	同心円文系統主系列第7段階a、晩期前葉	4	e-4005		(3)8	283
284	1.9	1.8	-	5.3	95	同心円文系統主系列第7段階a、晩期前葉	4	e-4006		(3)8	284
285	2.1	1.4	-	5.6	95	同心円文系統主系列第7段階a、晩期前葉	4	e-4007		(3)8	285
286	1.1	1.5	-	1.8	95	同心円文系統主系列第7段階b、晩期前葉	4	e-4009		(3)8	286
287	1.2	1.5	-	2.3	95	同心円文系統主系列第7段階b、晩期前葉	4	e-4010		(3)8	287
288	2.4	1.6	-	8.3	90	同心円文系統主系列第8段階、晩期前葉	4	e-4011		(3)8	288
289	4.7	1.9	-	18.1	90	サミ界線系統主系列第5段階、晩期初頭	4	e-4015		(3)10	289
290	3.4	1.4	-	13.8	90	鼓形の系統中相、後期末葉～晩期前葉	4	e-4022		-	290
291	6.4	2.1	-	51.4	70	鼓形の系統新相、後期末葉～晩期前葉	4	e-4025		(3)12	291
292	4.9	1.4	-	40.8	95	放物線状断面系統主系列、後期末葉	4	e-4026		(3)13	292
293	3.3	1.3	-	17.7	95	放物線状断面系統主系列、後期末葉	4	e-4028		(3)13	293
294	3.9	1.5	-	25.0	95	放物線状断面系統主系列、後期末葉	4	e-4029		(3)13	294
295	4.1	1.5	-	24.0	100	放物線状断面系統傍系列、後期末葉	4	e-4033		(3)13	295
296	2.6	1.2	-	8.6	95	放物線状断面系統傍系列、後期末葉	4	e-4034		(3)13	296
297	1.9	1.1	-	4.1	100	無文白形で系統不明、中心孔あり、著しく小・低、後期末葉～晩期前葉	4	e-4046		(3)14	297
298	1.7	1.2	-	3.5	100	無文白形で系統不明、中心孔あり、著しく小・低、後期末葉～晩期初頭	4	e-4047		(3)14	298
299	2.7	1.7	-	16.4	95	無文白形で系統不明、背面浅い凹面、後期末葉～晩期初頭	4	e-4053		(3)14	299
300	2.8	1.6	-	14.2	100	無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期初頭	4	e-4058		-	300
301	2.0	1.3	-	6.3	95	無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期初頭	4	e-4064		-	301
302	2.0	1.4	-	6.9	100	無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期初頭	4	e-4065		-	302
303	3.6	1.9	-	30.6	90	無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期初頭	4	e-4079		-	303
304	4.6	2.4	-	49.6	90	無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期初頭	4	e-4086		-	304
305	5.5	2.2	-	56.8	80	無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期初頭	4	e-4088		-	305
306	2.0	1.5	-	6.2	95	無文白形で系統不明、背面深い凹面、後期末葉～晩期初頭	4	e-4091		-	306
307	2.7	1.7	-	12.6	95	無文白形で系統不明、背面深い凹面、後期末葉～晩期初頭	4	e-4092		-	307
308	4.0	1.8	-	23.3	80	無文白形で系統不明、背面深い凹面、後期末葉～晩期初頭	4	e-4094		-	308
309	3.9	1.9	-	25.5	100	無文白形で系統不明、背面深い凹面、後期末葉～晩期初頭	4	e-4096		-	309
310	4.2	1.8	-	32.4	90	無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期初頭	4	e-4102		(3)15	310
311	1.0	0.8	-	1.0	100	無文白形で系統不明、著しく小・低、後期末葉～晩期初頭	4	e-4105		(3)15	311

312	1.4	1.6	-	3.6	100	無文白形で系統不明、著しく小・低、後期末葉～晩期初頭	4	e-4106	-	312
313	6.6	2.0	-	11.1	25	貼瘤直線文系統主系列古3段階、後期末葉	4	e-4125	(3)16	313
314	5.0	2.1	0.5	18.0	85	貼瘤直線文系統充填省略系列古2段階、後期末葉	4	e-4127	(3)16	314
315	7.4	1.9	0.5	14.3	45	貼瘤直線文系統区画点列文系列古2段階古相、後期末葉	4	e-4132	(3)17	315
316	3.2	2.0	0.8	18.2	95	貼瘤単位文系統古3段階、後期末葉	4	e-4137	(3)17	316
317	6.2	2.1	0.5	18.3	60	無文・板状環形(板状Ⅰ種)、後期末葉	4	e-4151	(3)18	317
318	6.4	2.1	0.9	23.9	60	巴玉抱三叉文系統主系列新1段階、晩期初頭	4	e-4152	(3)19	318
319	8.4	2.0	0.7	17.4	35	巴玉抱三叉文系統主系列新1段階、晩期初頭	4	e-4153	(3)19	319
320	5.4	2.2	0.6	17.6	60	巴玉抱三叉文系統主系列新2段階、晩期初頭	4	e-4154	(3)19	320
321	7.8	2.4	1.0	25.8	45	巴玉抱三叉文系統主系列新2段階、晩期初頭	4	e-4155	(3)19	321
322	5.2	1.9	0.8	26.2	100	巴玉抱三叉文系統主系列新2段階、晩期初頭	4	e-4157	(3)19	322
323	6.7	2.1	0.7	26.6	65	巴玉抱三叉文系統主系列新3段階、晩期初頭	4	e-4159	(3)20	323
324	6.4	2.1	1.2	48.7	95	巴玉抱三叉文系統主系列新3段階、晩期初頭	4	e-4161	(3)20	324
325	5.2	1.8	1.1	32.5	95	巴玉抱三叉文系統主系列新3段階、晩期初頭	4	e-4162	(3)20	325
326	5.0	1.6	1.1	17.1	80	巴玉抱三叉文系統主系列新4段階、晩期初頭～前葉	4	e-4164	(3)20	326
327	4.4	1.6	0.8	12.0	70	巴玉抱三叉文系統主系列新4段階、晩期初頭～前葉	4	e-4165	(3)20	327
328	5.1	2.1	0.7	19.1	70	連弧三叉文系統主系列新5段階、晩期初頭～前葉	4	e-4171	(3)22	328
329	7.6	1.9	0.9	20.1	45	連弧三叉文系統主系列新6段階、晩期初頭～前葉	4	e-4172	(3)22	329
330	5.1	2.2	0.9	34.5	95	連弧三叉文系統主系列新7段階古相、晩期初頭～前葉	4	e-4175	(3)22	330
331	6.0	2.0	0.4	8.9	40	連弧三叉文系統主系列新10段階、晩期前葉	4	e-4180	(3)22	331
332	6.4	2.1	0.7	20.4	50	連弧三叉文系統傍系列C新7段階、晩期初頭～前葉	4	e-4188	(3)23	332
333	4.7	2.0	0.7	11.5	45	連弧三叉文系統傍系列D新9段階、晩期前葉	4	e-4189	(3)23	333
334	7.4	1.9	0.9	17.0	45	入組三叉文系統内開連弧系列新7段階、晩期初頭～前葉	4	e-4198	(3)24	334
335	5.4	1.7	0.9	15.3	75	入組三叉文系統系列不明新8～9段階、晩期前葉	4	e-4203	(3)25	335
336	8.0	2.2	1.1	26.4	35	短線玉抱三叉文系統主系列新3～4段階、晩期初頭～前葉	4	e-4206	(3)25	336
337	7.3	2.3	1.3	37.6	60	短線玉抱三叉文系統傍系列A新5段階、晩期初頭～前葉	4	e-4213	(3)26	337
338	7.0	2.0	0.7	19.8	50	対連弧三叉文系統新3段階以降、晩期初頭	4	e-4215	(3)26	338
339	3.9	1.8	0.5	11.9	90	鼻状三叉文系統新9段階、晩期前葉	4	e-4218	(3)26	339
340	2.9	1.7	0.7	10.2	95	無文・内傾斜面環形(稜球Ⅲ種)、晩期初頭～前葉	4	e-4221	-	340
341	3.7	1.9	0.8	10.9	65	無文・内傾斜面環形(稜球Ⅲ種)、晩期初頭～前葉	4	e-4222	-	341
342	8.4	2.0	0.7	54.3	90	無文・内傾斜面環形(レズ'状Ⅰ種)、晩期初頭～前葉	4	e-4226	(3)27	342
343	7.5	1.8	1.1	30.4	45	無文・内傾斜面環形(レズ'状Ⅰ種)、晩期初頭～前葉	4	e-4227	-	343
344	7.1	2.2	0.6	37.1	85	無文・内傾斜面環形(レズ'状Ⅱ種)、晩期初頭～前葉	4	e-4233	(3)27	344
345	7.7	2.7	0.6	50.6	90	無文・内傾斜面環形(レズ'状Ⅱ種)、晩期初頭～前葉	4	e-4234	-	345
346	4.5	1.7	0.5	14.4	90	無文・内傾斜面環形(レズ'状Ⅱ種)、晩期初頭～前葉	4	e-4235	-	346
347	4.0	1.9	0.6	7.4	65	無文・内傾斜面環形(レズ'状Ⅲ種)、晩期初頭～前葉	4	e-4239	-	347
348	8.7	2.3	0.9	53.6	70	無文・内傾斜面環形(三角環形)、晩期初頭～前葉	4	e-4245	(3)27	348

(2) 土偶、土版・中空動物形土製品、その他の土製品

77点

番号	法量 (cm・g)				遺存率 (%)	品質形状等	報告番号		報告書頁		通番
	長さ	幅	厚さ	重量			分冊	No	図版	写真	
1	8.9	7.6	3.8	149.6	-	東北系山形土偶の上半身、頭頂部は低い山形、平坦な顔面、短線の眼、点刻の口、頭部・右胴部・左胴部を分割成形、後期後葉	3	d-100	110	31	349
2	5.7	7.4	3.4	97.4	-	山形土偶頭部A類、頭頂部低い山形、貼付表現の眼、深く挟る口、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式)	3	d-103	110	32	350
3	6.2	9.3	2.5	89.5	-	山形土偶頭部A類、頭頂部低い山形、貼付表現の眼・口、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式)	3	d-105	110	32	351
4	5.2	7.8	2.8	80.9	-	山形土偶頭部B1類、頭頂部低い山形、頭部貫通の受口、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式)	3	d-108	111	32	352
5	6.3	5.2	2.8	53.6	-	山形土偶頭部B2類、頭頂部低い山形、沈線表現の眼、深く挟る受口、臍状頭部で左右胴部と分割成形、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式)	3	d-112	111	32	353
6	4.1	4.8	2.7	20.8	-	山形土偶頭部B2類、頭頂部低い山形、沈線表現の眼、頭部貫通の受口、胴部と分割成形、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式)	3	d-114	112	32	354
7	5.5	5.2	2.2	37.6	-	山形土偶頭部B3類、頭頂部低い山形、深く挟る受口、胴部と分割成形、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式)	3	d-117	112	33	355
8	5.6	6.7	2.2	66.2	-	山形土偶頭部B3類、頭頂部低い山形、沈線表現の眼、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式)	3	d-119	112	33	356
9	4.7	5.1	2.2	38.0	-	山形土偶頭部B3類、頭頂部低い山形、沈線表現の眼、点刻の受口、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式)	3	d-121	113	33	357
10	5.6	6.6	3.0	70.9	-	山形土偶頭部B3類、頭頂部低い山形、深い口、頭部に短い腕が接続、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式)	3	d-123	113	33	358
11	4.2	3.0	1.4	12.8	-	山形土偶頭部B1類対応の胴部～腰部、頭部・胴部分割成形、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式)	3	d-129	114	33	359
12	9.0	3.2	2.7	46.6	-	山形土偶頭部B2類対応の左肩部～脚部、口に繋がる縦貫孔、右胴部・左胴部分割成形、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式)	3	d-130	114	31	360
13	12.6	7.4	3.9	208.6	-	山形土偶頭部B3類対応の肩部～脚部、胴上部に深い受口、右肩胴脚部・左肩胴脚部・臍状頭部分割成形、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式)	3	d-133	114	31	361
14	10.0	4.7	2.4	61.1	-	山形土偶頭部B3類対応の右肩部～脚部、右肩胴脚部・左肩胴脚部・臍状頭部分割成形	3	d-134	115	34	362
15	9.3	6.3	3.4	132.7	-	山形土偶頭部B3類対応の腰部Ⅱ類、口に繋がる縦貫孔、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式)	3	d-160	119	34	363
16	3.9	4.0	3.0	33.2	-	ポスト山形系土偶古段階、山形土偶頭部B3類を継承する頭部、顔面を囲む輪郭隆帯、後頭部突起状隆帯、後期末葉(中ノ沢K式)	3	d-214	124	36	364
17	4.0	3.5	2.2	24.4	-	ポスト山形系土偶古段階、山形土偶頭部B3類を継承する頭部、顔面を囲む輪郭隆帯、頭頂部横断貫通孔、後期末葉(中ノ沢K式)	3	d-215	124	36	365

18	7.2	7.8	2.7	101.9	-	ポスト山形系土偶古段階、頭部B3類対応の頭部～胴部、肩部丸瘤、頭部分割成形、後期末葉(中ノ沢K式)	3	d-217	124	36	366
19	11.5	3.6	2.9	92.3	-	ポスト山形系土偶古段階、腰部I類対応の右下胴部～脚部、踵表現、右胴脚部・左胴脚部分割成形、後期末葉(中ノ沢K式)	3	d-220	125	36	367
20	10.6	4.5	4.0	134.8	-	ポスト山形系土偶古段階、腰部II類対応の右下胴部～脚部、短線付隆帯表現の膝、踵表現、後期末葉(中ノ沢K式)	3	d-224	125	36	368
21	3.3	5.5	1.3	17.1	-	ポスト山形系土偶新段階、上胴部～肩部、腹面・背面に三叉陰刻、頭部分割成形、晩期前葉	3	d-251	129	37	369
22	7.7	3.2	2.9	63.9	-	ポスト山形系土偶新段階、右肩胴部、背面三叉陰刻、右肩胴部・左肩胴部分割成形、晩期前葉	3	d-252	129	37	370
23	5.7	7.6	2.3	104.8	-	ポスト山形系土偶新段階、異系統の腰部、腹面・背面三叉陰刻、晩期前葉	3	d-258	129	37	371
24	11.2	6.4	2.7	96.7	-	顔面付分銅形土偶、第1段階の全身、頭部表現、沈線表現の眼、縦貫通孔付受口、成立期・初源を示す、後期後葉～末葉	3	d-285	133	38	372
25	5.6	5.6	2.1	54.4	-	顔面付分銅形土偶、背反系列第2段階の上半身、点刻の口、後期後葉～末葉	3	d-287	133	39	373
26	7.5	4.9	2.2	68.6	-	顔面付分銅形土偶、平坦系列第2段階の全身、口からの貫通孔、眉の隆帯上に縦貫沈線、後期後葉～末葉	3	d-289	134	39	374
27	5.9	6.8	3.3	96.6	-	顔面付分銅形土偶、平坦系列第2段階の下半身、口に繋がる貫通孔、隆帯の臀部表現、後期後葉～末葉	3	d-292	134	39	375
28	6.3	5.1	2.3	53.6	-	顔面付分銅形土偶、背反系列第3段階の上半身、点刻の口、頭頂に圧痕、後期後葉～末葉	3	d-299	135	39	376
29	5.8	5.1	1.6	31.9	-	顔面付分銅形土偶、背反系列第3段階の上半身、沈線表現の眼、点刻の口、後期後葉～末葉	3	d-300	135	39	377
30	7.9	4.0	1.9	58.5	-	顔面付分銅形土偶、平坦系列第4段階の全身、装飾喪失、口からの貫通孔、後期後葉～末葉	3	d-307	136	39	378
31	8.4	3.7	2.1	58.5	-	顔面付分銅形土偶、平坦系列第4段階の全身、眼鼻と装飾喪失、深く挟む口のみ表現、末期相で終焉を示す、後期後葉～末葉	3	d-309	136	39	379
32	8.7	9.5	8.6	186.7	-	遮光器系土偶頭部、中空で橋状把手と頭部一体化、二重の顔面表現、線描で遮光器状の眼をもつ第1の顔面、その額相当部に眉・鼻を貼付した第2の顔面、晩期中葉	3	d-313	137	40	380
33	6.7	14.5	3.9	198.1	-	遮光器系土偶上胴部～腕部、板状の腹面と背面を頸部・体側部で接合させた中空胴部、頸部接合面に口からの貫通孔縦貫、晩期中葉	3	d-322	139	40	381
34	5.1	5.1	1.4	34.1	-	中空動物形土製品と関わる土偶上胴部、中空動物形土製品の四肢と土偶の乳房並存、欠損する下半身が脚なら土偶で鱗なら中空動物形土製品、晩期中葉	3	d-344	142	41	382
35	15.3	8.7	2.3	338.5	-	人面付土版全身、ハート形隆帯で眉・鼻表現、眼は沈線、顎は沈線、乳房貼付、性器表現、背面は入組文を挟む対向三叉文、破断して二分割・土坑へ一括埋納、晩期前葉	3	c- 1	158	45	383
36	5.1	5.0	1.8	37.2	-	人面付土版人面部右半分、平面小判形、小ぶりで弧状隆帯の眉・鼻、沈線の眼、背面に線描三叉文、縄文なし、c-1に後続	3	c- 2	158	45	384
37	5.0	8.3	2.3	69.4	-	人面付土版人面部上半分、弧状隆帯の眉・鼻、沈線の眼、正面・背面無文で縄文なし、c-1に後続	3	c- 4	158	45	385
38	11.4	8.3	3.1	184.1	-	中空動物形土製品胴部、頭部中空・胴部中空、人面付土版c-1の背面装飾を腹面に継承、性器表現も継承、貫通孔縦貫、頭部と前肢分割成形、c-1の直後で晩期前葉	3	c-14	159	46	386
39	5.4	4.6	2.5	31.3	-	中空動物形土製品腹面下半分、胴部中空、腹面側に曲がる尾部、尾部付近に貫通孔、乳房表現、全身無文、腹面・背面を接合させる分割成形、晩期前葉以降	3	c-15	160	46	387
40	7.1	6.0	1.4	50.1	-	手燭形土製品、平たい把手タイプの把手部、中ノ沢K式土器と共通の端部に縦貫沈線付隆帯貼付	3	c- 24	162	47	388
41	10.2	4.9	1.8	102.9	-	手燭形土製品、平たい把手タイプの把手部、正面に三叉陰刻、c-24に後続、晩期初頭以降	3	c- 25	162	47	389
42	7.2	6.0	1.6	62.7	-	手燭形土製品、平たい把手タイプの把手部、三叉状の透孔、端部の突起は晩期前葉の土器に類似、c-25に後続	3	c-26	162	47	390
43	6.0	3.8	1.7	41.8	-	手燭形土製品、平たい把手タイプの把手部、人面表現を意識した貫通孔以外は無文	3	c- 30	162	47	391
44	7.7	3.5	2.6	74.4	-	手燭形土製品、丸い把手タイプの把手部、把先端の反り返り顕著、正面・背面に三叉文、晩期初頭～前葉	3	c- 36	163	47	392
45	4.7	3.6	-	45.6	-	スタンプ形の土製品、頭部に土製耳飾類の同心円文、同心円文系統の土製耳飾第6段階以前に対応、後期末葉～晩期初頭	3	c- 50	164	48	393
46	2.4	2.3	-	5.4	-	スタンプ形の土製品、頭部に土製耳飾類の同心円文、同心円文系統の土製耳飾第6段階以前に対応、後期末葉～晩期初頭	3	c- 51	164	48	394
47	3.3	3.4	-	24.4	-	スタンプ形の土製品、頭部に三叉文・弧線文、晩期初頭以降	3	c- 52	164	48	395
48	4.0	3.1	-	18.9	-	スタンプ形の土製品、頭部に三叉文・弧線文、晩期初頭以降	3	c- 53	164	48	396
49	5.0	4.5	-	77.1	-	スタンプ形の土製品、頭部～基部、頭部に三叉文等、晩期初頭以降	3	c- 54	164	48	397
50	2.9	2.8	-	11.9	-	スタンプ形の土製品、完形品、頭部にランダムな刺突文、後期末葉～晩期	3	c- 55	164	48	398
51	4.0	2.9	-	17.9	-	スタンプ形の土製品、完形品、頭部無文、後期末葉～晩期	3	c- 56	164	48	399
52	1.9	3.4	-	13.7	-	スタンプ形の土製品、頭部～基部、頭部無文、基部は短い、石英が顕著な佐野式土器類似胎土、晩期前葉～中葉	3	c- 57	164	48	400
53	2.2	1.4	-	3.4	-	葎形の土製品、ごく小形、土製耳飾に含める見解あり、耳飾に関わるなら後期末葉～前葉	3	c- 58	165	48	401

54	2.4	1.5	-	4.2	-	茸形の土製品、ごく小形、土製耳飾に含める見解あり、耳飾に関わるなら後期末葉～前葉	3	c- 60	165	48	402
55	2.2	1.2	-	5.0	-	玉状の土製品、丸玉形、後期～晩期	3	c- 71	165	48	403
56	0.9	0.9	-	0.8	-	玉状の土製品、丸玉形、後期～晩期	3	c- 72	165	48	404
57	2.6	2.0	-	2.9	-	玉状の土製品、勾玉形、後期～晩期	3	c- 73	165	48	405
58	2.0	1.5	-	2.7	-	玉状の土製品、勾玉形、後期～晩期	3	c- 74	165	48	406
59	3.4	2.0	-	6.1	-	玉状の土製品、勾玉形、後期～晩期	3	c- 75	165	48	407
60	4.8	2.3	-	19.4	-	二孔付の柱状土製品、円筒形、円柱曲面に1対の貫通孔、三叉形の透孔、晩期初頭～前葉	3	c- 76	165	48	408
61	5.8	1.9	-	16.7	-	二孔付の柱状土製品、円柱形、両端に貫通孔、後期～晩期	3	c- 77	165	48	409
62	1.3	3.6	-	14.7	-	ボタン状あるいは円形土製品、円柱側面に1対の貫通孔、正面に三叉陰刻施文、晩期初頭	3	c- 78	165	48	410
63	0.9	2.6	-	5.4	-	ボタン状あるいは円形土製品、円柱側面に1対の貫通孔、正面・背面に不規則構図施文、後期～晩期	3	c- 79	165	48	411
64	0.5	2.4	-	3.0	-	ボタン状あるいは円形土製品、円柱側面の貫通孔なし、正面・背面に不規則構図施文、後期～晩期	3	c- 80	165	48	412
65	3.6	1.6	-	7.1	-	管状の土製品、円柱曲面に縄文施文、後期～晩期	3	c- 81	166	48	413
66	3.4	1.4	-	4.6	-	管状の土製品、円柱曲面に縄文施文と赤彩、後期～晩期	3	c- 82	166	48	414
67	6.3	5.4	-	52.8	-	ミニチュアあるいは小形土器、肩部に細隆帯が巡る大洞C1式壺形土器、内面に顔料付着、赤色顔料収納容器	3	c-126	168	50	415
68	1.4	3.3	-	9.0	-	ミニチュア土器、椀形、佐野式前後の在地系ミニチュア土器共通相、晩期中葉前後	3	c-157	169	-	416
69	2.4	3.8	-	20.6	-	ミニチュア土器、椀形、佐野式前後の在地系ミニチュア土器共通相、晩期中葉前後	3	c-159	169	-	417
70	3.9	4.6	-	66.8	-	ミニチュア土器、深い椀形、佐野式前後の在地系ミニチュア土器共通相、晩期中葉前後	3	c-162	169	51	418
71	3.9	3.4	-	40.1	-	ミニチュア土器、深い椀形、佐野式前後の在地系ミニチュア土器共通相、晩期中葉前後	3	c-164	169	50	419
72	4.0	4.7	-	48.8	-	ミニチュア土器、深鉢形、佐野式前後の在地系ミニチュア土器共通相、晩期中葉前後	3	c-165	169	50	420
73	3.3	2.7	-	27.0	-	ミニチュア土器、深鉢形、佐野式前後の在地系ミニチュア土器共通相、晩期中葉前後	3	c-167	169	-	421
74	5.3	5.4	-	52.8	-	ミニチュア土器、無頸壺形で口端部に孔列	3	c-190	170	-	422
75	7.0	5.4	-	189.3	-	有孔球状土製品、紡錘形～球形の中間形、石英が顕著な佐野式土器類似胎土、佐野式共伴	3	c-203	170	51	423
76	8.1	6.1	-	259.1	-	有孔球状土製品、紡錘形～球形の中間形、羽状沈線文施文、後期中葉～後葉	3	c-212	171	51	424
77	5.8	6.5	-	214.1	-	有孔球状土製品、下彫形、無文、晩期	3	c-214	171	51	425

(3) 土器

48点

番号	法量 (cm・g)				遺存率 (%)	品質形状等	報告番号		報告書頁		通番
	最大径		器高	重量			分冊	No	図版	写真	
	長径	短径									
1		19.4	5.2	220.0	70	浅鉢形土器、外反口縁で丸底、口唇部に丸瘤付加のB突起、佐野1式	1	J13-1	71	41	426
2		30.4	29.7	2120.0	90	深鉢形土器、つの字文鉢の深鉢、直線横帯文と横長瘤単位文、上ノ段3式	1	J17-1	87	43	427
3		41.6	20.5	3180.0	90	浅鉢形土器、つの字文鉢、「つ」系横帯文で単位文なし、上ノ段2式	1	J17-4	87	43	428
4		44.8	24.2	3650.0	90	浅鉢形土器、つの字文鉢、「つ」系横帯文と磨消縄文系突起第4段階の単位文、上ノ段2式	1	J17-5	87	43	429
5		10.6	4.8	180.0	50	釣手形土器の身部、4窓式、後期中葉～後葉	1	J17-34	89	42	430
6		5.0	1.7	10.0	90	蓋形土器、つまみ部欠損、連鎖しない入組文、晩期初頭	1	J17-135	92	-	431
7		29.7	29.0	2300.0	70	深鉢形土器、無文粗製、外面広汎なケズリ、佐野式共伴	1	U5-1	187	50	432
8		32.2	36.3	3420.0	80	深鉢形土器、外反口縁、口縁部花卉状雲形文、肩部クラック構図、佐野2式	2	S2-1	4	13	433
9		14.9	11.8	570.0	80	浅鉢形土器、外反口縁で丸底、肩部花卉状雲形文、佐野2式	2	S2-G59	6	13	434
10	(26.4)	(22.8)	(8.8)	750.0	60	浅鉢形土器、平面楕円形、丸底、花卉状雲形文、佐野1式	2	S2-G60	6	13	435
11	18.4	15.5	7.0	380.0	100	浅鉢形土器、平面楕円形、丸底、花卉状雲形文、佐野2式	2	S2-G61	7	-	436
12		12.5	10.7	320.0	80	浅鉢形土器、外反口縁で丸底、肩部入組三叉文、佐野1式	2	Wa-5	10	14	437
13		17.9	6.3	440.0	90	浅鉢形土器、丸底、無文、口唇小突起の裾に切り込み、佐野式	2	Wa-17	10	-	438
14	19.6	16.3	6.9	350.0	90	浅鉢形土器、平面楕円形、丸底、口縁部花卉状雲形文、底面スベード状構図、佐野1式	2	Wb-18	12	15	439
15		16.5	7.4	380.0	70	浅鉢形土器、丸底、無文、口唇小突起の裾に切り込み、佐野式	2	Wf-52	19	18	440
16		9.5	8.0	200.0	70	浅鉢形土器、外反口縁で丸底、肩部縄文帯、内面沈線、佐野式	2	Wg-11	22	18	441
17		15.1	9.6	520.0	70	浅鉢形土器、外反口縁で丸底、肩部花卉状雲形文、佐野1式	2	Wg-32	22	18	442
18		19.5	4.8	300.0	70	浅鉢形土器、平底、入組三叉状入組文、口唇小突起の裾に切り込み、佐野2式	2	Wi-10	25	18	443
19		8.8	12.1	280.0	100	壺形土器、外反口縁で丸底、肩部花卉状雲形文、佐野2式	2	Wi-21	25	-	444
20		23.0	21.5	1500.0	90	深鉢形土器、平縁隆帯文深鉢第5段階古相、晩期初頭	2	D144-7	53	20	445
21		10.6	9.5	340.0	100	浅鉢形土器、外反口縁で丸底、無文で突起なし、晩期初頭～中葉	2	D200・G3	59	22	446
22	16.6	13.1	9.8	310.0	70	浅鉢形土器、平面楕円形、外反口縁で丸底、底面花卉状雲形文類似構図、佐野1式	2	D384-20	83	23	447
23		7.6	7.7	130.0	90	壺形土器、外反口縁で平底、肩部沈線帯、大洞C1式	4	N12E3-15			448
24		21.8	10.5	670.0	70	浅鉢形土器、体部無文で台付、高台部三叉状透孔、晩期前葉	4	N9E3-1			449

25		11.7	8.5	290.0	100	浅鉢形土器、外反口縁で丸底、無文、佐野式	4	N9W0- 4			450
26	[16.0]	12.0	6.3	260.0	70	浅鉢形土器、平面楕円形、外反口縁で丸底、晩期初頭～前葉	4	N6W3-72			451
27		18.8	21.1	1160.0	70	深鉢形土器、無文粗製、オサエ・ナデ仕上げ、隆帯文土器共伴、後期末葉～晩期前葉	4	N3W15-1			452
28		21.0	20.8	1190.0	70	深鉢形土器、外反口縁、口唇部B突起で裾切込、肩部に1段の裁痕、大洞C1式	4	S0W18-1			453
29		6.2	8.5	120.0	100	壺形土器、外反口縁で平底、肩部沈線帯と突起、大洞C1式	4	S0W24-1			454
30		13.2	12.7	380.0	90	浅鉢形土器、外反口縁で平底、肩部入組文と三叉文、晩期前葉	4	S0W39-1			455
31		9.2	7.5	170.0	70	浅鉢形土器、外反口縁で丸底、口底面まで全面縄文、晩期前葉	4	S3W24-7			456
32		21.4	19.8	1080.0	70	深鉢形土器、無文粗製、内外面ケズリ・ナデ仕上げ、佐野式共伴	4	s3W30-2			457
33		43.8	21.0	3040.0	70	浅鉢形土器、口唇肥厚、口唇全面縄文、晩期初頭～前葉	4	S3W30-4			458
34		10.8	8.8	290.0	90	浅鉢形土器 外反縁丸底浅鉢、晩期	4	S3W30-1			459
35		15.8	13.9	690.0	80	深鉢形土器 内湾口縁深鉢、晩期	4	S3W30-2			460
36		10.5	11.5	270.0	100	尖底の壺形土器、外反口縁で尖底、肩部・体部に花卉状雲形文類似構図、佐野1式	4	S3W39-1			461
37		21.8	27.9	1510.0	60	深鉢形土器、平縁隆帯文深鉢第5段階古相、晩期初頭	4	N3W9-56			462
38		23.0	(25.2)	1190.0	50	深鉢形土器、佐野B群深鉢、晩期初頭	4	S0W18-3			463
39		10.8	9.1	330.0	80	浅鉢形土器、丸底、無文、口縁に1対の貫通孔、晩期前葉	4	S0W30-1			464
40		30.0	(28.2)	2620.0	50	深鉢形土器、外反口縁、肩部にクランク変形のハンガー形構図、佐野2式	4	S3W21-1			465
41		23.6	(23.0)	1940.0	60	深鉢形土器、外反口縁、肩部に粗大工字文、佐野2b式	4	S3W21-3			466
42		9.8	8.3	200.0	80	胴部単孔の壺形、外反口縁で丸底、羊歯状文浮彫、大洞BC式並行	2	Wb-20	13	14	467
43	(9.8)	8.8	4.2	130.0	70	仮称小部屋付楕円浅鉢、丸底、底面スパーダ状構図、佐野式	2	D502-52	105	24	468
44	(9.1)	(12.5)	5.5	220.0	30	仮称小部屋付楕円浅鉢、口縁部入組三叉文、丸底、底面無文、佐野2式	4	S3W21-9			469
45		[16.4]	13.2	370.0	60	仮称小部屋付楕円浅鉢、高台付、口唇突起と三叉陰刻、口縁部花卉状雲形文、佐野2式	4	S6W24-1			470
46	[17.0]	13.2	(5.1)	200.0	50	仮称小部屋付楕円浅鉢、口縁部波状沈線文、底面無文、佐野2式	4	S3W24-13			471
47		8.5	6.3	60.0	-	人面付で香炉形土器もしくは把手付土器、晩期前葉	4	D389			472
48		7.2	6.0	30.0	-	人面付で香炉形土器もしくは把手付土器、晩期前～中葉	4	J371・J372			473

(4) 石製品

11点

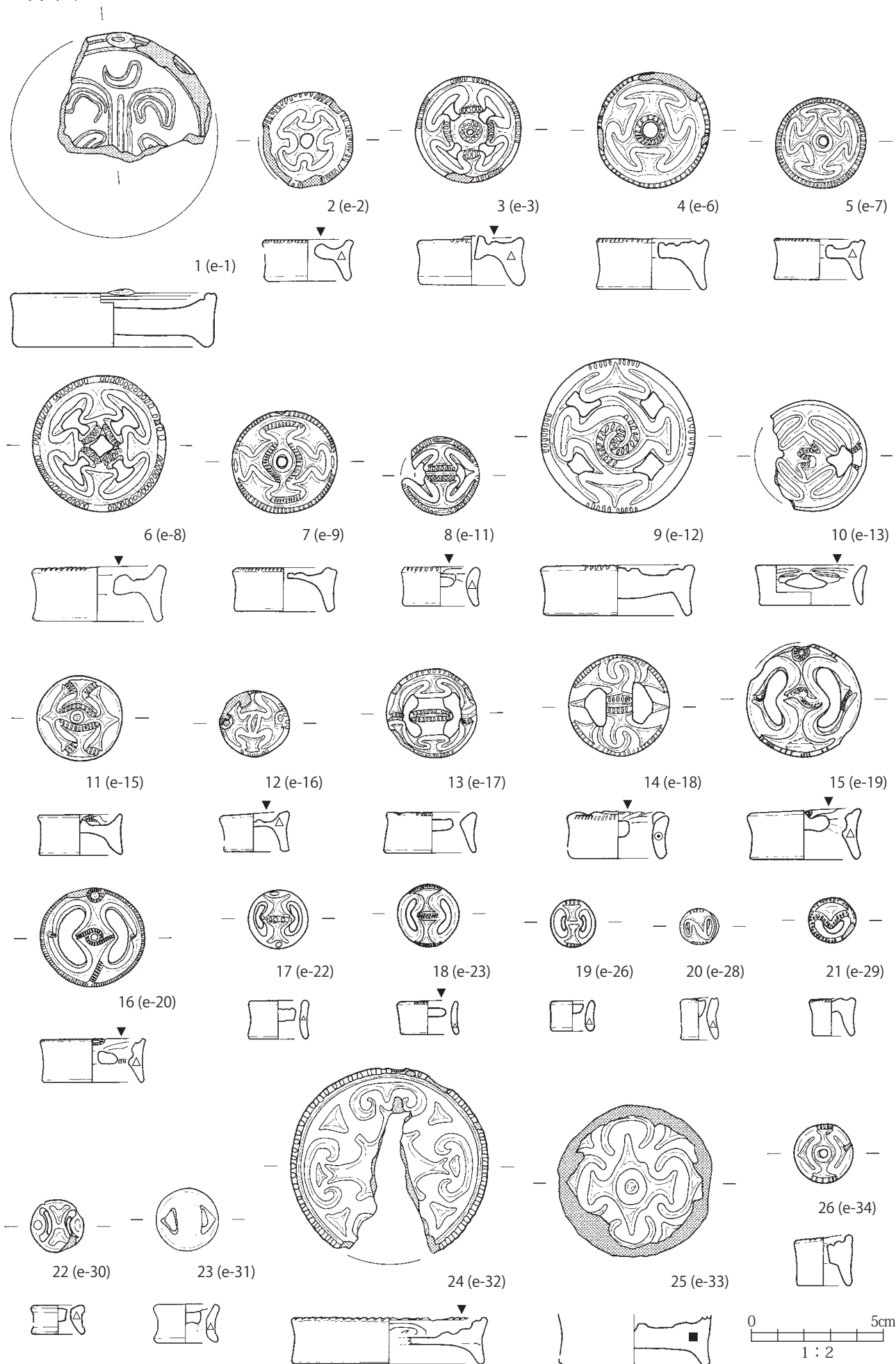
番号	法量 (cm・g)				遺存率 (%)	品質形状等	報告番号		報告書頁		通番
	長さ	幅	厚さ	重量			分冊	No	図版	写真	
1	(9.0)	(1.8)	(1.8)	54.0	80	石棒、小形、有頭、頭部円形括れ有、緑色片岩、全面加工	4	10849			474
2	8.2	1.9	1.5	43.1	100	石棒、小形、有頭、頭部円形括れ有、緑色片岩、全面加工	4	10853			475
3	(26.1)	3.8	3.8	752.0	50	石棒、小形、有頭、頭部二段笠形、緑色片岩、全面加工	4	10860			476
4	(13.1)	(2.9)	2.3	134.6	30	石刀、身断面菱形、柄頭平面鬼頭状、緑色片岩、全面研磨	4	10851			477
5	(12.1)	(3.1)	2.3	119.5	30	石刀、身断面卵形、柄頭平面台形溝状切込み有、緑色片岩、全面研磨	4	10852			478
6	33.1	2.7	2.0	248.2	100	石刀、身断面卵形、柄頭平面長方形溝状切込み有、粘板岩、全面研磨	4	10854			479
7	(19.7)	(4.0)	(1.7)	182.6	50	石刀、身断面楔形、柄頭平面円形溝状切込み有、粘板岩、全面研磨	4	10855			480
8	39.8	3.3	1.6	364.9	100	石刀、身断面楔形、柄頭平面円形緑色片岩、部分研磨、2片接合	4	10858			481
9	9.1	8.8	5.4	4602.0	100	石冠、頭部山形、底部楕円形凹み有、頭部と基底部区別明瞭、両側面沈線切込み、砂岩	4	10877			482
10	6.0	15.0	5.7	337.8	100	石冠、頭部突出、底部長楕円形、頭部と基部の区別明瞭	4	10878			483
11	9.0	7.0	4.7	354.0	100	石冠、頭部石斧形、頁岩、頭部と基底部が一体化	4	10879			484

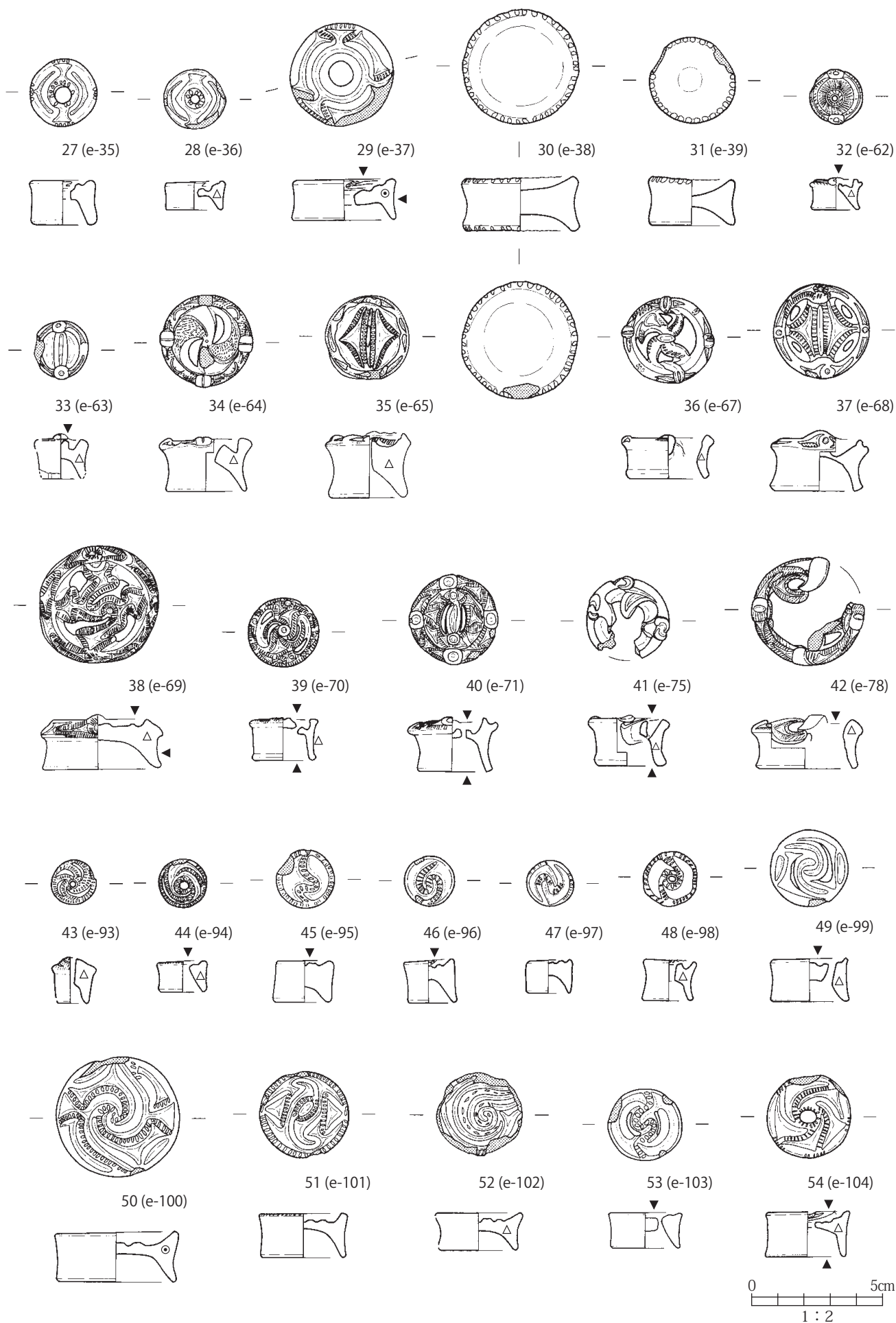
[] 推定値
() 残存値
— 計測不可及び報告書未掲載
空欄 報告書第4分冊掲載のため未記載

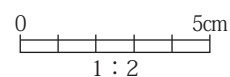
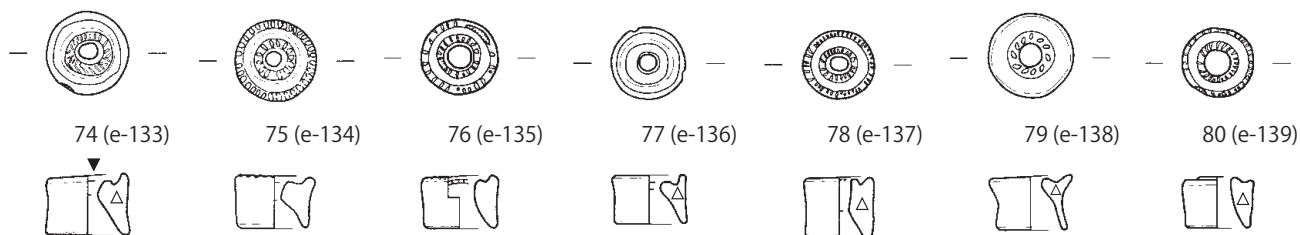
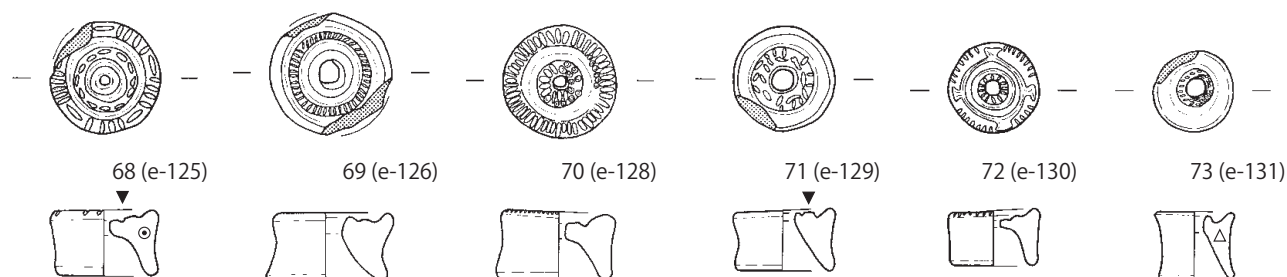
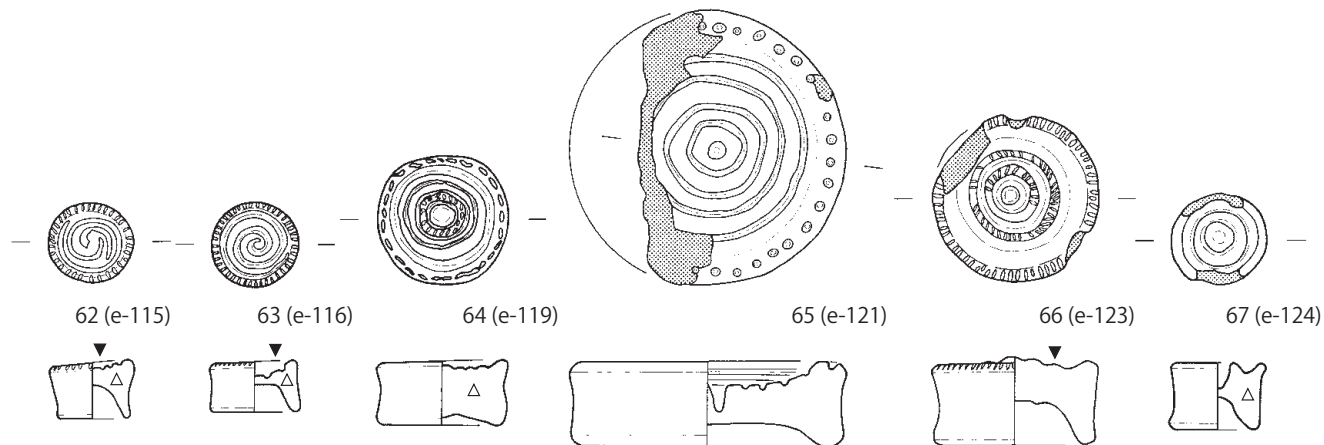
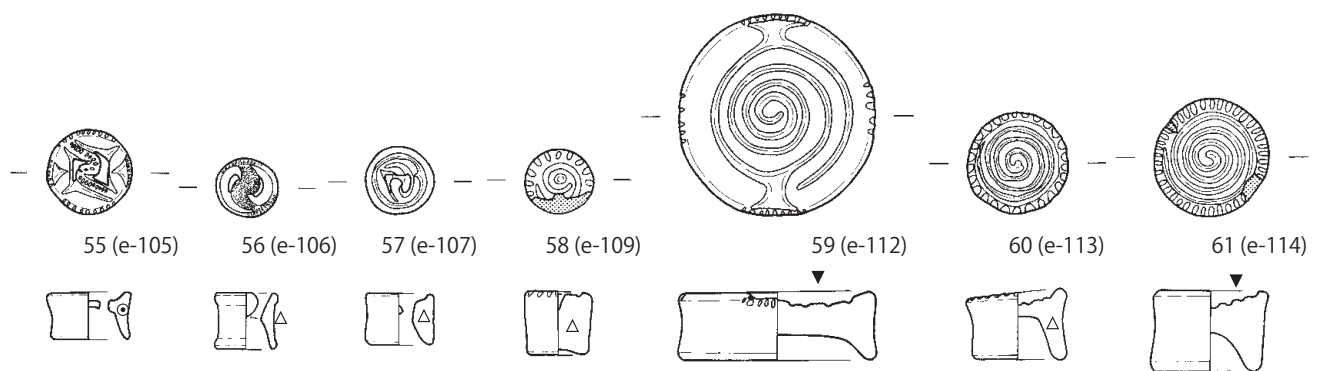
- ・報告番号のうち第4分冊掲載分通番448～466、469～484については仮Noを記載
- ・土製耳飾のうち図版掲載が報告書第4分冊、写真掲載が第3分冊のものについては報告書頁-写真の欄に「(3)XX」のように記載

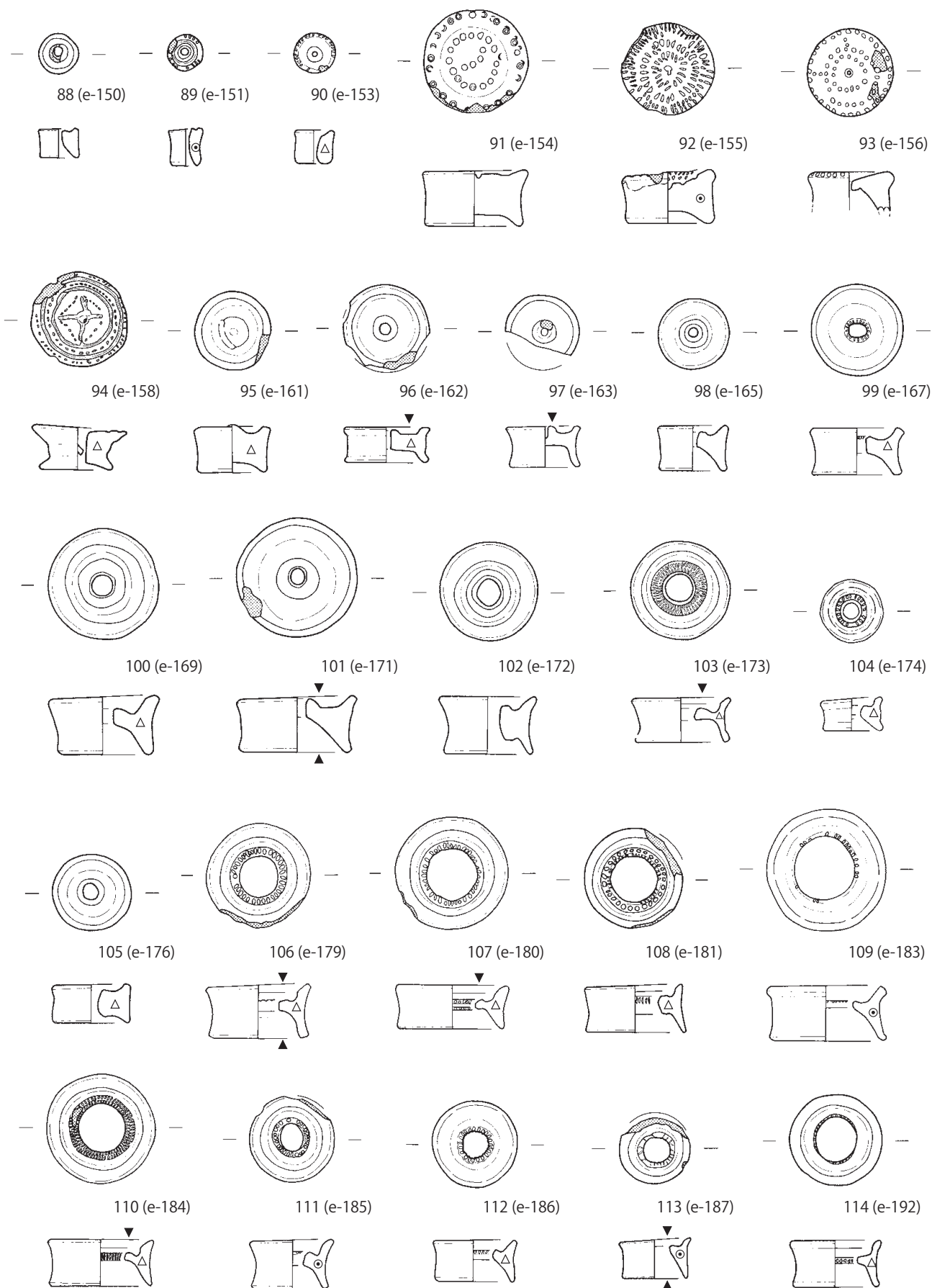
資料2 指定物件 図版

土製耳飾

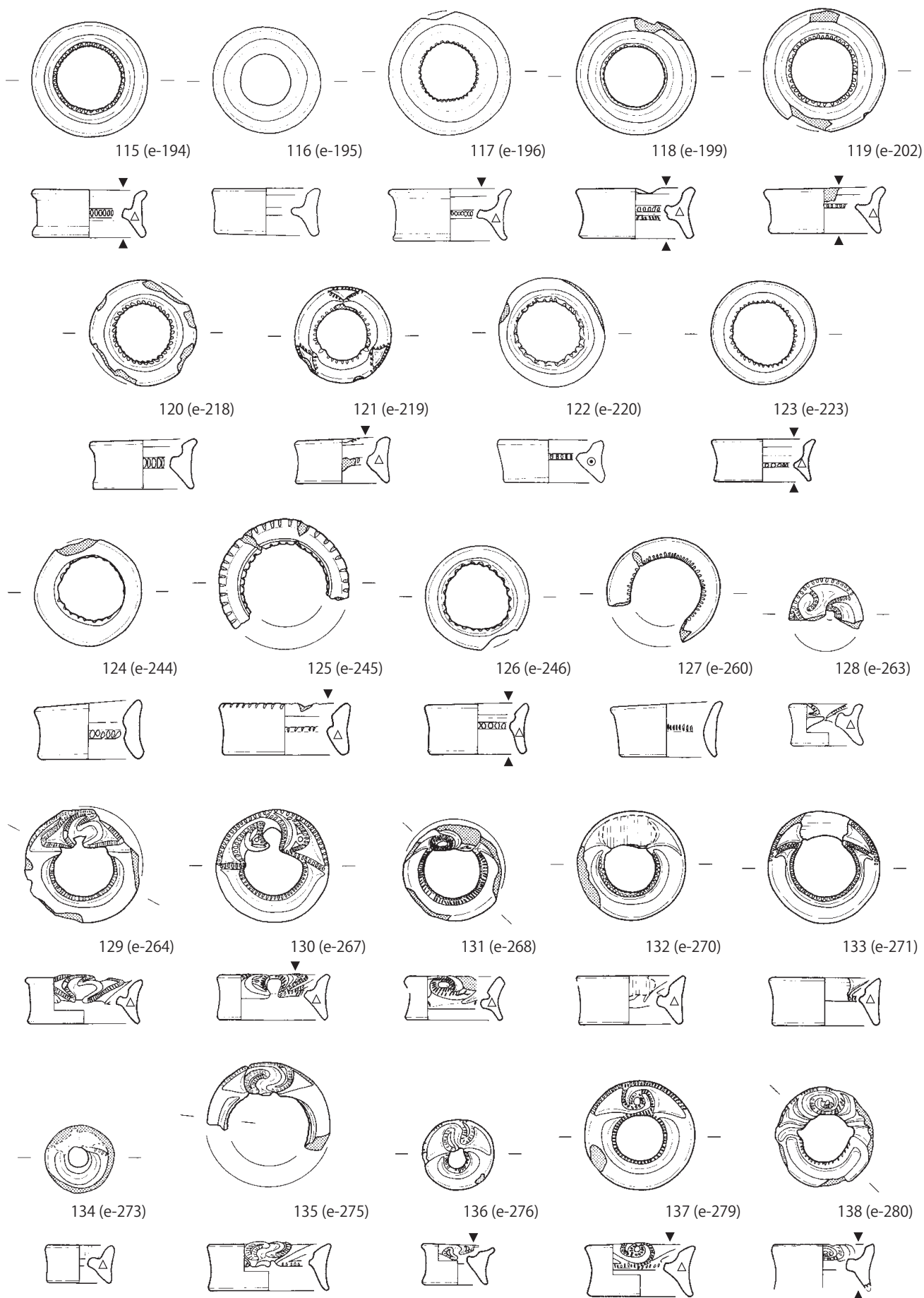




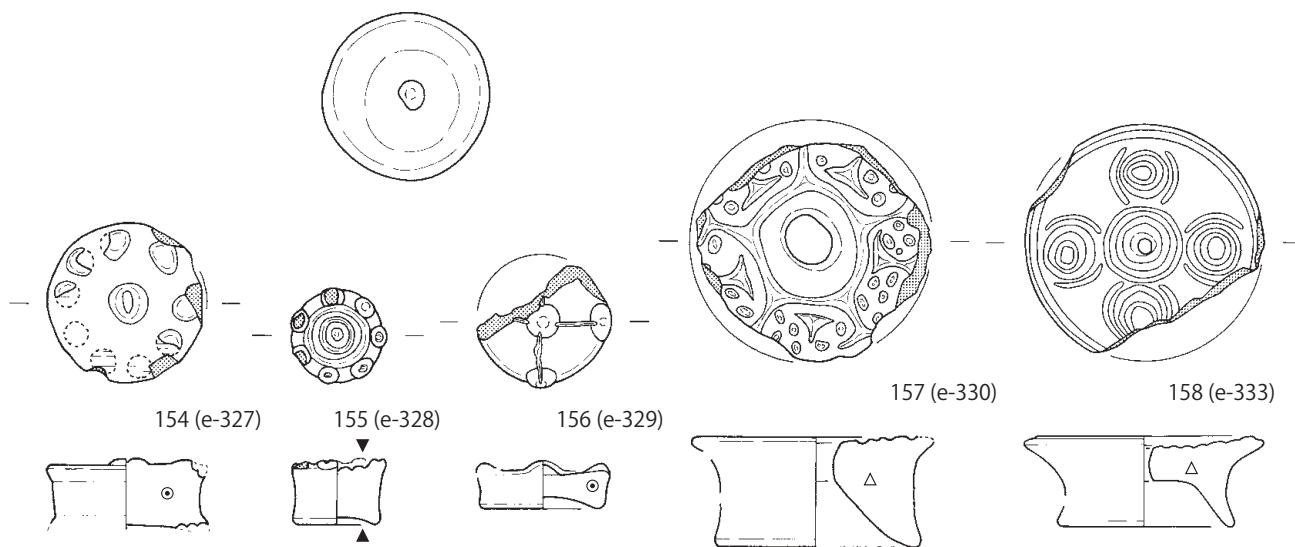
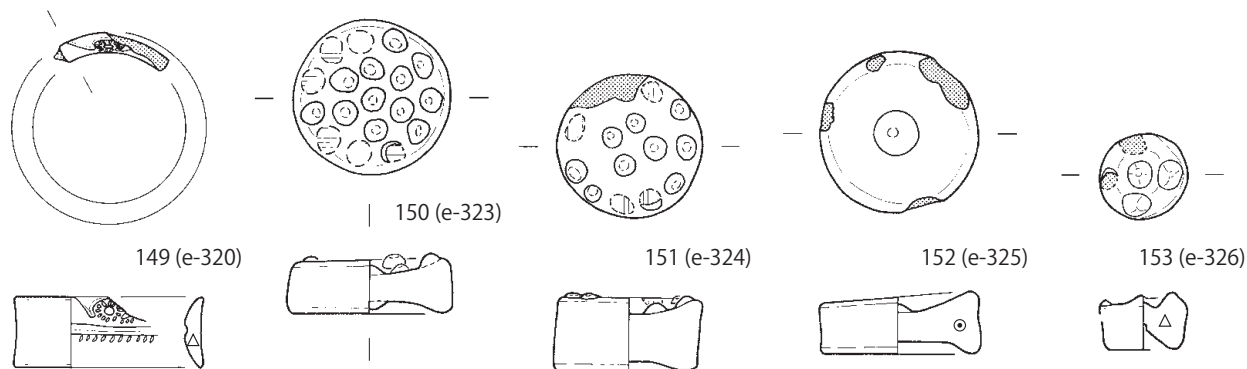
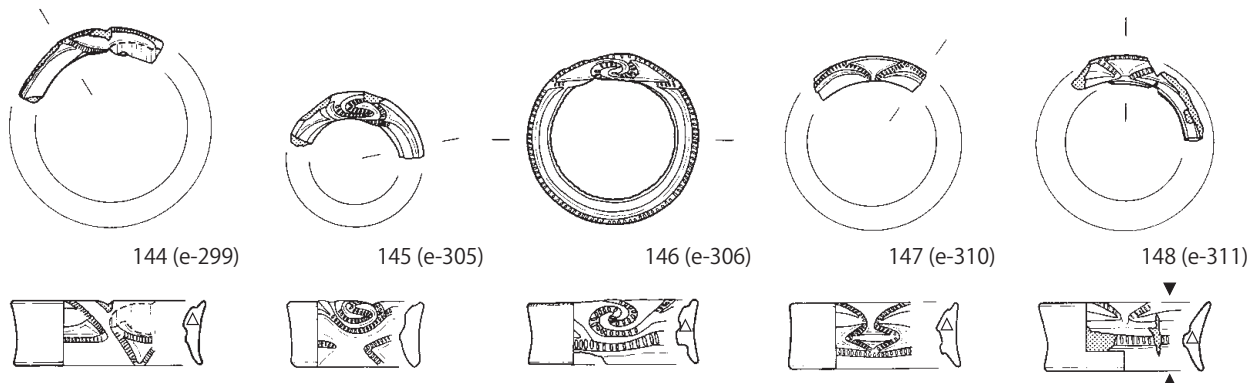
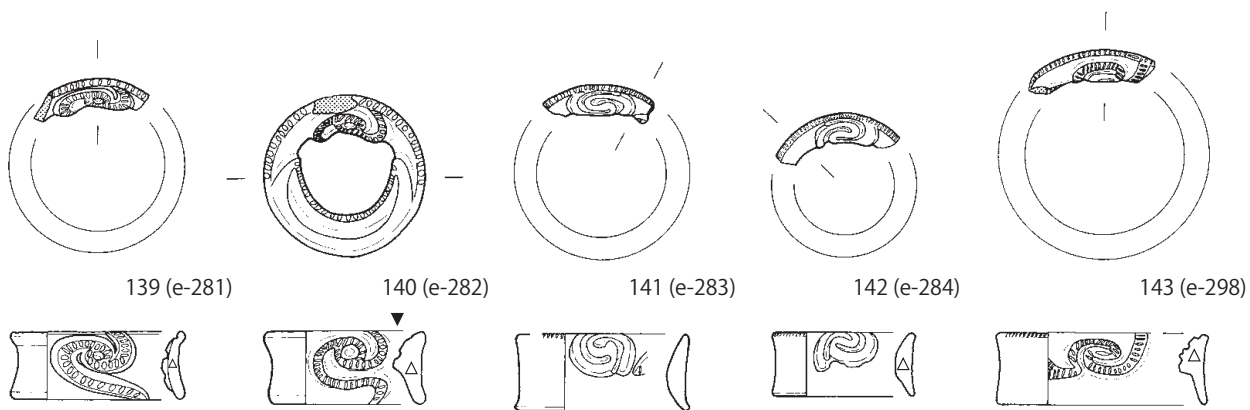




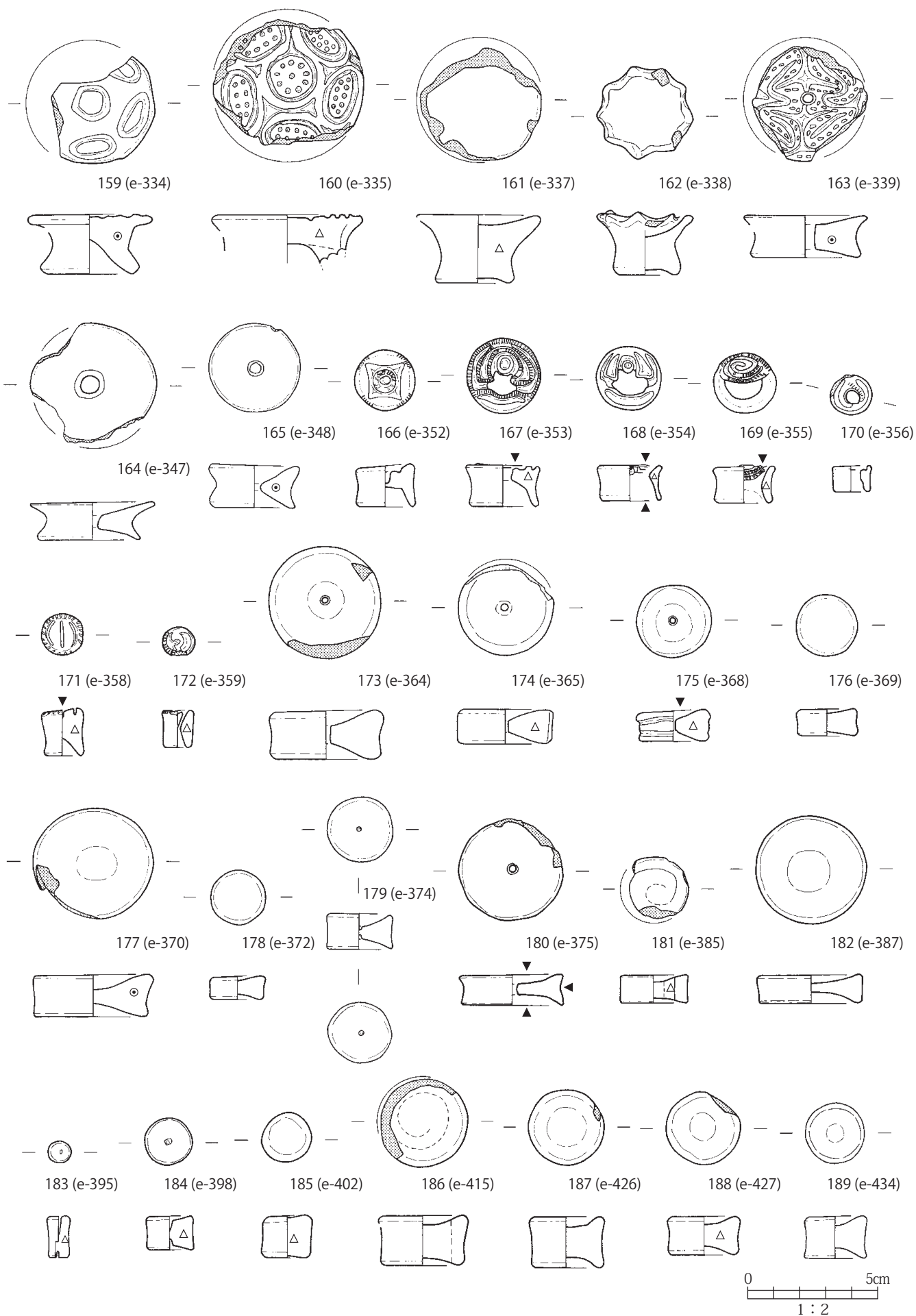
0 5cm
1 : 2

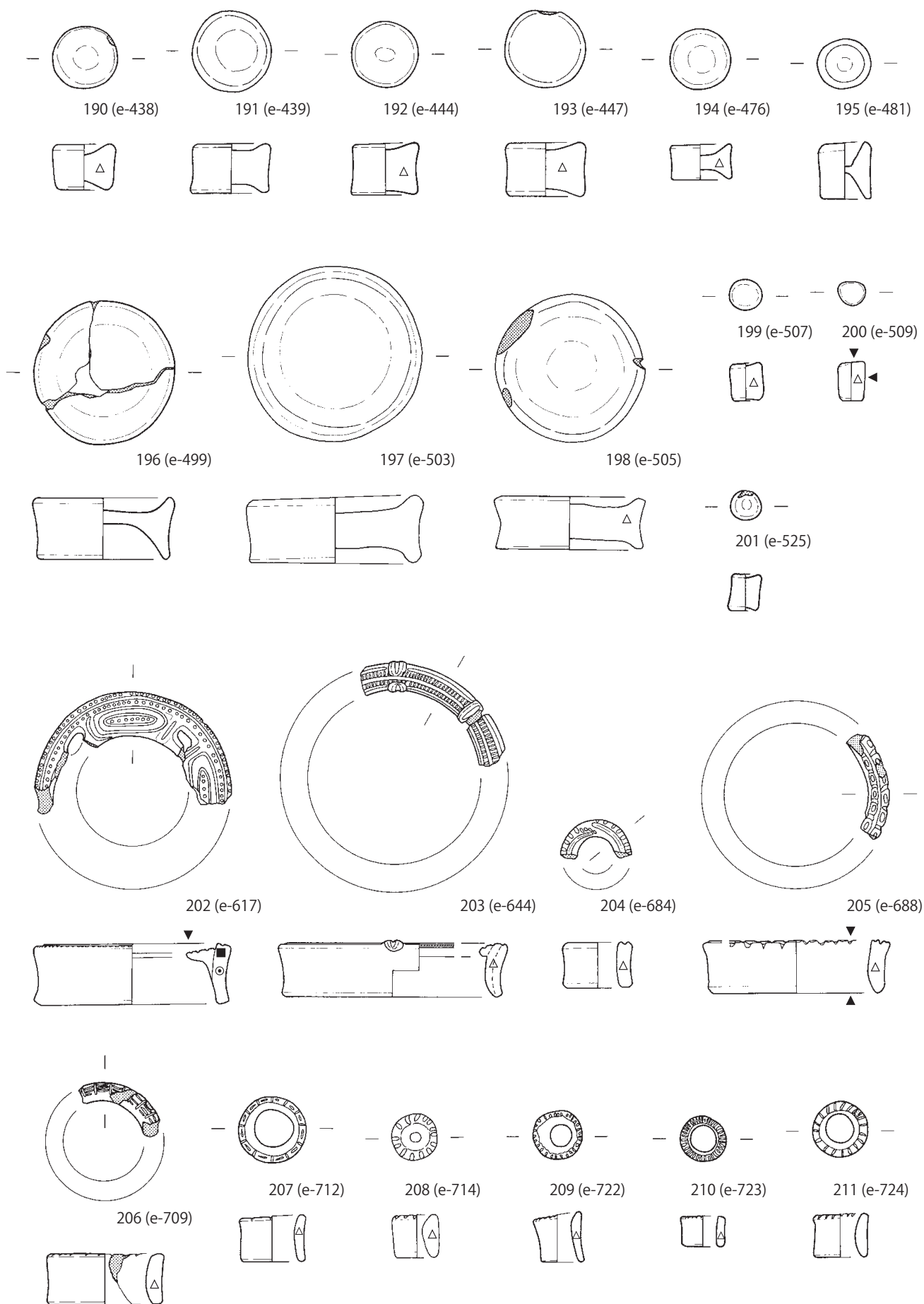


0 5cm
1 : 2

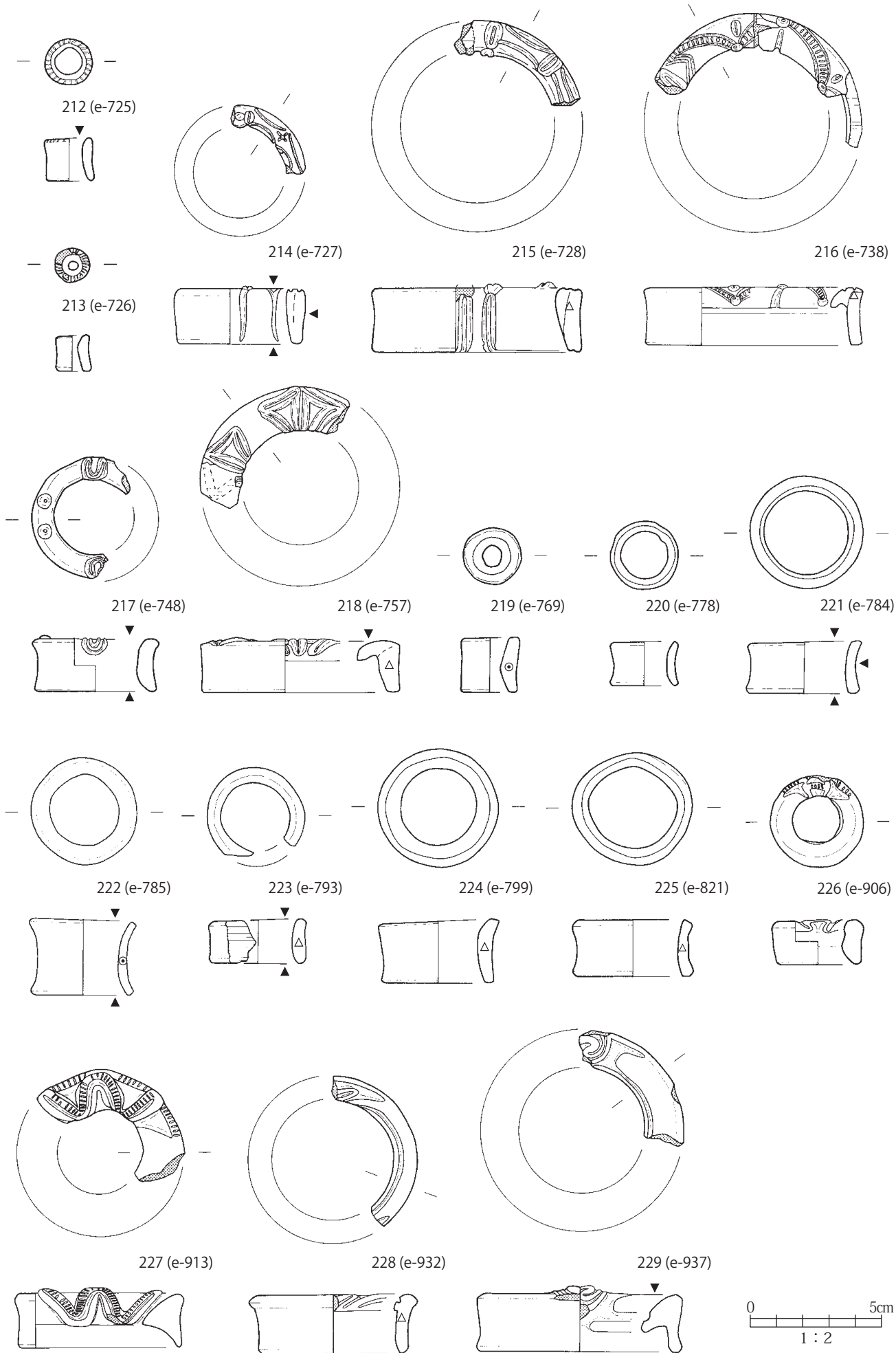


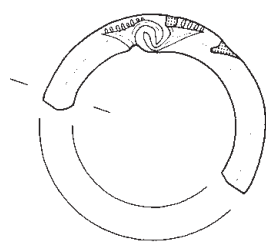
0 5cm
1 : 2



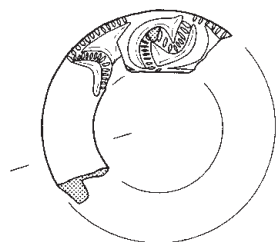


0 5cm
1 : 2

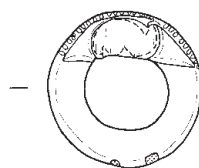
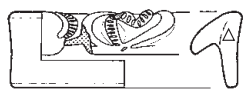




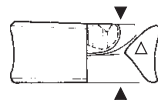
230 (e-942)



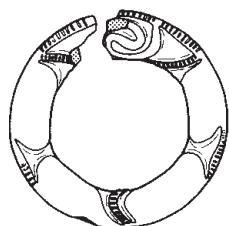
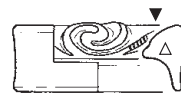
231 (e-945)



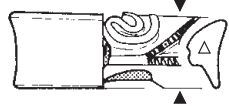
232 (e-948)



233 (e-954)



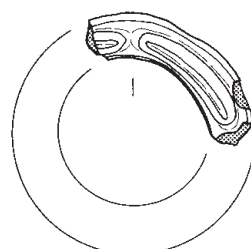
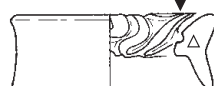
234 (e-968)



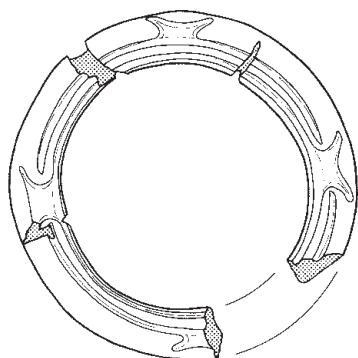
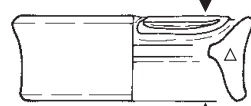
235 (e-969)



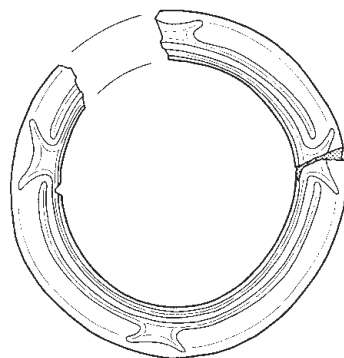
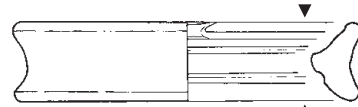
236 (e-971)



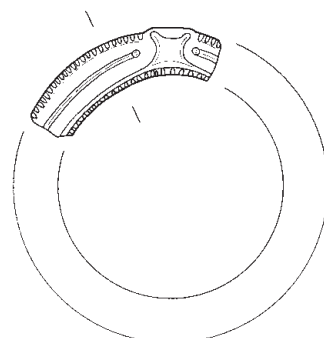
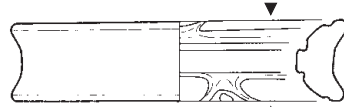
237 (e-973)



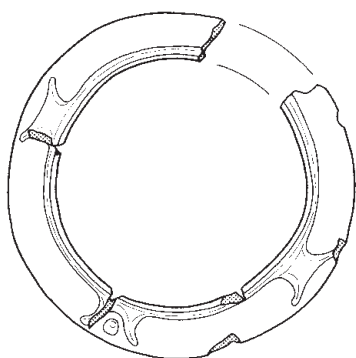
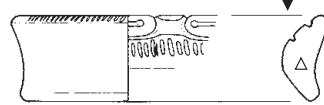
238 (e-1062)



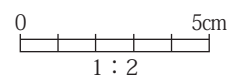
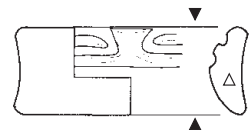
239 (e-1063)

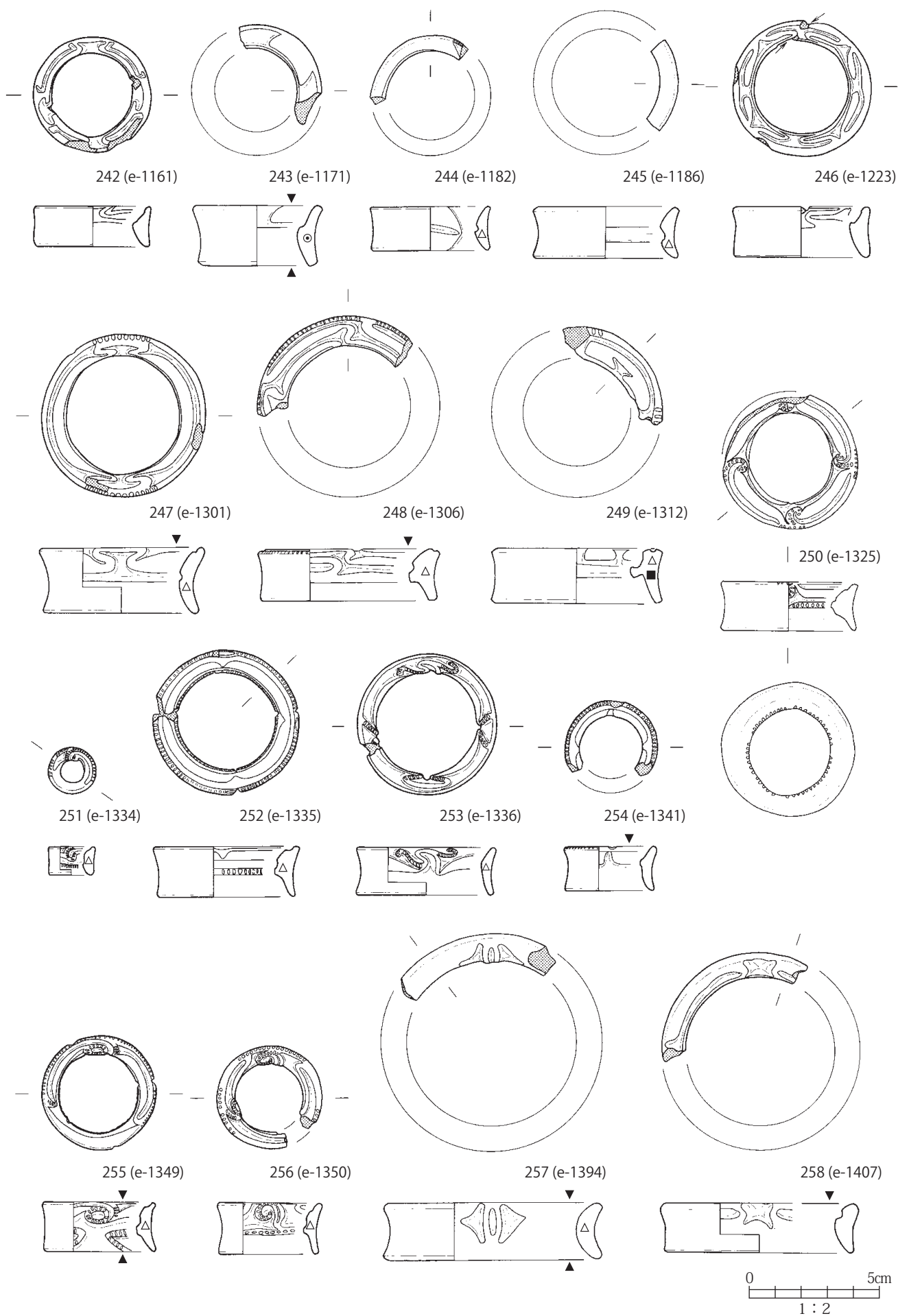


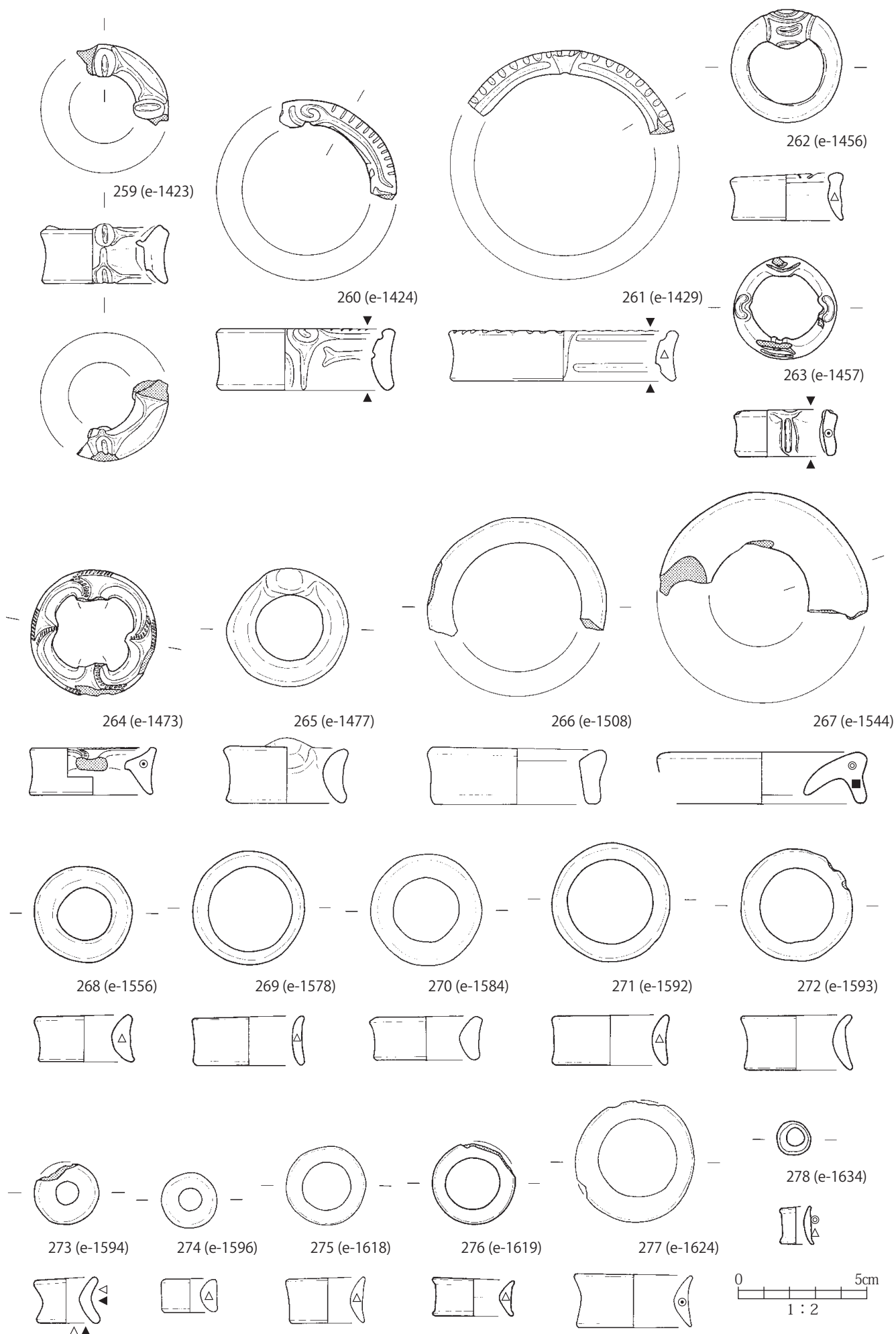
240 (e-1090)

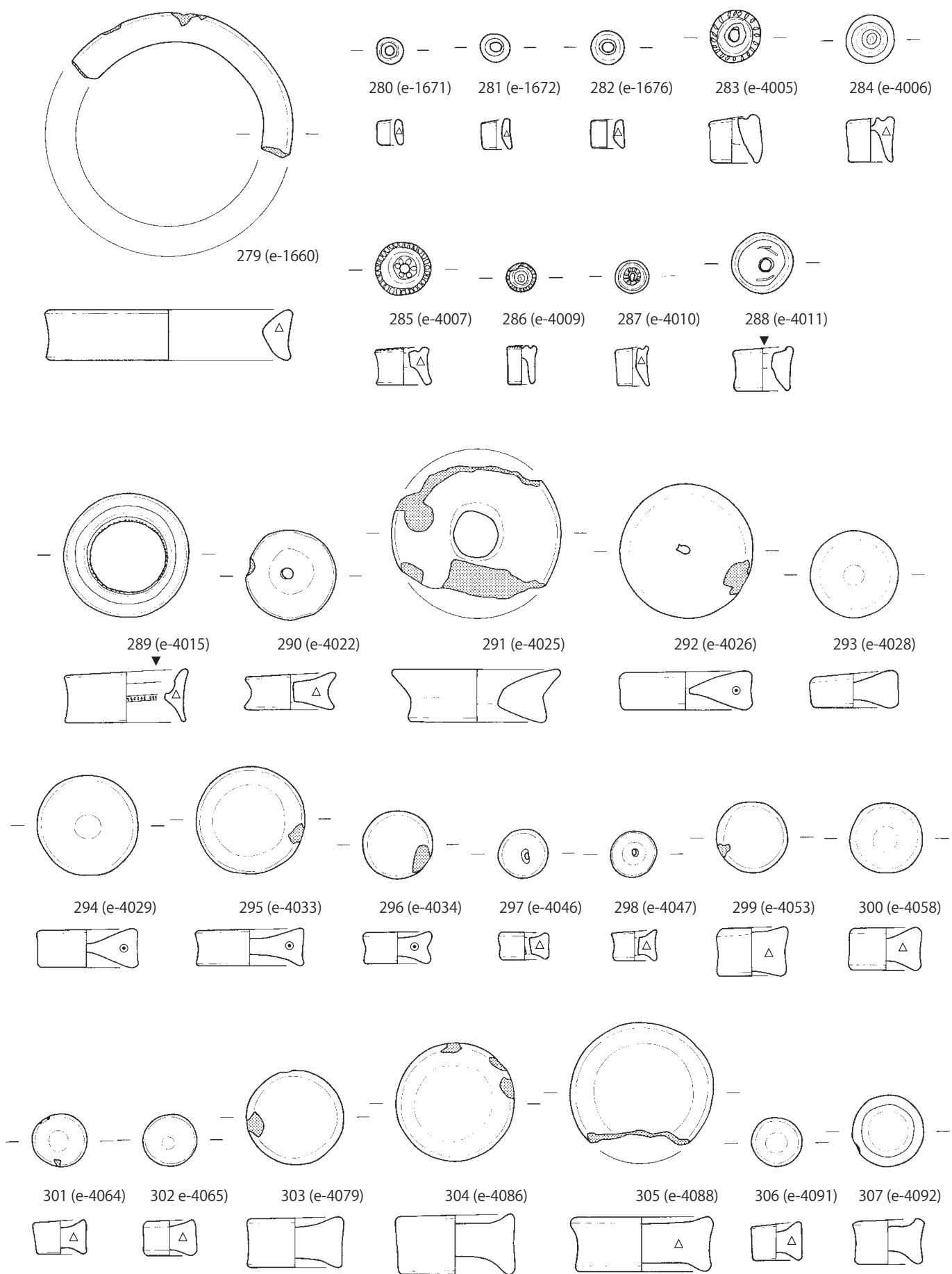


241 (e-1111)

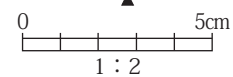
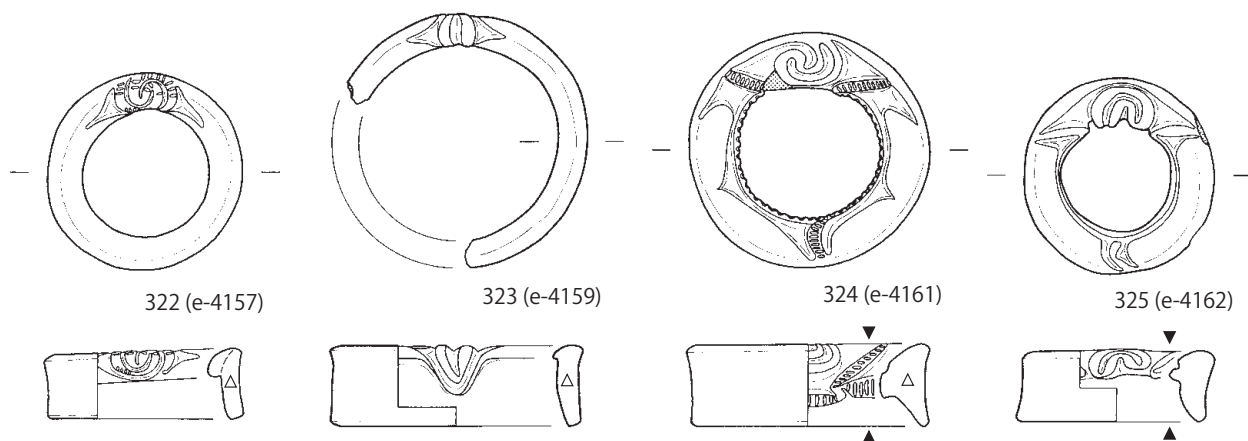
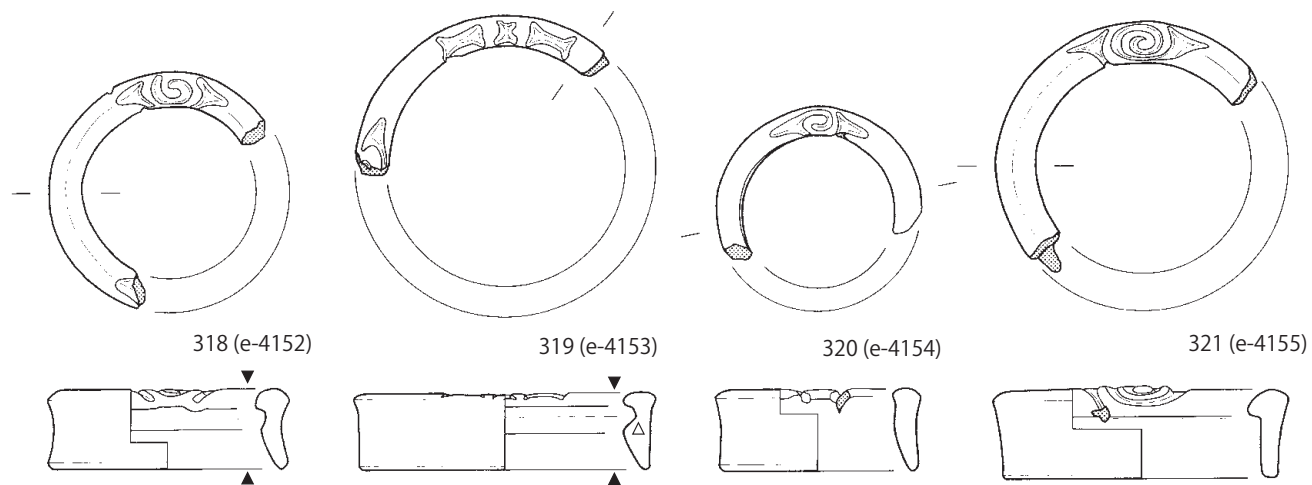
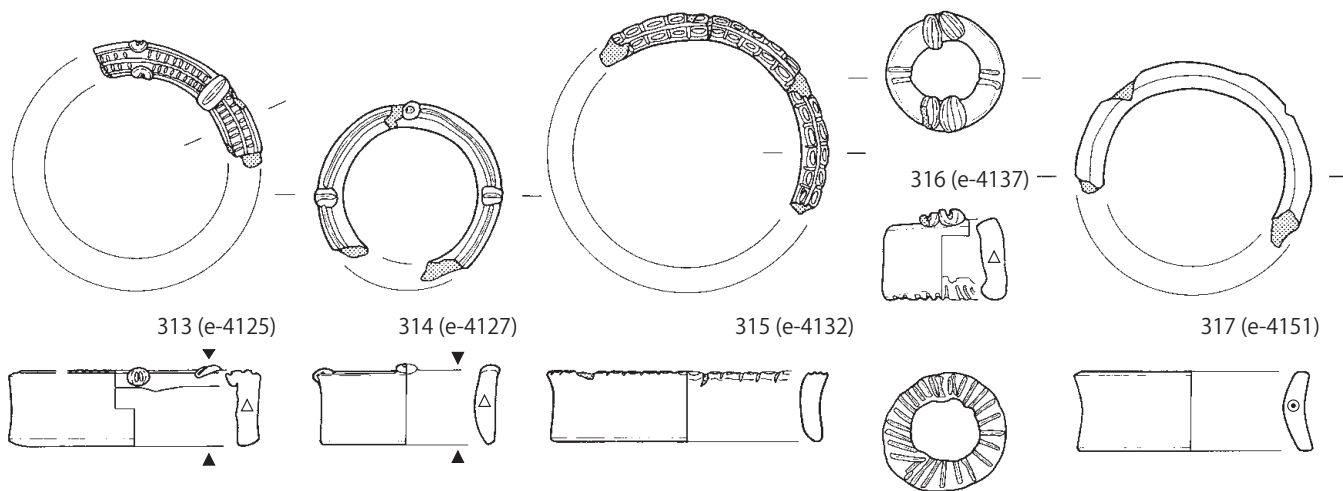
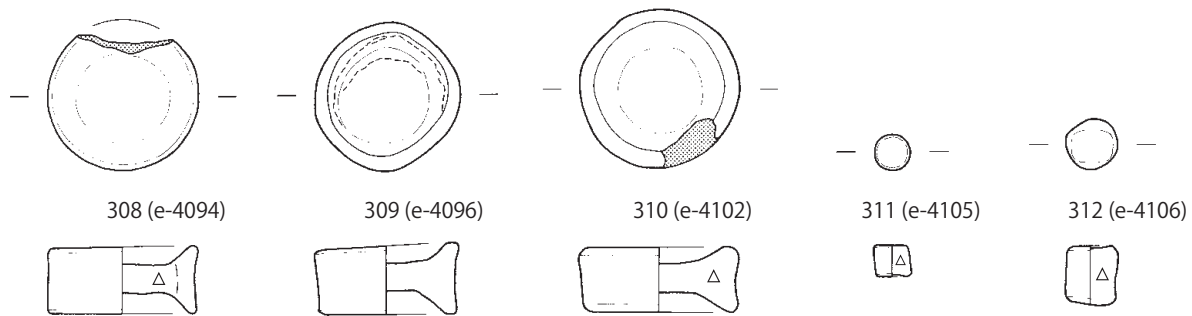


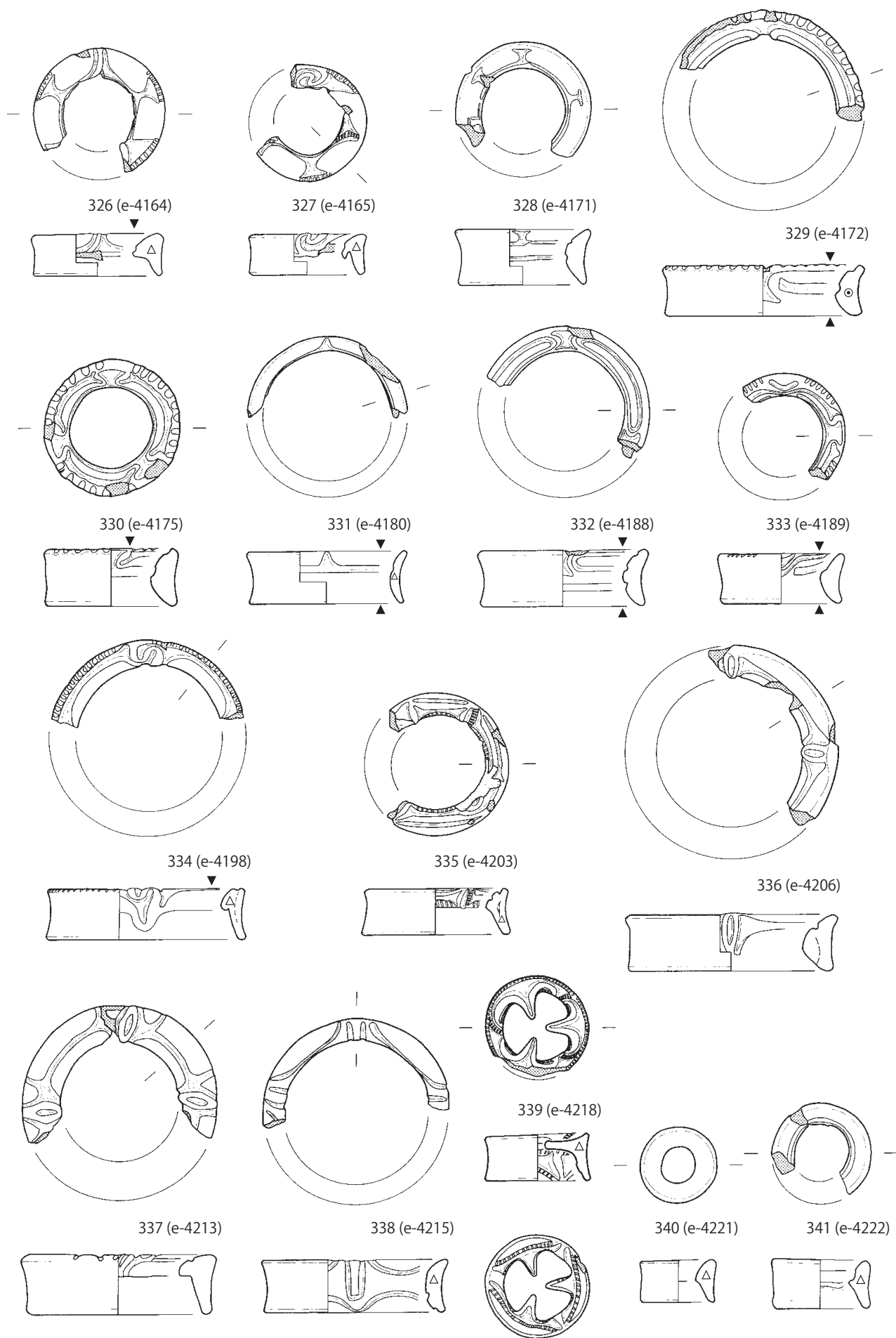




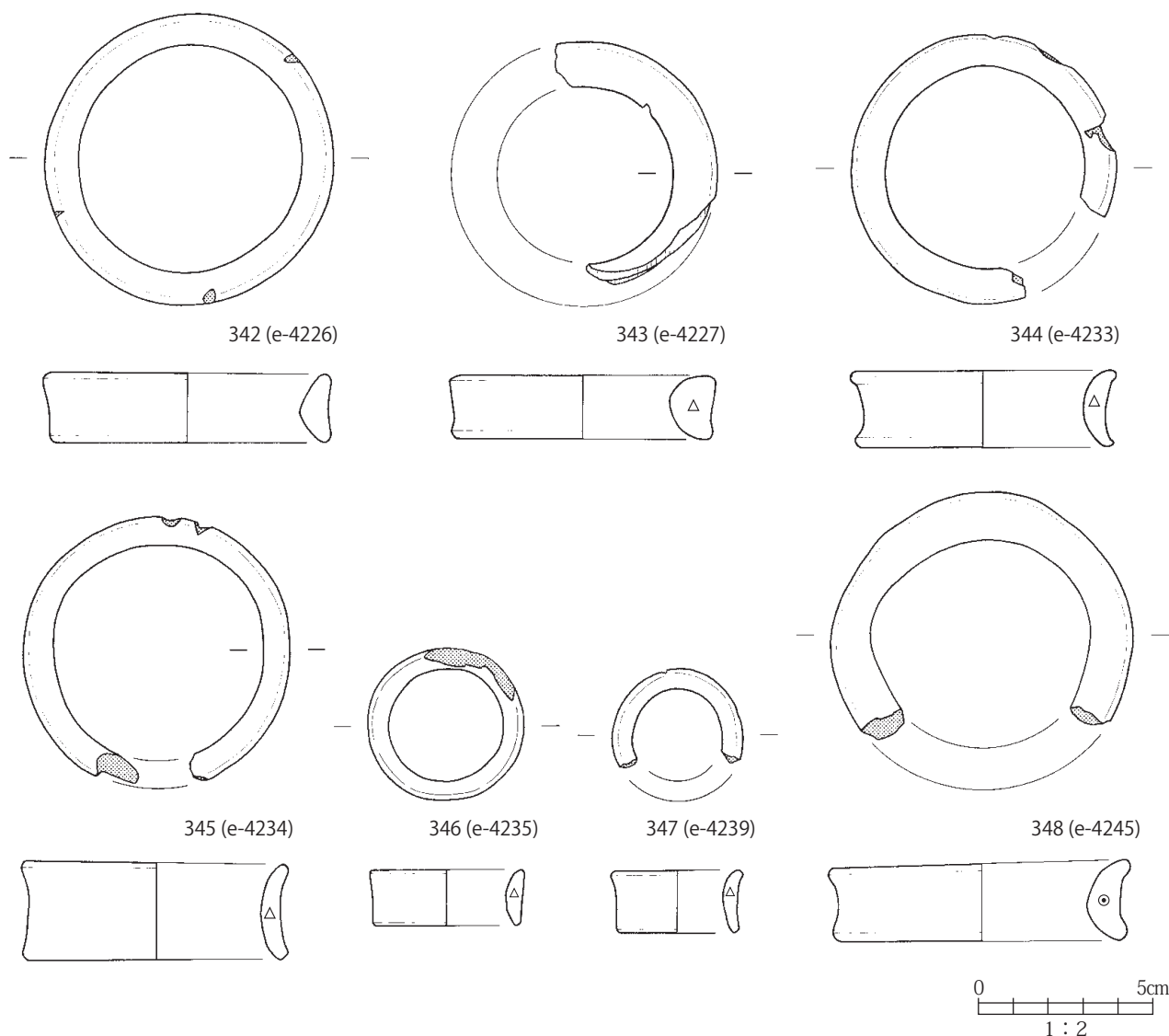


0 5cm
1 : 2





0 5cm
1 : 2



1 本資料掲載の土器・土製品の表現方法は以下のとおりである。

(1) 縮尺は、土器実測図は 1 : 4、土器以外は 1 : 2 に統一した。ただし、土器のうち 431、472、473 は 1 : 2 である。

(2) 欠損部分はスクリーン「■」で、接合部分の「明瞭な剥落」痕跡はスクリーン「≡」で、「不明瞭な剥落」痕跡はスクリーン「※」で、それぞれ表示した。

(3) 特記すべき胎土は以下のように表示した。

無：標準的 (在地的) 胎土

△：標準的ながら、岩石・鉱物が少ない胎土

◎：標準的ながら、岩石・鉱物が著しく多い胎土

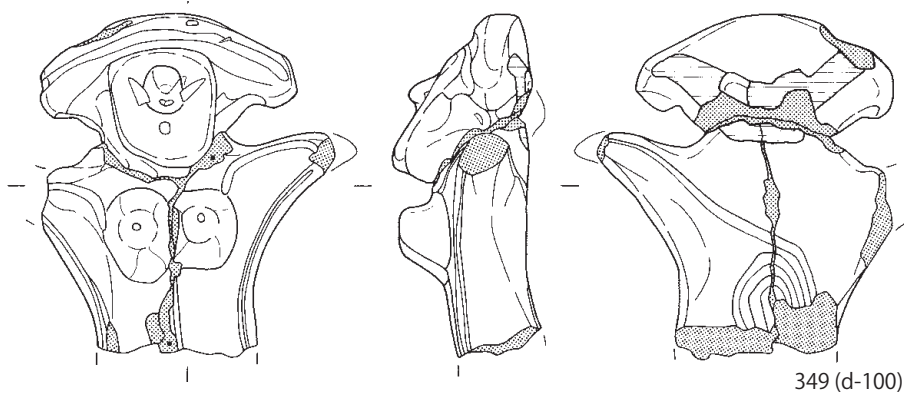
◎：ローリングを受けたガラス質石英を多含する胎土

■：その他、違和感のある胎土

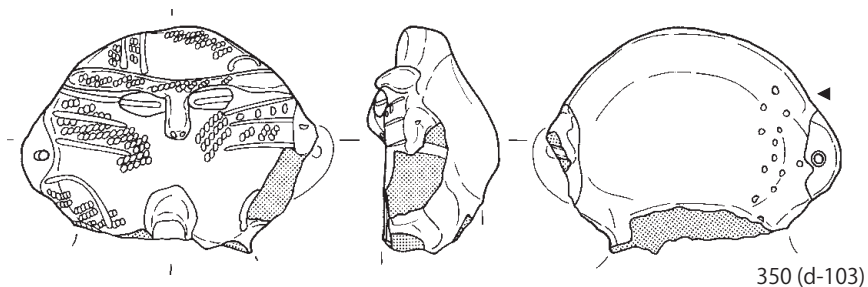
(4) 塗彩がある場合は、断面図・側面図周辺の塗布された面の側に記号を付した。赤色塗彩は、「◀」、黒色塗彩は「◁」である。顕著な 2 次焼成が認められる場合は、断面図・側面図周辺に「☆」を付した。

2 本資料掲載の石製品の縮尺は 1 : 3 で統一した。

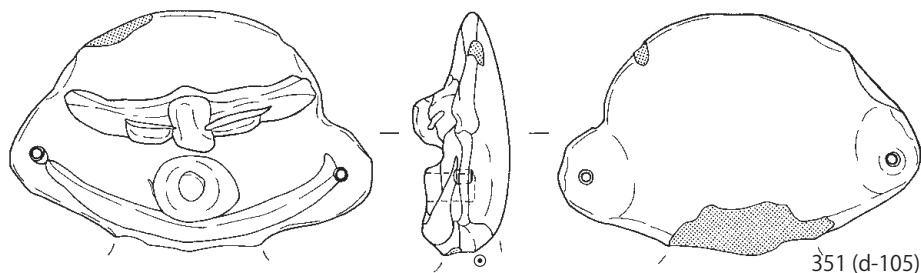
土偶



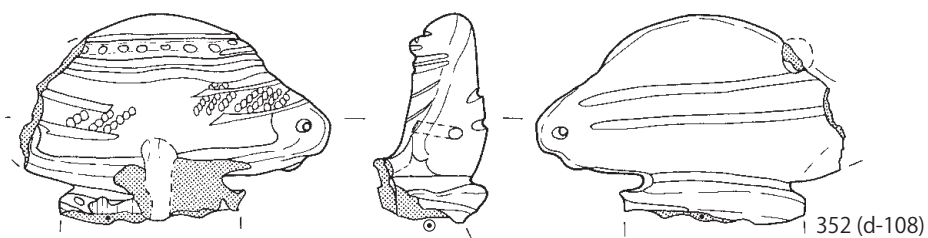
349 (d-100)



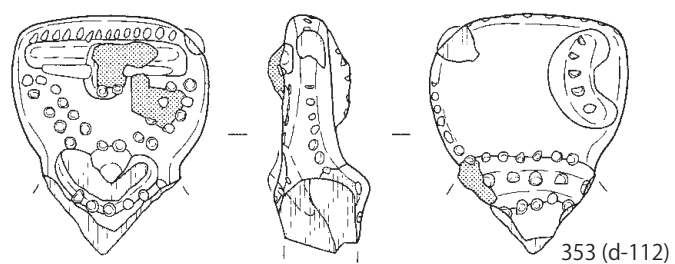
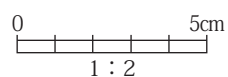
350 (d-103)



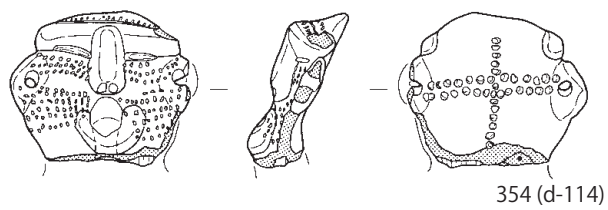
351 (d-105)



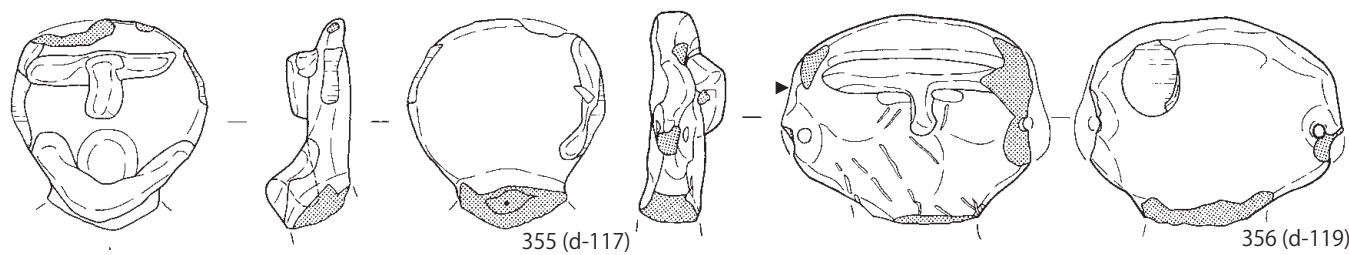
352 (d-108)



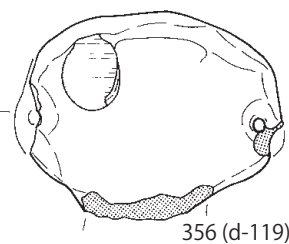
353 (d-112)



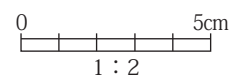
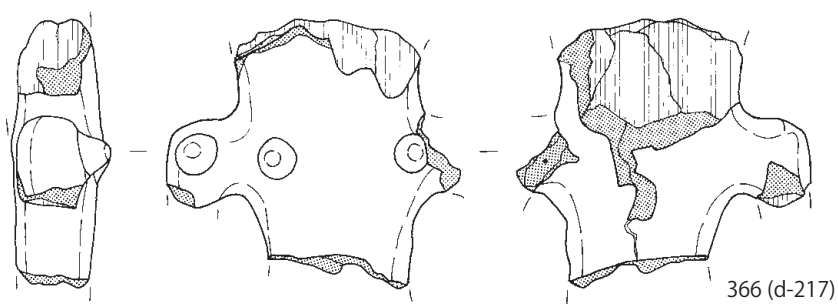
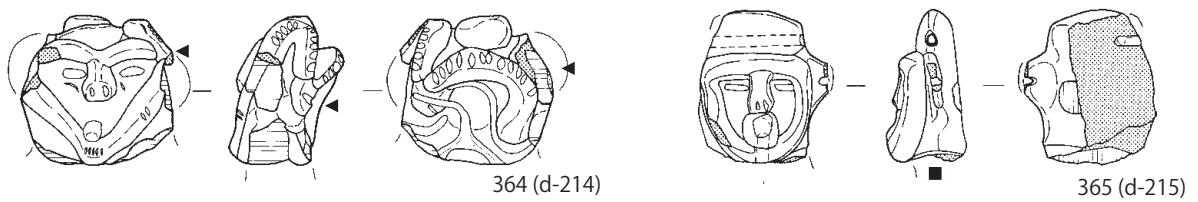
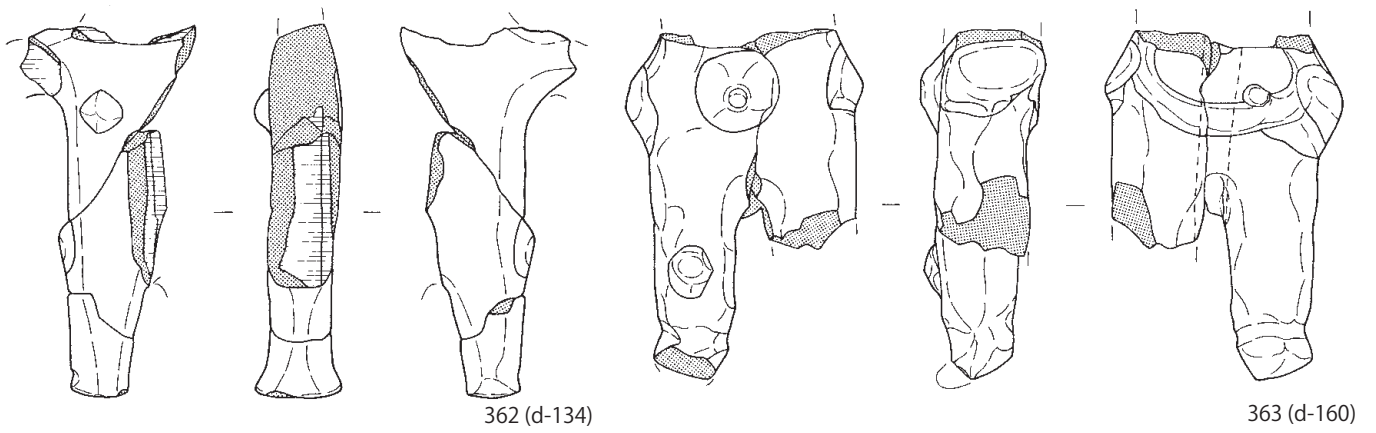
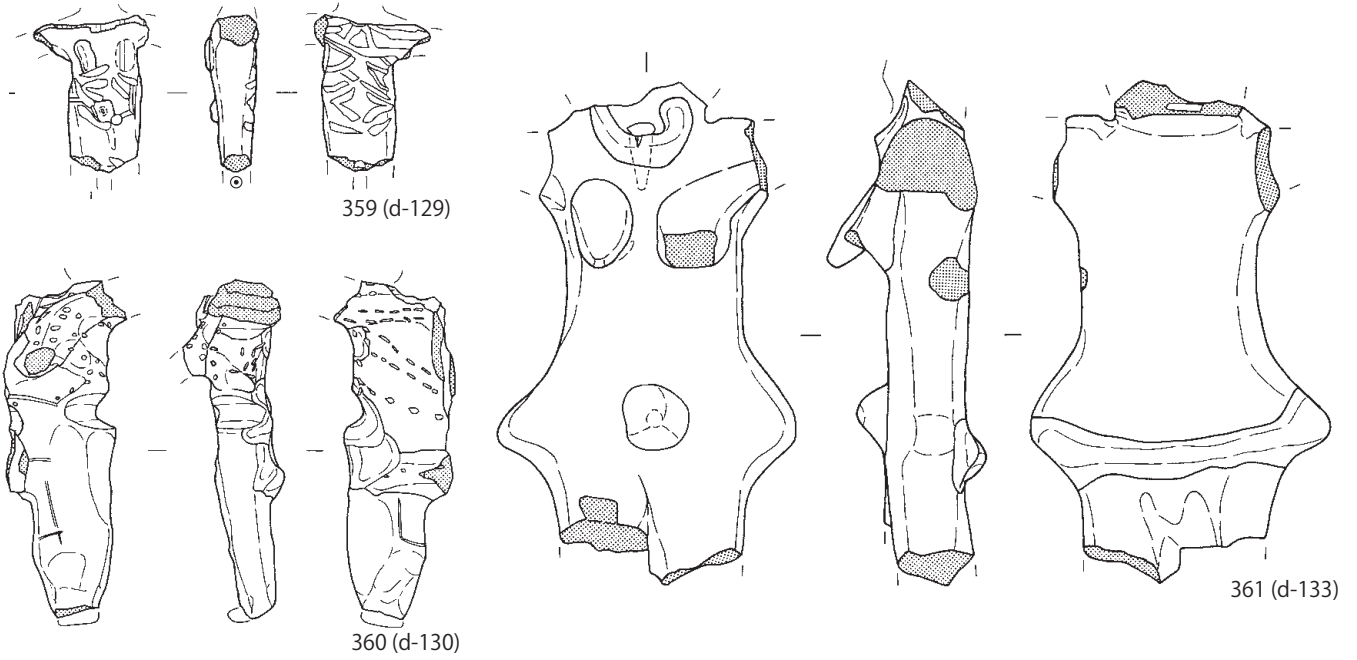
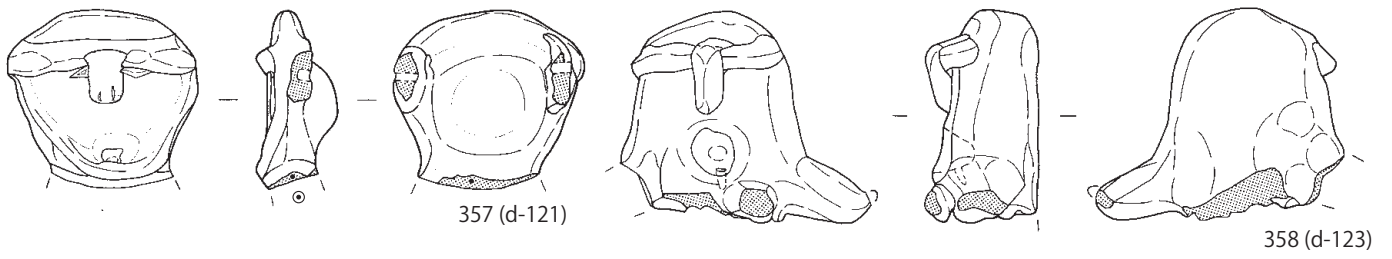
354 (d-114)

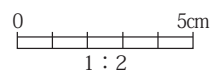
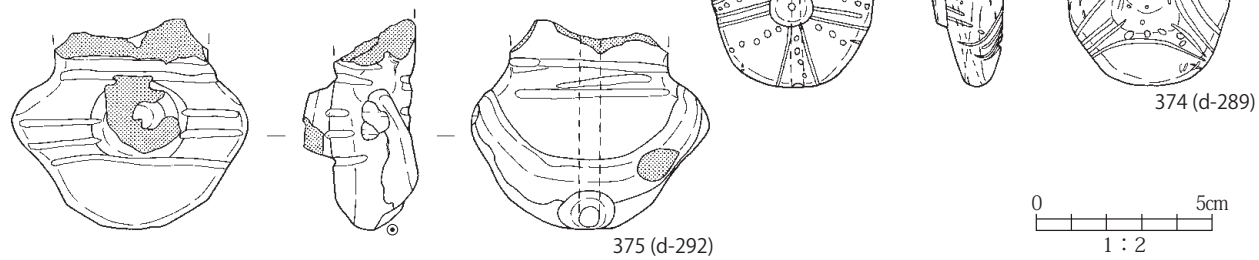
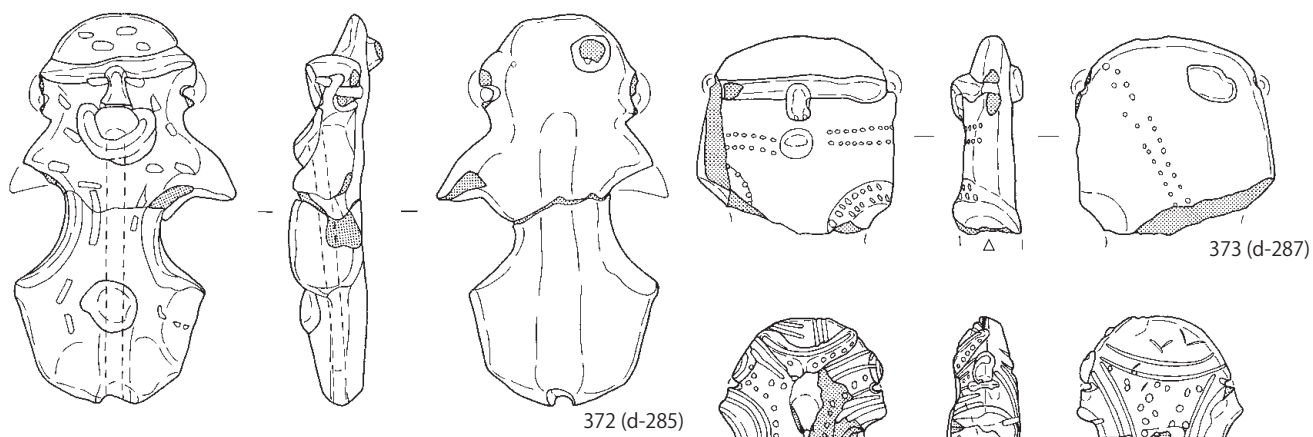
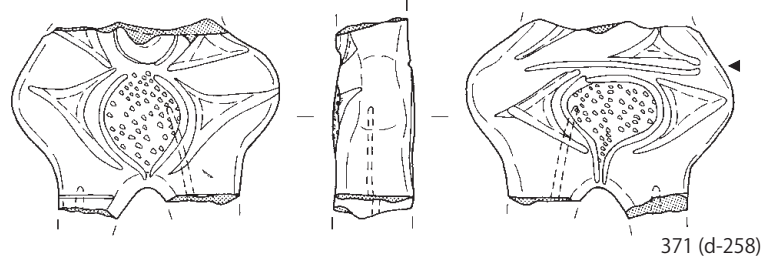
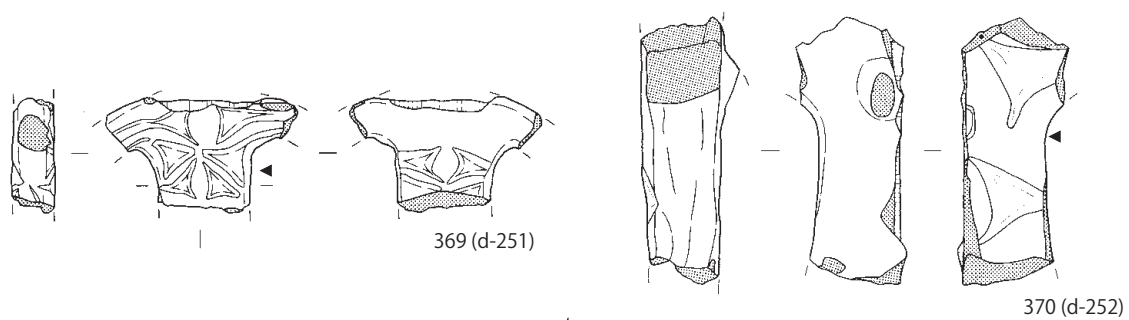
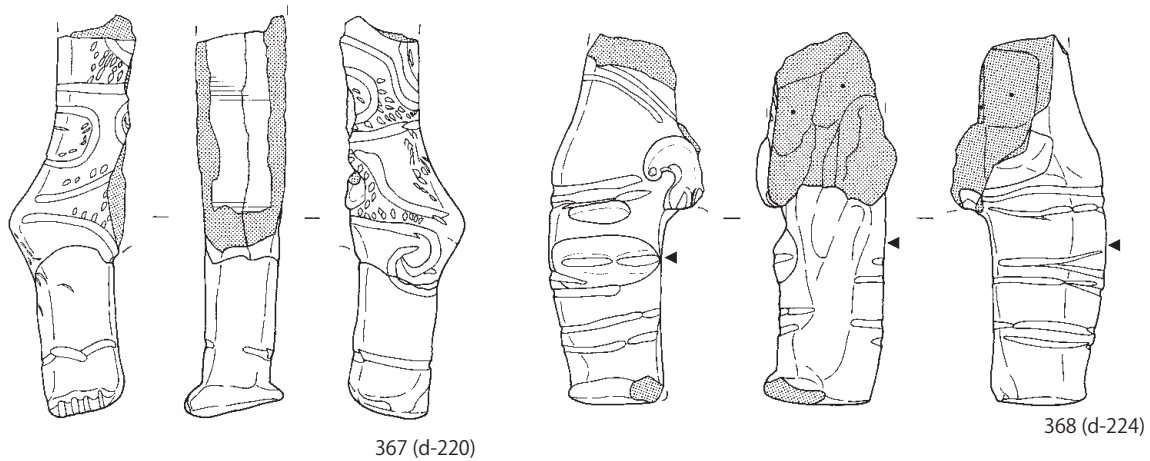


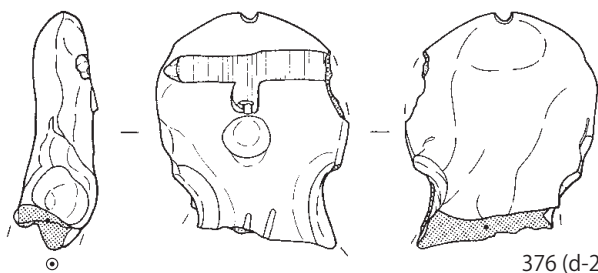
355 (d-117)



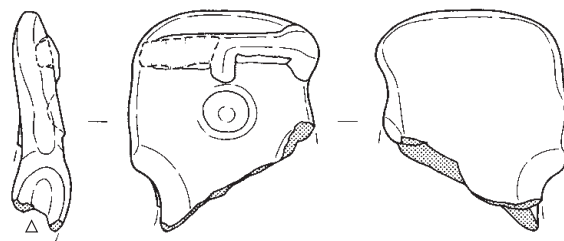
356 (d-119)



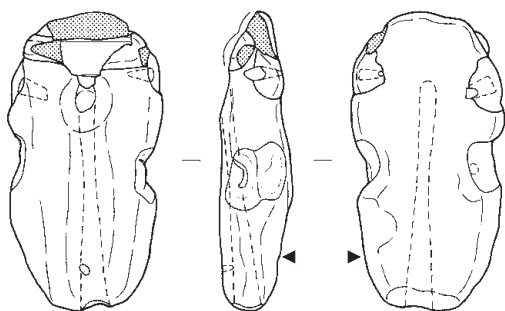




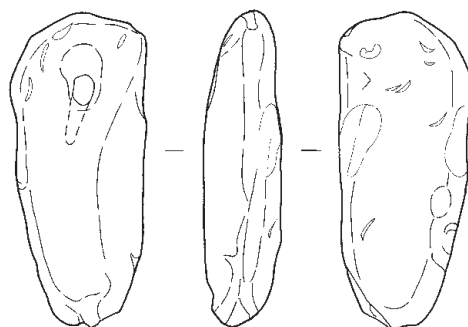
376 (d-299)



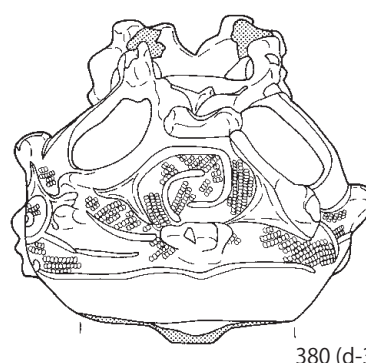
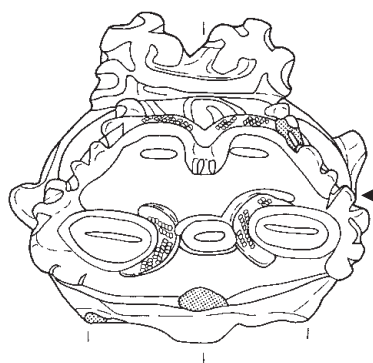
377 (d-300)



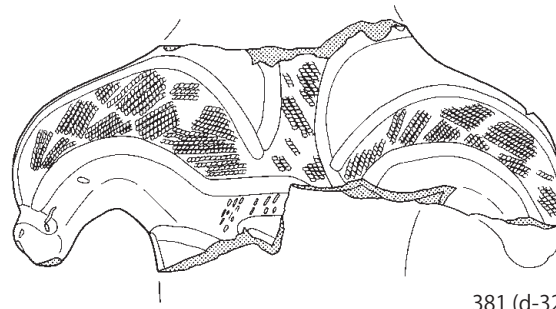
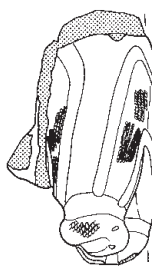
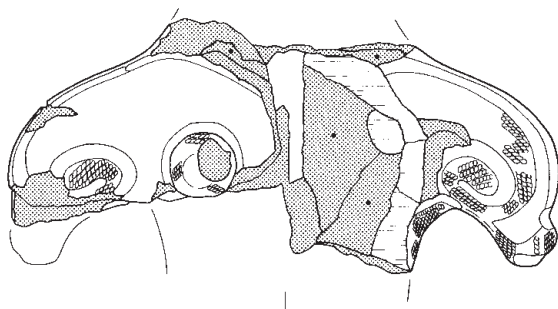
378 (d-307)



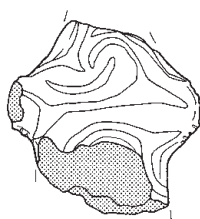
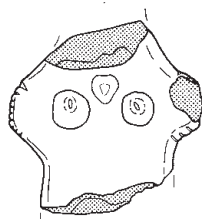
379 (d-309)



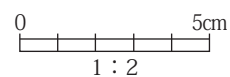
380 (d-313)



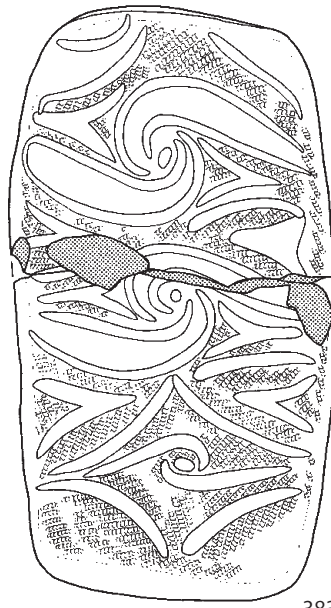
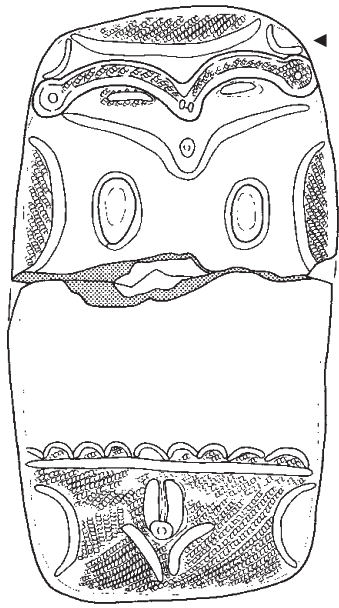
381 (d-322)



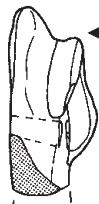
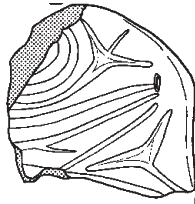
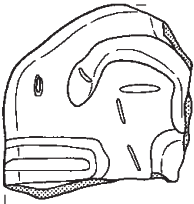
382 (d-344)



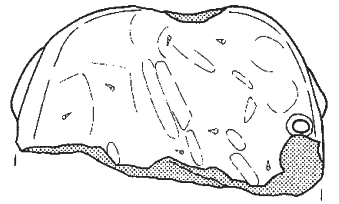
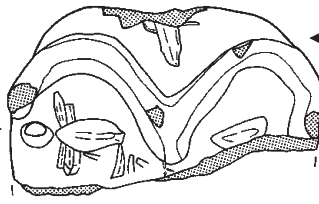
土版



383 (c-1)

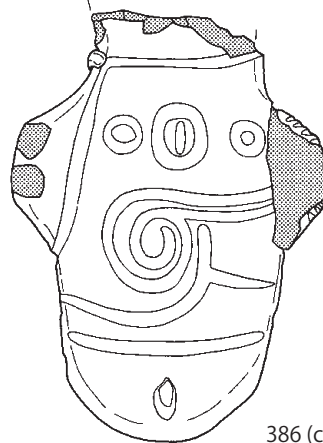
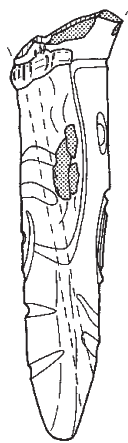
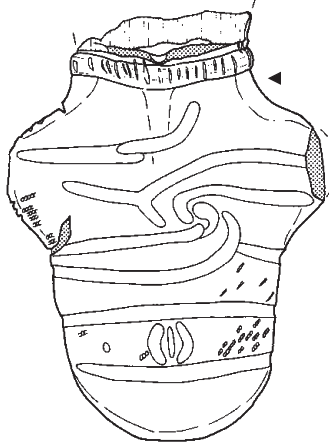
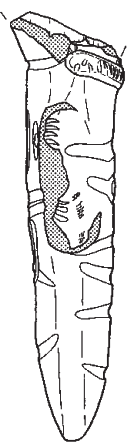


384 (c-2)

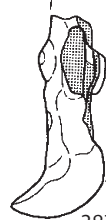
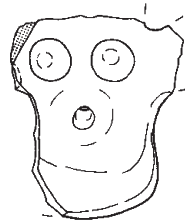
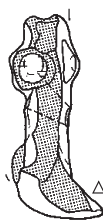
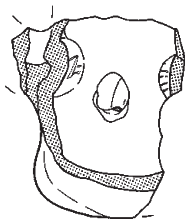


385 (c-4)

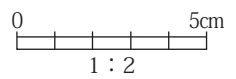
中空動物形土製品



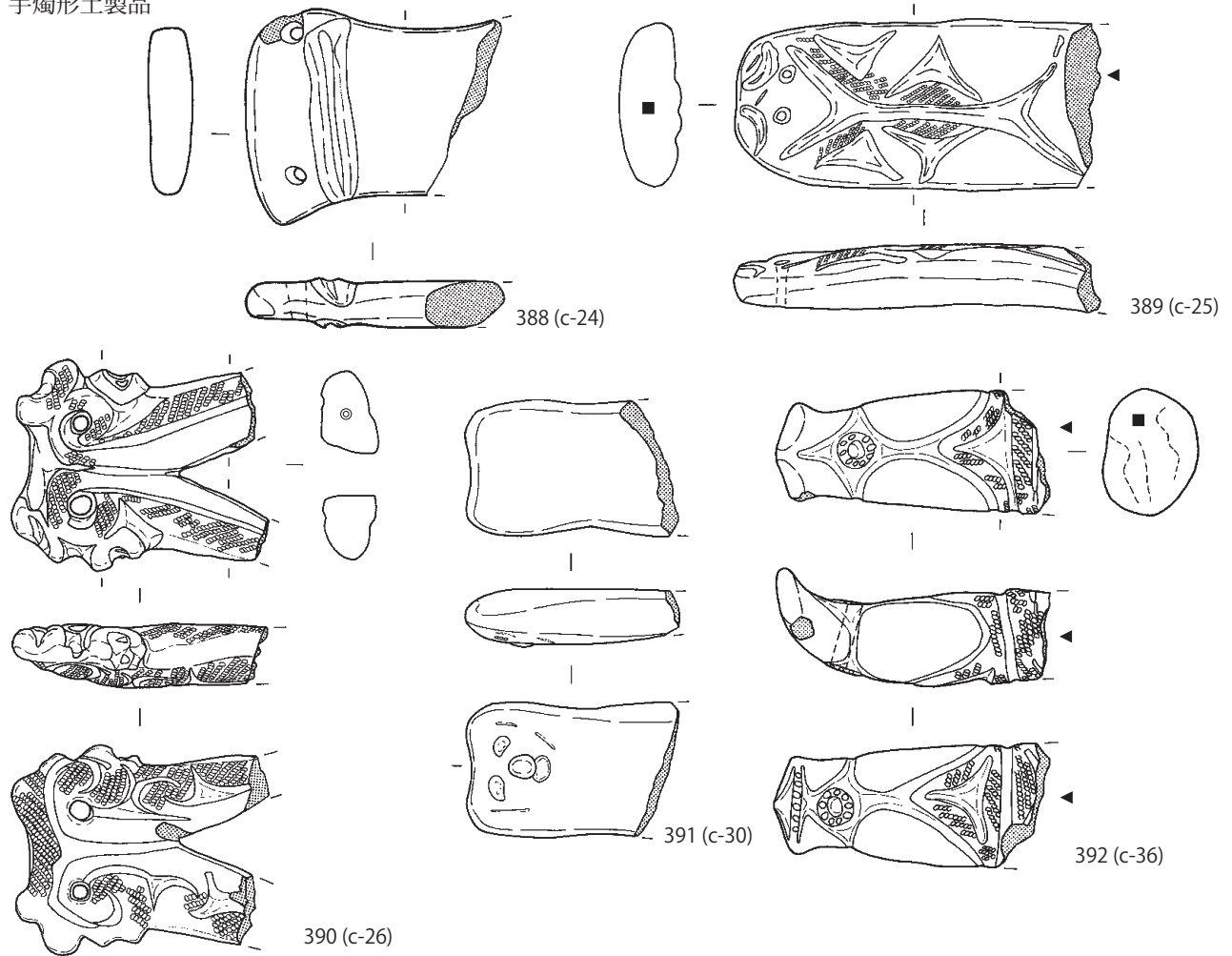
386 (c-14)



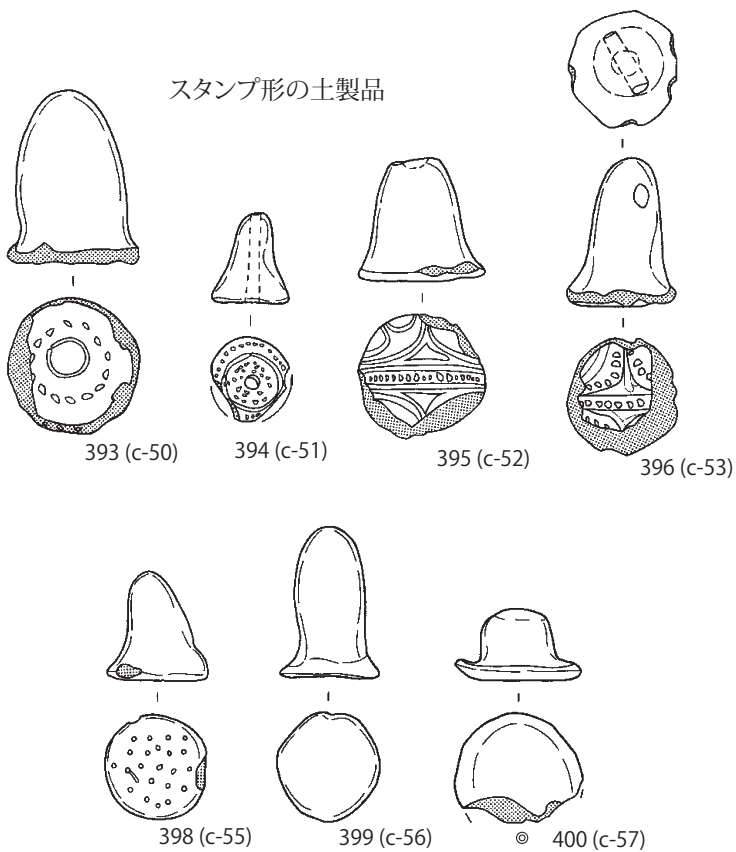
387 (c-15)



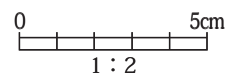
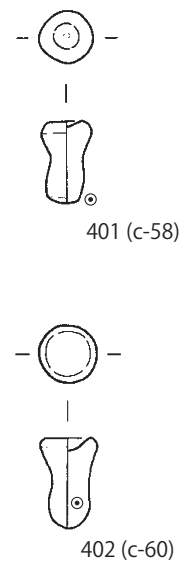
手燭形土製品



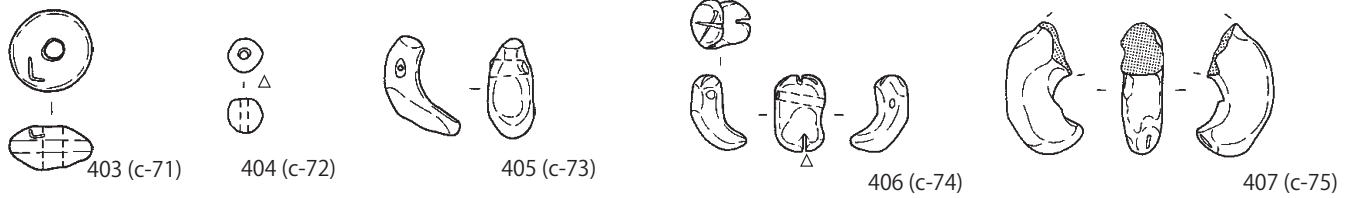
スタンプ形の土製品



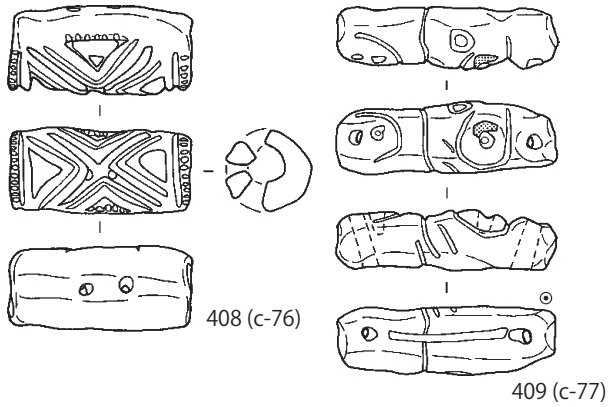
茸形の土製品



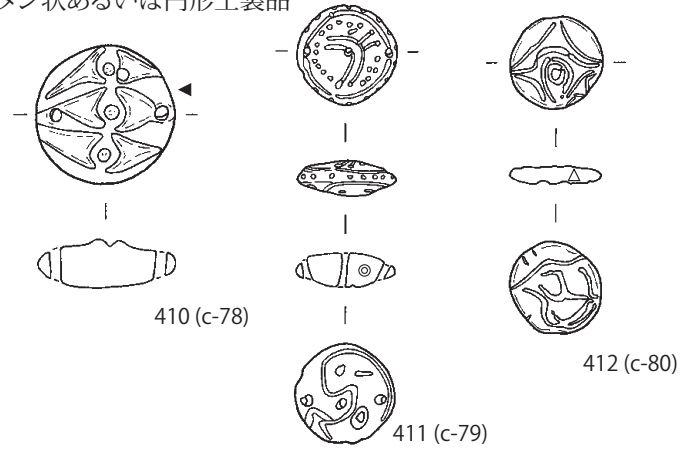
玉状の土製品



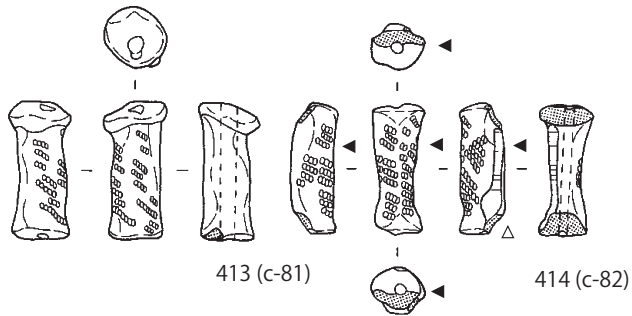
二孔付の柱状土製品



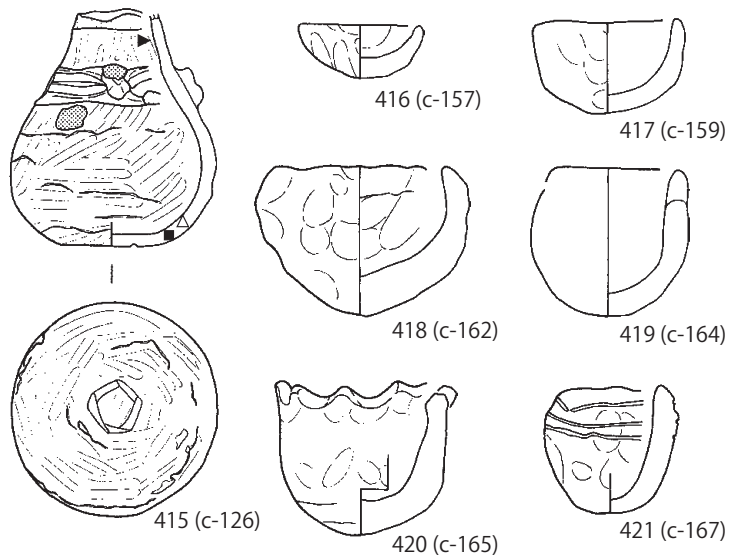
ボタン状あるいは円形土製品



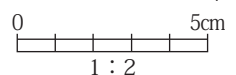
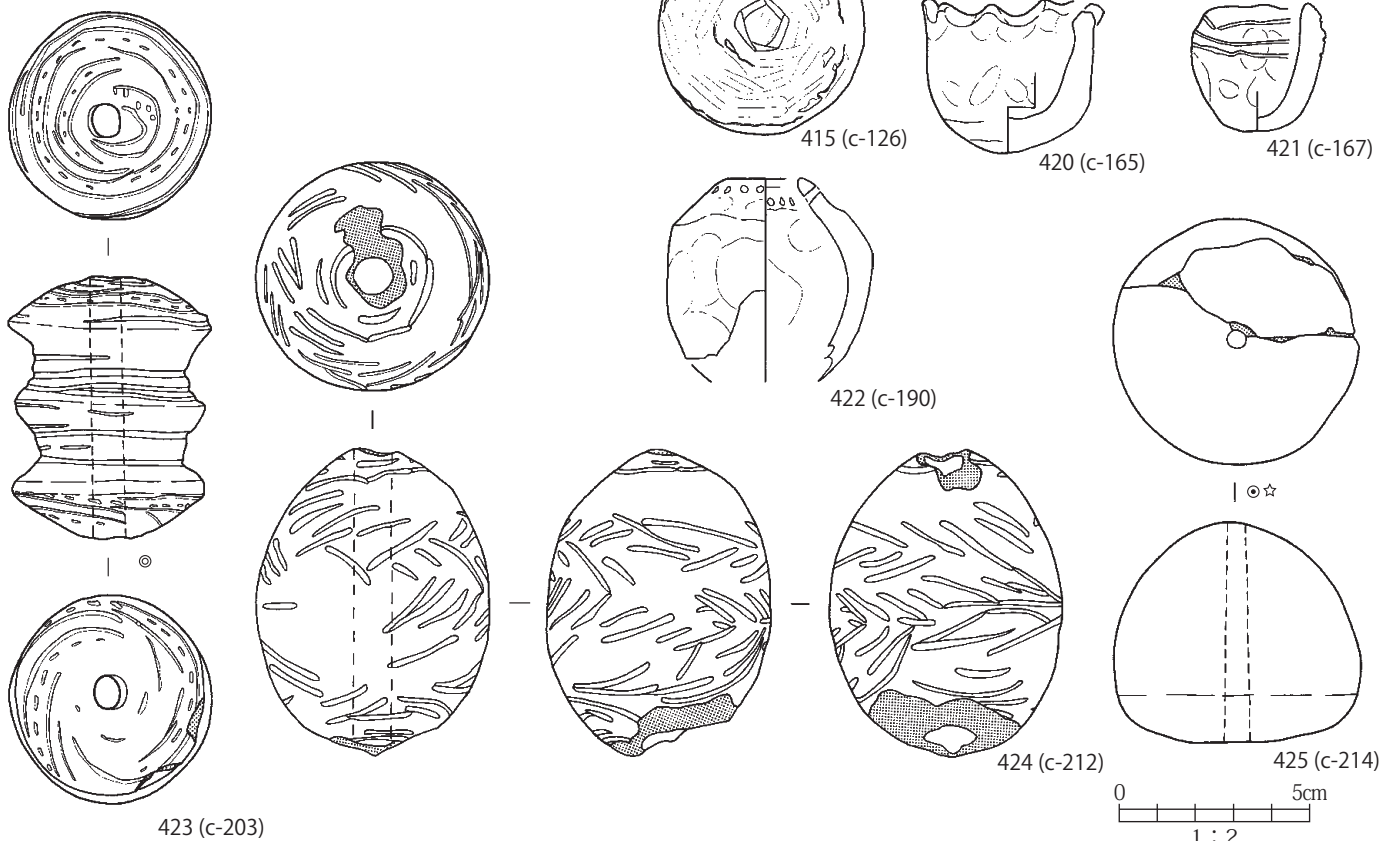
管状の土製品

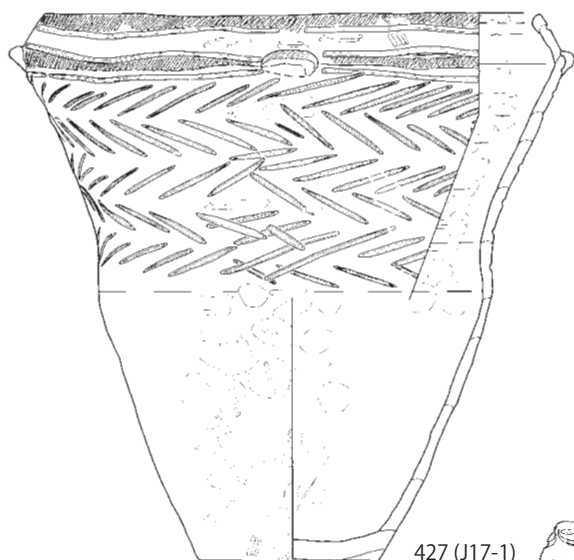


ミニチュア土器

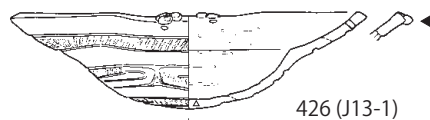


有孔球状土製品

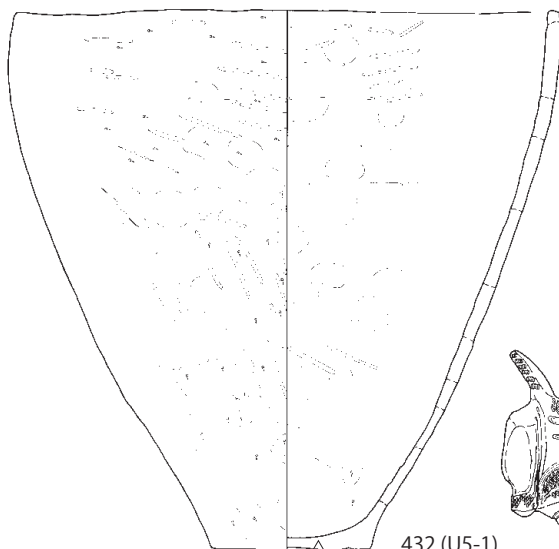
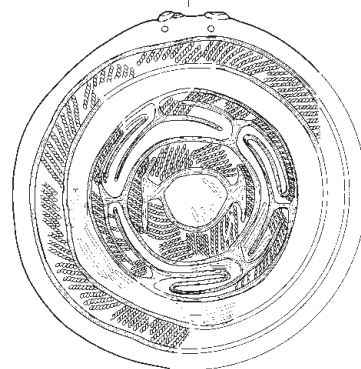




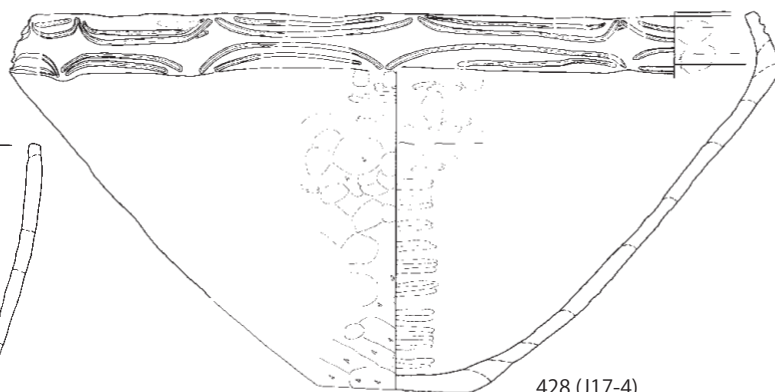
427 (J17-1)



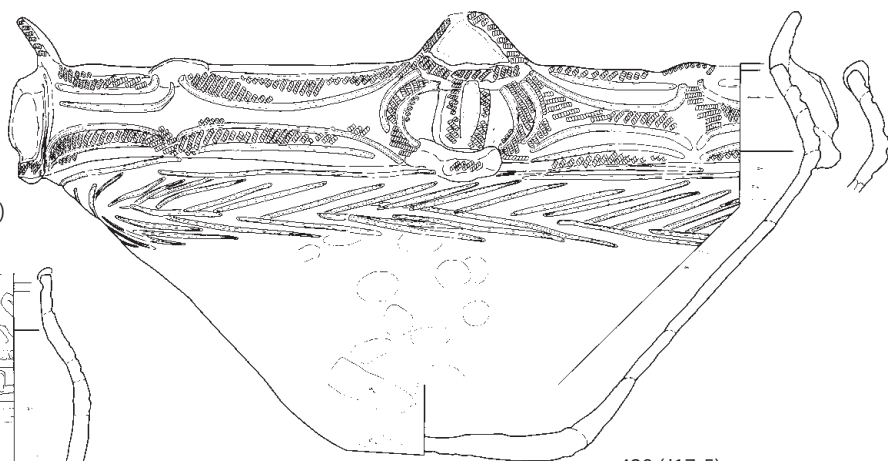
426 (J13-1)



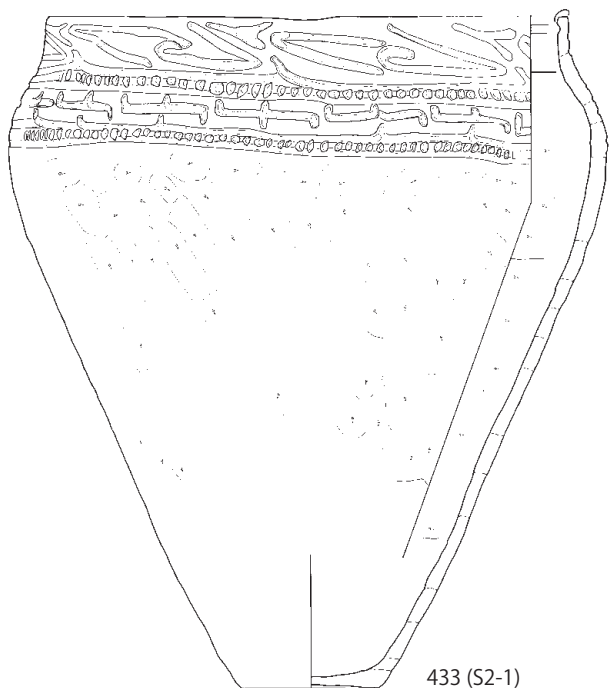
432 (U5-1)



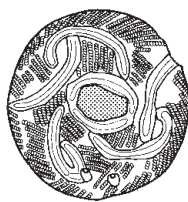
428 (J17-4)



429 (J17-5)



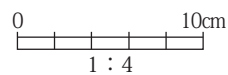
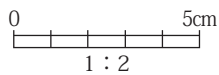
433 (S2-1)

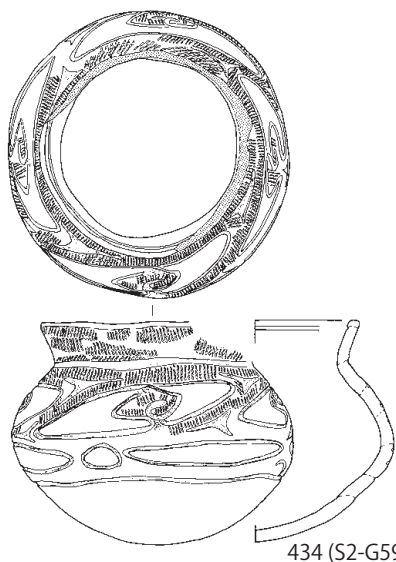


431 (J17-135)

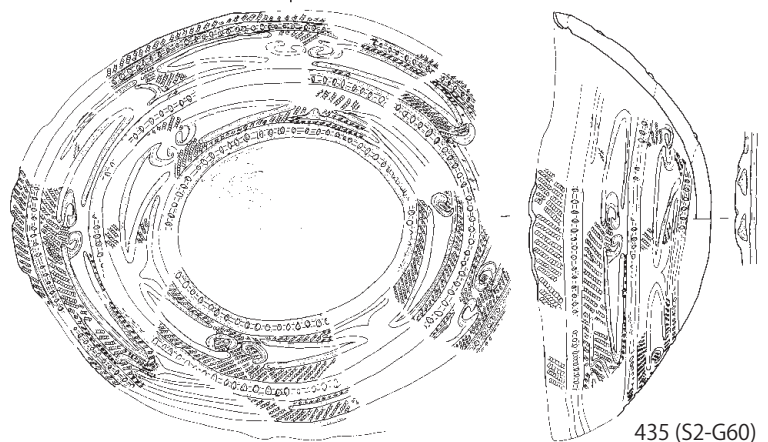
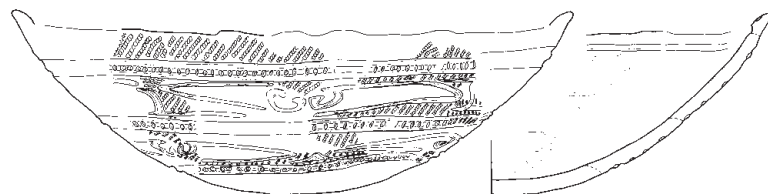


430 (J17-34)

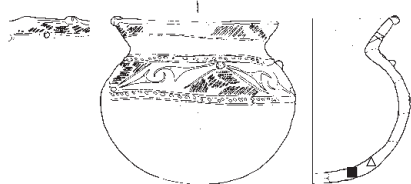




434 (S2-G59)



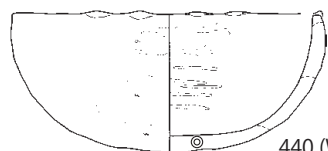
435 (S2-G60)



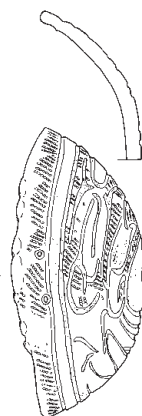
437 (Wa-5)



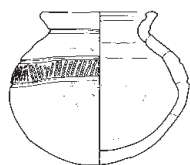
438 (Wa-17)



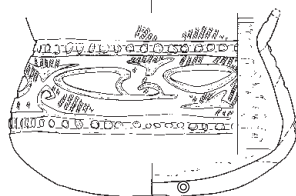
440 (Wf-52)



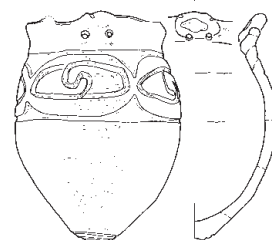
436 (S2-G61)



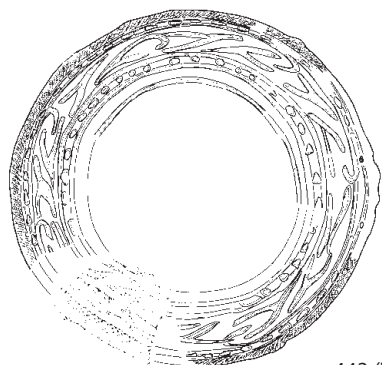
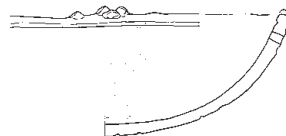
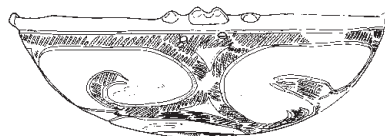
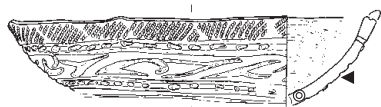
441 (Wg-11)



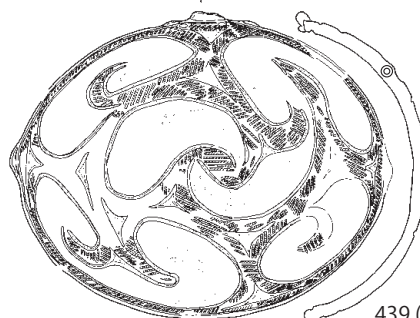
442 (Wg-32)



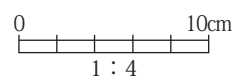
444 (Wi-21)

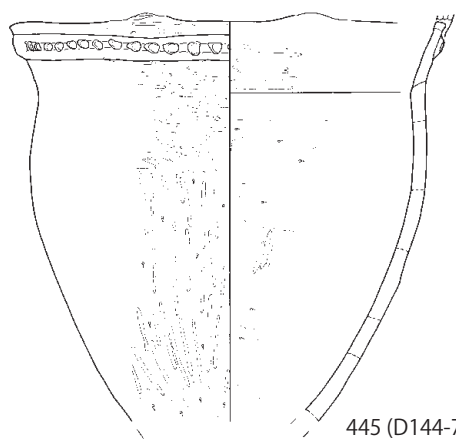


443 (Wi-10)

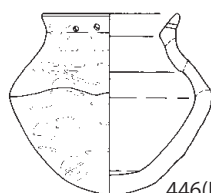


439 (Wb-18)

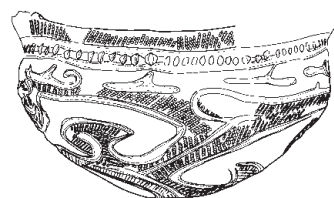




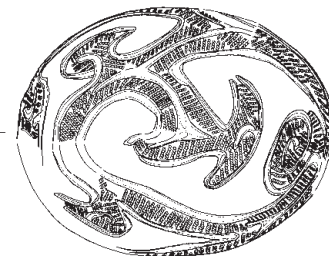
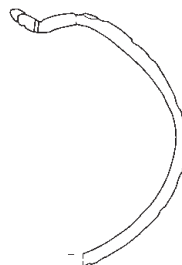
445 (D144-7)



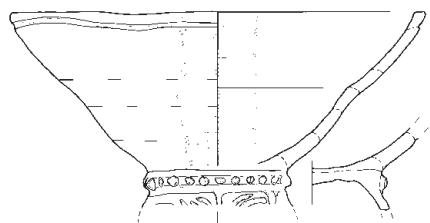
446(D200+G3)



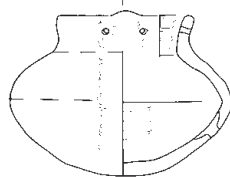
448 (N12E3-15)



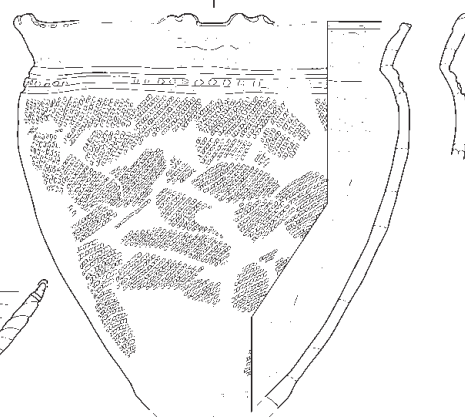
447 (D384-20)



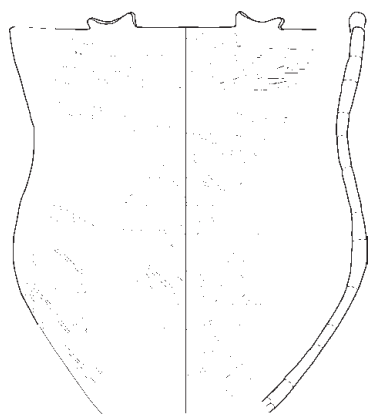
449 (N9E3-1)



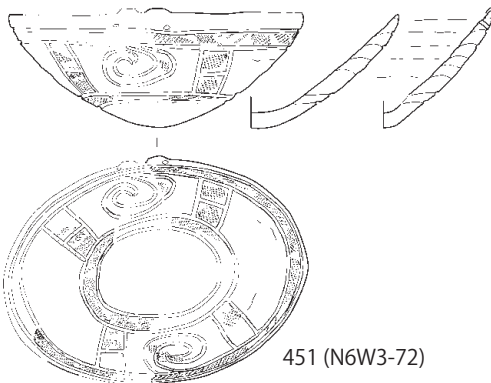
450 (N9W0-4)



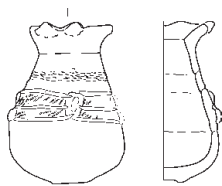
453 (S0W18-1)



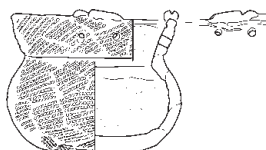
452 (N3W15-1)



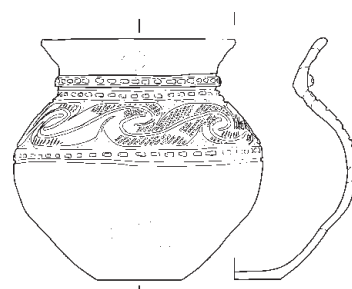
451 (N6W3-72)



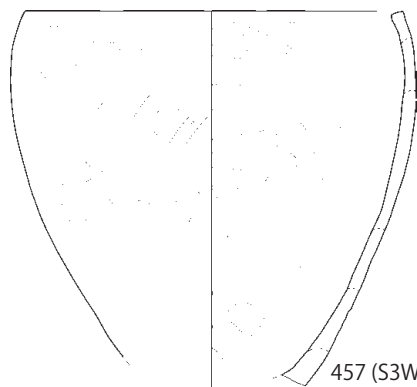
454 (S0W24-1)



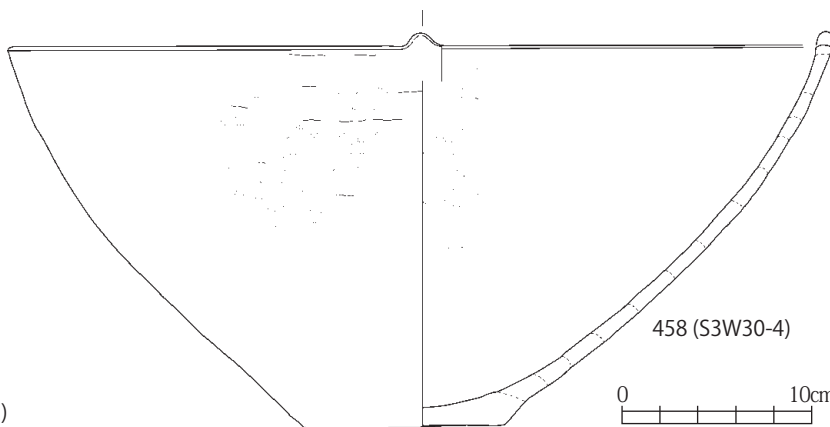
456 (S3W24-7)



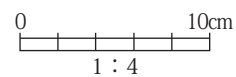
455 (S0W39-1)

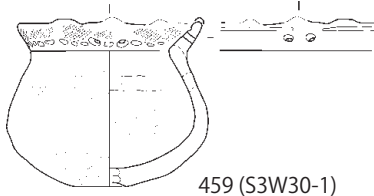


457 (S3W30-2)

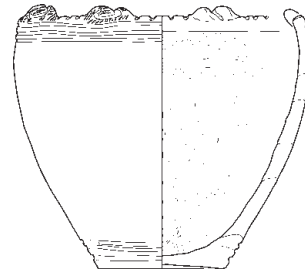


458 (S3W30-4)





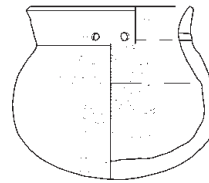
459 (S3W30-1)



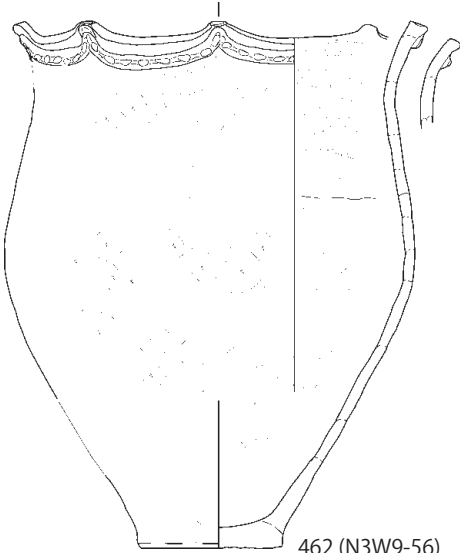
460 (S3W30-3)



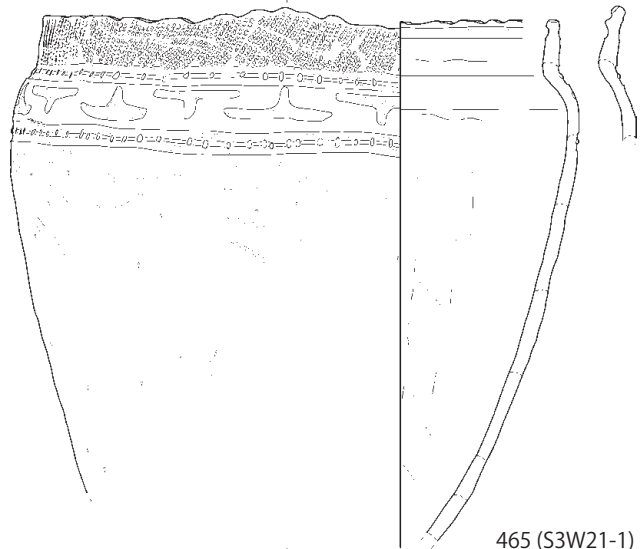
461 (S3W39-1)



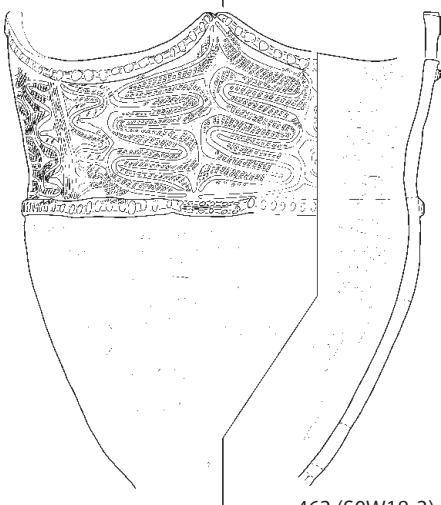
464 (S0W30-1)



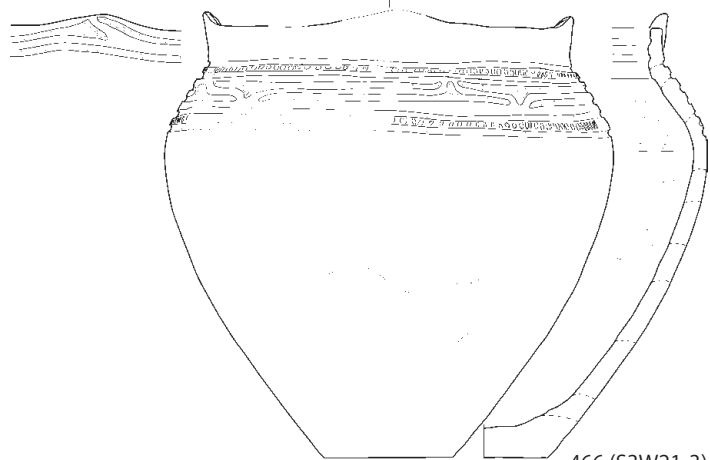
462 (N3W9-56)



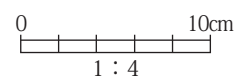
465 (S3W21-1)

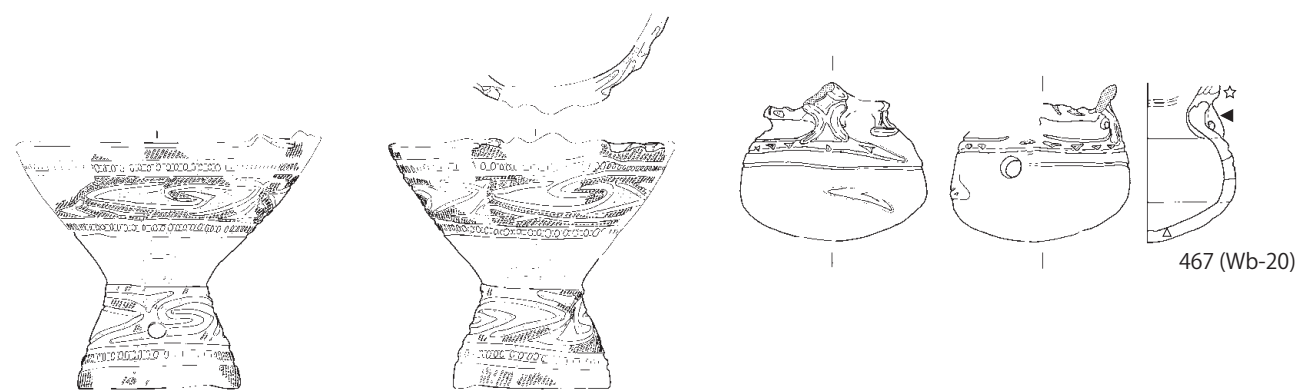


463 (S0W18-3)



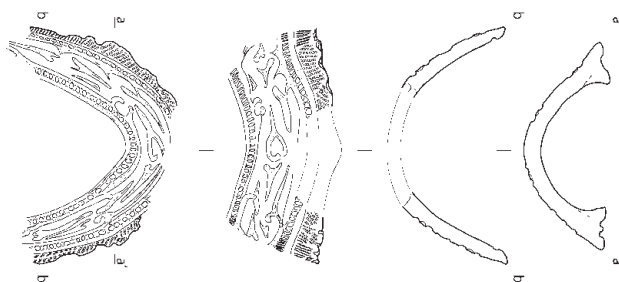
466 (S3W21-3)



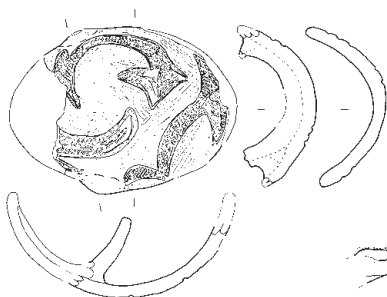


467 (Wb-20)

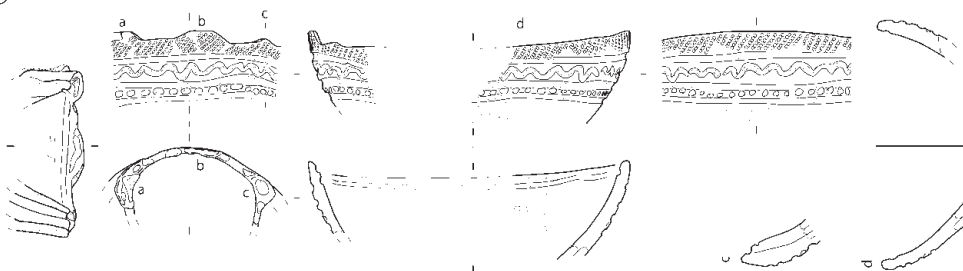
470 (S6W24-1)



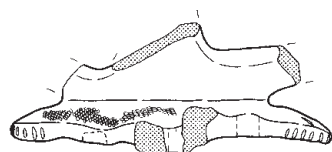
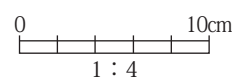
469 (S3W21-9)



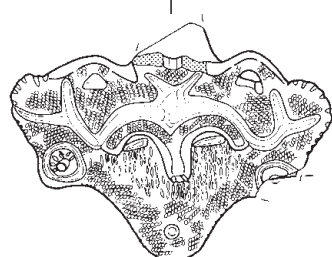
468 (D502-52)



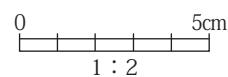
471 (S3W24-13)



472 (D389)



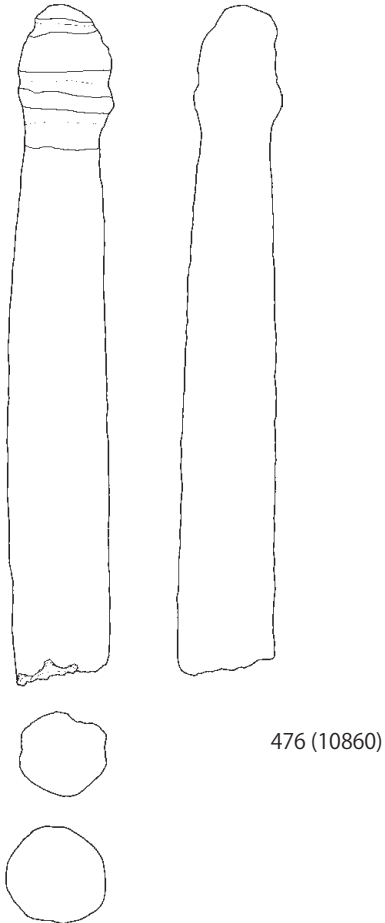
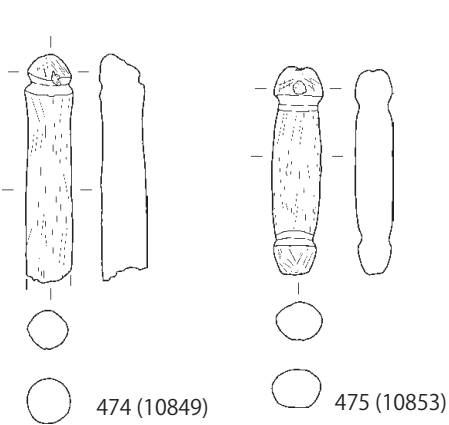
473 (J371 • J372)



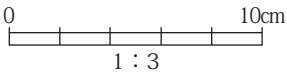
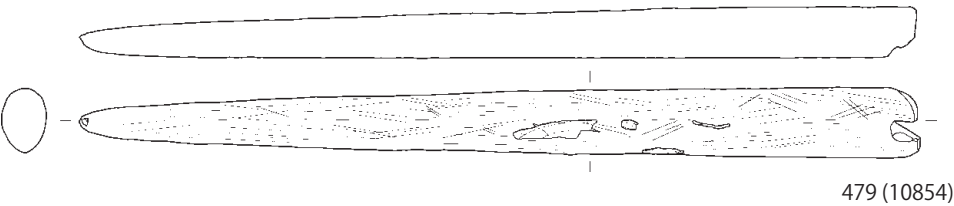
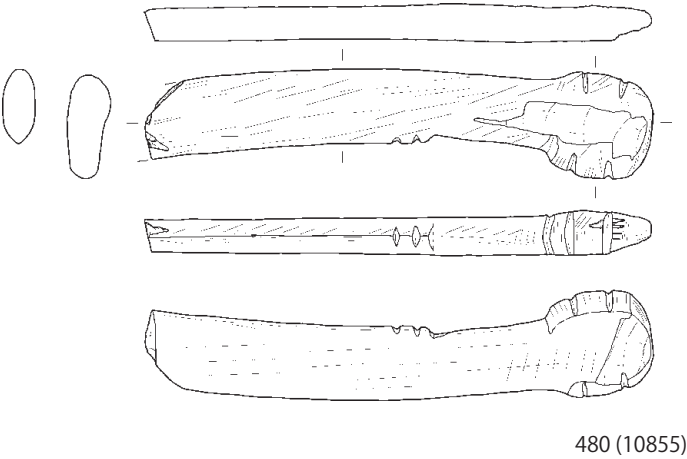
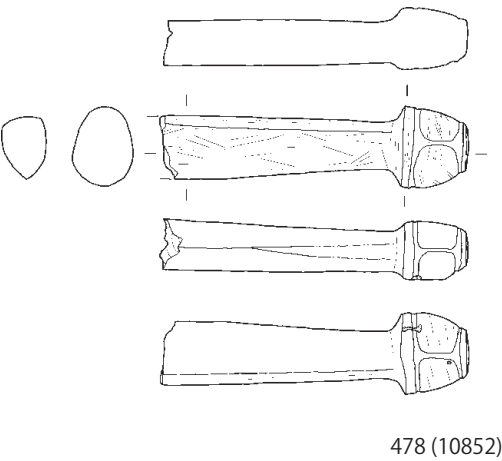
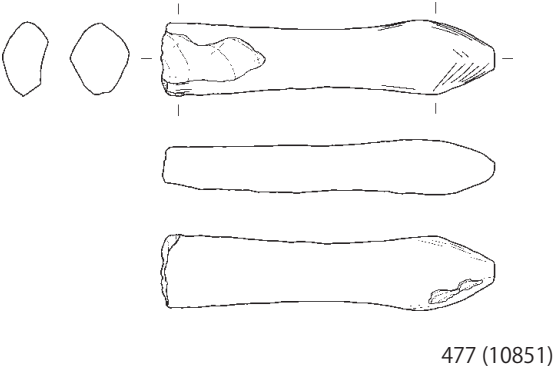
第4分冊掲載分448～466, 469～473については仮No.を記載

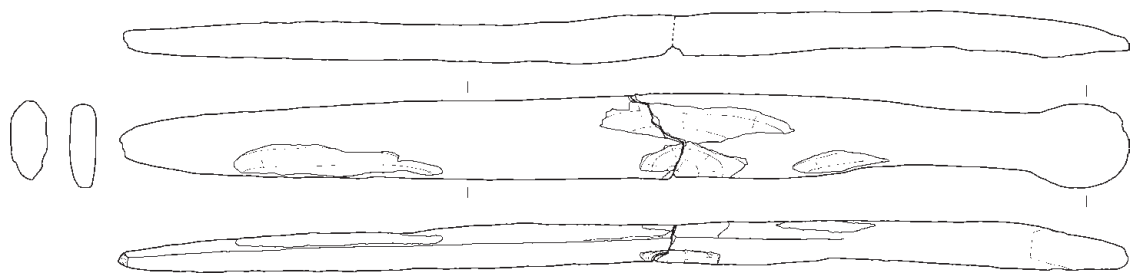
石製品

石棒



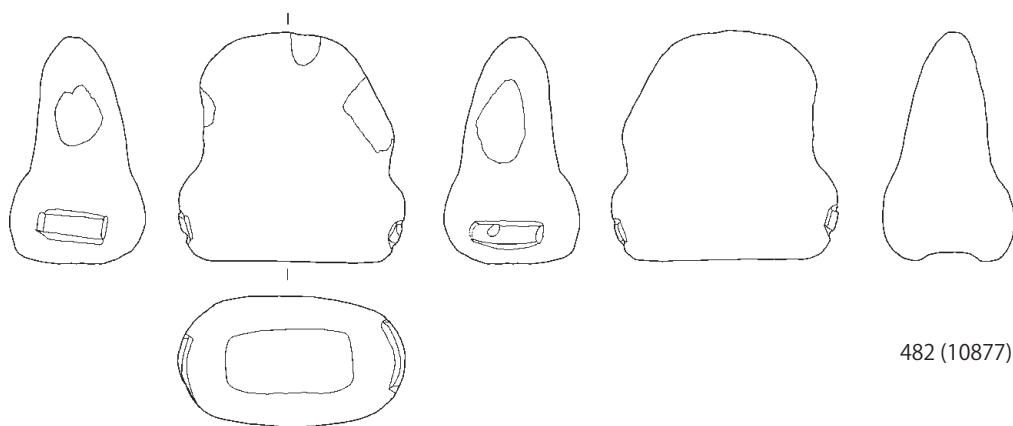
石刀



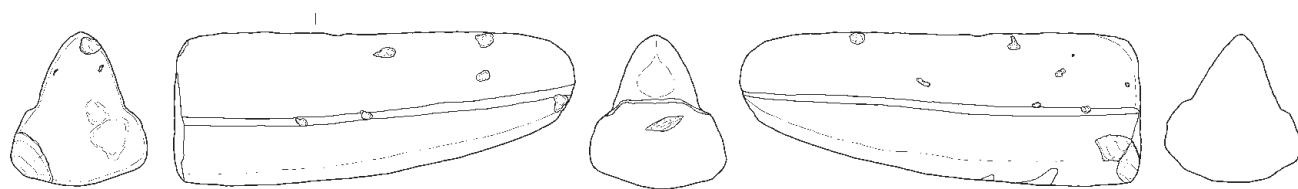


481 (10858)

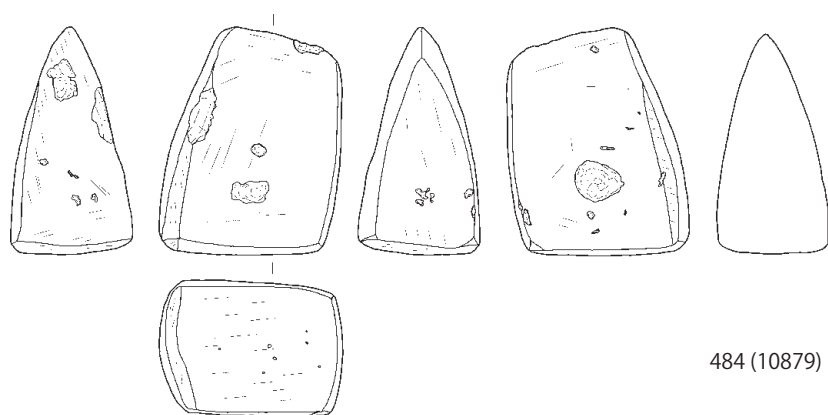
石冠



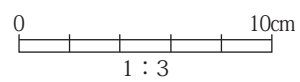
482 (10877)



483 (10878)



484 (10879)



資料3 指定物件 写真(一部掲載)



3(e-3) 土製耳飾 内開弧ブリッジ系統



6(e-8) 土製耳飾 内開弧ブリッジ系統



11(e-15) 土製耳飾 内開弧ブリッジ系統



16(e-20) 土製耳飾 内開弧ブリッジ系統



24(e-32) 土製耳飾 内開弧ブリッジ系統



25(e-33) 土製耳飾 内開弧ブリッジ系統



49(e-99) 土製耳飾 内周帯巴文系統



54(e-104) 土製耳飾 内周帯巴文系統



129(e-264) 土製耳飾 キザミ界線系統



130(e-267) 土製耳飾 キザミ界線系統



36(e-67) 土製耳飾 外周帯外傾系統



234(e-968) 土製耳飾 巴玉抱三叉文系統



372(d-285) 顔面付分銅形土偶



376(d-299) 顔面付分銅形土偶



377(d-300) 顔面付分銅形土偶



380(d-313) 遮光器系土偶



同左 背面



383(c-1) 人面付土版 腹面



同左 背面



386(c-14) 中空動物形土製品 腹面



同左 背面



389(c-25) 手燭形土製品



408(c-76) 二孔付の柱状土製品



409(c-77) 二孔付の柱状土製品



427(J17-1) 深鉢形土器 上ノ段3式



433(S2-1) 深鉢形土器 佐野2a式土器



428(J17-4) 浅鉢形土器 上ノ段2式



429(J17-5) 浅鉢形土器 上ノ段2式



472 人面付異形土器



473 人面付異形土器



480(10855) 石刀



481(10858) 同上



475(10853) 石棒



482(10877) 石冠

資料 4 土製耳飾の変遷図

(1) 外周帯外傾系統



e-61



祖形 (参考資料)

- ・背面円錐形凹面の臼形
- ・外周と中心が稜で分離 (外周帯と内周帯)
- ・内周帯は放射状構図 (巴の祖形)



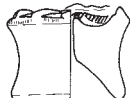
e-62

e-63



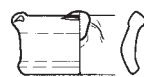
e-64

e-65



e-67

e-68



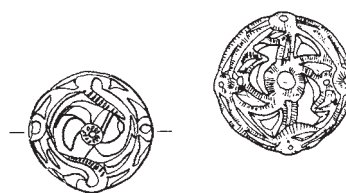
第1段階

- ・外周帯に丸瘤をつなぐ直線
- ・内周帯に巴や直線
- ・中心点明示



e-70

e-71



久台 218-42

金生 110-34

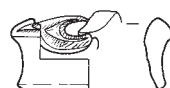


e-75



e-78

e-79



以降の段階はエリ穴遺跡では出土せず

第4段階

- ・外周帯・内周帯の玉が相互に接触

第5段階 (参考資料)

- ・カニツメ状の玉導入
- ・外周帯・内周帯のカニツメが接合・一体化
- ・透孔の切り取るスペース拡大

第6段階

- ・内周帯のカニツメ先端、器壁を離れて宙を舞う
- ・透孔さらに拡大、芯の顕著な縮小 (環形と見まがう形態に)

第7段階

- ・外周帯のカニツメ先端も、宙を舞って内周帯へ侵入
- ・芯の痕跡化

(2) キザミ界線系統

第 1 段階

- ・背面浅い凹面の臼形
- ・正面外周に稜、中心に丸瘤
- ・稜と瘤の間が広く窪む (広い内周帯)

e-161



第 2 段階

- ・背面中空状凹面の臼形 (耳飾の芯の薄化)
- ・中心孔導入

e-162



第 3 段階

- ・中心孔拡大 (円形の透孔)
- ・中心孔正面側にキザミ
- ・側面も薄化

e-173



第 4 段階

- ・中心孔さらに拡大 (環形と見まがう形態に)
- ・中心孔内側にもキザミ (キザミ界線成立)
- ・巴玉抱三叉文の導入 (単位文)

e-268

e-180



第 5 段階

- ・中心孔内側にだけキザミ
- ・単位文なしのタイプが併存

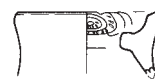
e-271



第 6 段階

- ・玉絡巴文に変化

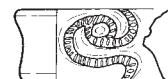
e-280



第 7 段階

- ・玉絡巴文の完成

e-282



第 8 段階

- ・キザミ界線の突出が低下 (正面から見えなくなる)
- ・環形と同一形態に
- ・玉絡巴文、周辺と接続

e-284



第 9 段階

- ・玉絡巴文、キザミ界線とも接続

e-305



第 10 段階

- ・器壁薄化
- ・玉絡巴文とキザミ界線分断

e-306

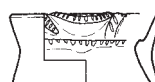


第 11 段階

- ・玉絡巴文退化・消失
- ・粗雑化

e-322

e-321



教育委員会資料
30. 12. 20
教育政策課

報告第 1 号

平成30年松本市議会12月定例会の結果について

1 趣旨

松本市議会12月定例会の結果について報告するものです。

2 会期等について

12月3日（月）から20日（木）まで 18日間

一般質問 12月10日（月）から12日（水）まで 3日間

教育民生委員会 13日（木）

基幹博物館建設特別委員会 17日（月）

3 教育民生委員会の審査結果について

(1) 審査内容

ア 議案第3号 平成30年度松本市一般会計補正予算（第3号）

(7) 歳入

【国庫支出金】ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金

（※エアコン設置に係るもの） 小学校 8, 274万円

中学校 2, 385万円

運動部活動改革プラン事業補助 400万円

【繰入金】財政調整基金繰入金追加（※エアコン設置に係るもの）

1億4, 400万円

芸術文化振興基金繰入金追加 6, 680万円

【市 債】学校教育施設等整備事業費充当債（※エアコン設置に係るもの）

小学校 1億6, 300万円

中学校 4, 700万円

(イ) 歳出

・空調設備整備事業費（小学校費、中学校費） 4億6, 150万円

平成30年夏の猛暑を踏まえ、一部の普通教室や特別教室、職員室などにエアコンを設置するもの

・学校支援事業費追加

中学校運動部活動についての調査・実践研究を行うもの 403万円

・公民館管理運営費追加 1, 929万円

現在、空室となっているMウイング1階スペースを取得し、中央公民館の会議室として整備するもの

・基幹博物館整備事業費追加

6, 680万円

基幹博物館建設予定地の拡張敷地について、補償算定調査等が完了したため、購入するもの

イ 議案第7号 市有財産の取得について

【内容】松本城南・西外堀復元事業用地として、松本市城西2丁目3番45
68.78㎡を取得（5,571,180円）（※進捗率：55.4%）

ウ 議案第8号 市有財産の取得について

【内容】草間彌生作品版画「愛はとこしえ」シリーズ50点組、彫刻・立体
「大いなる巨大な南瓜」「天国への梯子」2点を取得（520,000,000円）

エ 議案第22号 公の施設の指定管理者の指定について（ふれあいパーク乗鞍）

【内容】指定管理者：ふれあいパーク乗鞍管理委員会（H31.4.1～H36.3.31）

オ 議案第23号 公の施設の指定管理者の指定について（山と自然博物館）

【内容】指定管理者：TOY BOX（H31.4.1～H34.3.31）

(2) 委員からの主な意見等

ア 議案第3号

●「小中学校へのエアコンの設置」について

- ・全国で設置工事が行われることから、エアコン本体や配線などの品不足が生じ、工事が間に合わない心配はないかとの質問に対し、国の見込みでは問題ないとの見解であると答弁しました。
- ・エアコンの設置により増加する電気料金について、国の補助が無いかとの質問に対し、補助は無いと答弁しました。
- ・パソコン教室など、設置の必要性が高い部屋への早期実施ができないかとの質問に対し、効率的な設置を進める中で、必要性の高い所を優先することについて考えていくと答弁しました。
- ・来年1年ですべての教室に設置が可能かとの質問に対し、事業者に参加意見を聞くなどしているが、学校は工事ができる時間に制約があり、難しいと答弁しました。
- ・ディーゼル式の発電機の設置を考えているかとの質問に対し、考えていないと答弁しました。

●「学校支援事業」について

- ・モデル4校の具体的な取り組み内容は何かとの質問に対し、松本山雅の指導者が、学校と子ども達のニーズに応えたサッカー指導を実施し、その成果と課題をまとめること、中学生のスポーツに対する意識調査として、市内の中学1、2年生を対象にアンケート調査を実施する2点が主な内容であると答弁しました。

●「基幹博物館整備事業費の追加」について

- ・用地購入における買収単価について質問があり、隣接地の不動産鑑定額や県の地価調査基準地価額から、敷地形状などにより補正し、算出したものと答弁しました。

イ 議案第7号、8号、22号、23号

- ・質疑等なし（ただし、議案第7号は、用地取得の進め方に一部反対あり。）

(3) 集約結果

議案5件について、原案どおり可決すべきものと決しました。

4 教育民生委員協議会

(1) 報告事項「新科学館の整備について」

新科学館の整備を進めるに当たり、基本計画策定支援及び基本設計業務委託を実施することについて概要を報告しました。

＜主な意見等＞

- ・業務委託の発注にあたり、業者に必要とされる高度で専門的な知識とは何かとの質問に対し、科学館としての展示設計や、基本構想の具現化といった部分であると答弁しました。

(2) 報告事項「特別天然記念物白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存活用計画の策定について」

平成30年度中の策定を予定していた特別天然記念物白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存活用計画について、計画策定期間を延期することになった経過等について報告しました。

＜主な意見等＞

- ・今回の修正の内容は何か、また、今回の修正により特別天然記念物の価値が下がるということはあるのかとの質問に対し、修正の内容は、大正時代に認められた本質的な価値と、今回の調査により認められた価値との整合性を図るもので、価値が下がるということはないと答弁しました。

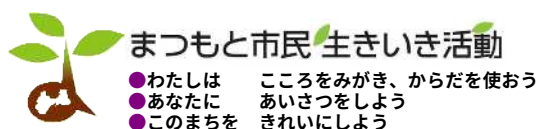
(3) 報告事項「史跡小笠原氏城跡の追加指定について」

11月16日に開催された国の文化審議会において、史跡小笠原氏城跡に林城跡（小城）を追加指定するよう文化庁に答申があったことについて報告しました。

＜主な意見等＞

- ・質疑・意見はありませんでした。

担当	教育政策課
課長	小林 伸一
電話	33 - 3980



「学都松本」

報告第 2 号

平成30年度「地区の皆さんと語る会」の開催結果について

1 趣 旨

上記について、その結果について報告するものです。

2 日時及び参加者

(1) 芳川地区

ア 日時 8月30日（木）19時から20時45分

イ 参加者 20人

(2) 城東地区

ア 日時 10月24日（水）19時から20時30分

イ 参加者 40人

3 懇談テーマ

(1) 芳川地区

ア 児童・生徒数が増えるが学校施設は大丈夫か

イ 放課後や長期休暇中の子どもの居場所について

ウ 通学区の柔軟性について 等

(2) 城東地区

「子どもとメディア（主にスマホ）との関わり方について」

4 アンケートの集計結果等について

(1) 芳川地区（回答6人 回収率30%）

ア 全体評価について（とても満足、やや満足の回答は100%）

とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満
3人	3人	0人	0人	0人

- ・いろいろな分野からの視点でお話を聞けて良かった。
- ・スマートフォンの害について知りませんでした。
- ・教育長が常に柔和な表情で話しをしていたのが印象的でした。

イ 懇談について（テーマがあった方がよい100%）

テーマがあった方がよい	フリートークの方がよい	無回答
6人	0人	0人

- ・地域の課題とからめたもの

ウ 本市の教育全般に関する意見・提言等

(7) このような会にもっとお母さん方の参加があればいいと思いました。

(4) 中学生・高校生が学習できる場所が欲しい。（なんなん広場のような）

(2) 城東地区（回答 11 人 回収率 27.5 %）

ア 全体評価について（とても満足、やや満足の回答は、全体の 73 %）

とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満
1 人	7 人	3 人	0 人	0 人

・現役の保護者の参加が少なく、テーマに深く突っ込んだ会話が聞こえてこなかった。

・教育委員会の方々との懇談という席に参加することが初めての経験で、一つのテーマの事しか聞くことが出来なかったが、現在の小中学校での問題点が聞けた。

イ 懇談について

（テーマがあった方がよい 73 %、フリートークの方がよい 18 %）

テーマがあった方がよい	フリートークの方がよい	無回答
8 人	2 人	1 人

- ・都度、開催時の背景にあったテーマを選定
- ・身近な問題

ウ 本市の教育全般に関する意見・提言等

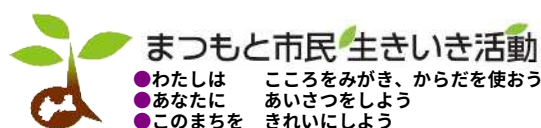
(7) 松本城は有意義に使うべき。

(4) 観光客のクレームより住民の使い方が大事。

5 今後について

- (1) アンケートの中に、「もっとお母さんの参加があればいいと思う」といった意見もあることから、子育て世代を含め幅広い年齢層の方々に参加いただけるよう、開催時間や周知方法について引き続き検討します。
- (2) 教育委員会の会議内容や取組みを広く市民に知っていただけるよう内容等検討しながら、今後も継続して開催します。

担当 教育政策課
課長 小林 伸一
電話 33-3980



報告第 3 号

宇宙関連事業講演会の開催結果について

1 趣旨

小中学生をはじめ、市民が宇宙をより身近に感じ、興味・関心を高めてもらうため、標記講演会を開催しましたので、その結果について報告するものです。

2 講演会の概要

- (1) 演題 「影絵を使った天体観測 ～人はなぜ宇宙を研究するのか～」
- (2) 日時 平成30年12月1日(土) 13時20分から14時50分まで
- (3) 会場 松本市教育文化センター 3階 視聴覚ホール
- (4) 講師 三澤 透 氏(信州大学全学教育機構准教授、松本市新科学館基本構想策定委員会委員長)
- (5) 対象 小学校高学年から成人

3 開催結果

(1) 参加者集計

今年度参加者数(A)	昨年度参加者数(B)	参加者増減(A-B)
112人	126人	14人減

(2) アンケート集計

裏面のとおり

4 今後について

来年度に向けて、多くの市民や子ども達が宇宙への興味・関心をより一層深めていけるよう、事業内容等について検討していきます。

担当

教育政策課 課長 小林 伸一

教育文化センター 所長 中村 誠

電話 32-7600



まつもと市民生きいき活動

- わたしは こころをみがき、からだを使おう
- あなたに あいさつをしよう
- このまちを きれいにしよう

1 講演会アンケートのまとめ

回答総数 59人 (回答率52.7%)

項目	細目	人数	人数計
年代	10歳未満	4	59
	10歳代	18	
	20歳代	7	
	30歳代	4	
	40歳代	14	
	50歳代	8	
	60歳代	3	
	70歳代	1	
	80歳代	0	
	不明	0	
地区	松本市内	47	59
	松本市外	10	
	不明	2	
企画・運営について	よい	52	59
	ふつう	6	
	よくない	1	
	不明	0	
継続開催の希望	希望する	57	59
	希望しない	0	
	どちらともいえない	2	

2 主な感想、意見等

三澤先生のわくわく星人の力をいただきました。わくわくして今後の勉強を頑張っていきます。
授業では聞けないような、先生の研究者としてのお話や、実際の研究の流れの詳細を聞いて、私自身もわくわくしました。ありがとうございました。
最近わくわくを忘れかけていたように思います。わくわくを大切にしたいと改めて思いました。
影絵というキーワードがおもしろそうだったので参加しました。研究者の様々な視点で説明していただき、とても良かったです。
資料に分光シートが付いていてとてもおもしろかったです。観測データが山の形になる仕組みをもっと詳しく知りたいと思いました。
研究者の実生活を少しだけ知ることができて、とても勉強になりました。
宇宙の研究の大切さが分かりました。新科学館の開館がたいへん楽しみです。
信州大学の学生ですが、三澤先生の授業でこの講演を知り、同時にこの施設を知りました。科学館やプラネタリウムにこれから行ってみたいと思います。私が子どもの頃にもこうした機会がたくさんあり、宇宙に興味を持ったため、子どもにも分かる企画でとても良いと感じました。
たいへんわくわくしながら拝聴しました。もっと多くの方(特に若い方)に聞いていただきたいです。録画してYouTubeにアップするとか、より多くの人と共有できるようなことを考えたらどうでしょうか。
ある程度仕方ないと思うが、メインタイトルよりサブタイトルの方に寄ってしまったのが少々残念だった。内容は素晴らしく、子どもたちにも届いたのではないかと感じた。
わくわくする心を持ち続けることは、非常に大切なことだと再認識しました。私も秋山さん(日本人初の宇宙飛行士)の宇宙からの中継は楽しく聞いていました。ラジオ放送をテープ録音していたことが懐かしく思い出されました。
宇宙と私たちの生活は、縁がないようで実は一番近いところにあるんだと感動しました。また、三澤先生のお話を聞きたいです。今日はありがとうございました。
親子で参加できる催し等もお願いします。

報告第 4 号

平成29年度児童生徒の生徒指導上の諸問題に関する調査結果について

1 趣旨

児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の松本市公立小中学校に関する結果について報告するものです。

2 報告内容

- (1) 小学校及び中学校における暴力行為の状況
- (2) 小学校及び中学校におけるいじめの状況
- (3) 小学校及び中学校における不登校の状況

3 調査対象校

- (1) 小学校29校（含 岡田小学校あさひ分校）
- (2) 中学校21校（含 女鳥羽中学校あさひ分校、波田中学校松原分校）

4 調査結果

- (1) 平成29年度における小学校及び中学校における暴力行為の状況

ア 暴力行為の発生学校数等（※加害児童生徒数は実人数）

校種	内訳 年度	発生学校数	発生件数	加害児童生徒数
小学校	H27	3	6	6
	H28	1	1	1
	H29	3	9	6
中学校	H27	6	17	18
	H28	4	19	20
	H29	4	12	10

イ 暴力行為の内訳

校種	内訳 年度	対教職員	対児童生徒	対人	器物破損	合計
小学校	H27	1	4	1	0	6
	H28	0	1	0	0	1
	H29	0	5	0	4	9
中学校	H27	4	6	2	5	17
	H28	1	13	0	5	19
	H29	0	10	0	2	12

ウ 学年別加害児童生徒の内訳

校種	学年 年度	1	2	3	4	5	6	合計
小学校	H27	0	2	0	3	1	1	7
	H28	0	0	0	0	0	1	1
	H29	0	2	0	0	2	2	6
中学校	H27	1	7	11				19
	H28	4	12	4				20
	H29	4	3	4				11

※ 内訳は、のべ人数ですので、実人数を記載している「ア 暴力行為の発生学校数等」の加害児童生徒数とは一致しません。

エ 調査結果について

- (ア) 発生件数は小学校で9件に増加し、中学校では12件に減少しました。また、発生件数に対して加害児童生徒数が少ないことから、同一児童生徒による事案が数件ありました。
- (イ) 内訳を見ると生徒間の暴力行為が最も多くなっています。この多くは、相手からからかわれたり、悪口を言われたりしたことに対する反抗的な態度や行為による事案でした。
- (ウ) 学年別加害児童生徒の内訳では、中学2年生で一昨年度と比べて大きく減少し、落ち着きのある生活を送ることができています。

(2) 平成29年度における小学校及び中学校におけるいじめの状況

ア 認知学校数

小学校29校中29校、中学校21校中18校

イ 認知件数

校種	調査時期	1	2	3	4	5	6	合計
小学校	H27	27	45	58	41	42	33	246
	H28	191	206	129	127	155	92	900
	H29	181	172	112	149	164	102	880
中学校	H27	77	23	19				119
	H28	99	66	22				187
	H29	152	76	41				269

ウ 発見に至った経緯別集計

	区 分	小学校	中学校
A	学級担任が発見	33	22
B	学級担任以外の教職員が発見（養護教諭・SCを除く）	3	9
C	養護教諭が発見	0	0
D	スクールカウンセラーが発見	0	0
E	アンケート調査等学校の取組により発見	529	166
F	本人からの訴え	204	48
G	当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え	57	14
H	児童生徒（本人を除く）からの情報	49	5
I	保護者（本人の保護者を除く）からの情報	4	4
J	地域住民からの情報	1	0
K	学校以外の関係機関（相談機関を含む）からの情報	0	1
L	その他（匿名による投書など）	0	0
	計	880	269

エ いじめの態様別集計（複数選択）

	区分	小学校	中学校
ア	冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	495	173
イ	仲間はずれ、集団による無視をされる	92	41
ウ	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	212	48
エ	ひどくぶつられたり、叩かれたり、蹴られたりする	52	15
オ	金品をたかられる	3	3
カ	金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	62	29
キ	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたりする	80	18
ク	パソコンや携帯電話等で誹謗中傷やいやなことをされる	4	13
ケ	その他	48	5

オ いじめの現在の状況

	区 分	小学校	中学校
1	解消しているもの（日常的に観察継続中）	685	197
2	解消に向けて取り組み中	194	70
3	その他	1	2
	計	880	269

カ 調査結果について

- (7) 認知の状況では、小学校はすべての学校で認知し、中学校では21校中18校が認知しました。認知件数0件であった中学校は山間小規模校と分校でした。
- (イ) 認知件数は、小学校では20件減少し、中学校では82件増加しました。全体の認知件数は多い状況が続いていますが、これは、文部科学省から認知件数について「法律上のいじめの定義に沿って認知する」よう見直しが指示され、各校においてごく初期段階のいじめも認知し対応している状況が現れた結果だと考えられます。
- (ウ) 発見に至った経緯では、小中学校とも「アンケート調査等学校の取組により発見」されたものが最も多く、次いで「本人からの訴え」によるものになっています。また、いじめの内容では、小中学校ともに、「冷やかしやからかい、悪口や嫌なことを言われる」という項目が最も多くなっており、次いで「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする」となっています。

(3) 平成29年度における小学校及び中学校における不登校の状況

ア 長期欠席児童生徒の集計

校種	年度	病気	経済的理由	不登校	その他	合計
小学校	H27	22	0	88	31	141
	H28	12	0	87	39	138
	H29	20	0	121	25	166
中学校	H27	49	0	235	14	298
	H28	60	0	242	16	318
	H29	54	0	258	11	323

イ 不登校の要因

		内容	小学校	中学校
分類		「学校における人間関係」に課題を抱えている。	22	38
		「あそび・非行」の傾向がある。	0	11
		「無気力」の傾向がある。	43	76
		「不安」の傾向がある。	42	91
		「その他」	14	42
		計	121	258
区分 (複数可)	学校に係わる状況	いじめ	1	1
		いじめを除く友人関係をめぐる問題	34	77
		教職員との関係をめぐる問題	4	11
		学業の不振	41	114
		進路に係る不安	1	23
		クラブ活動、部活動等への不適応	0	11
		学校のきまり等をめぐる問題	4	8
		入学、転編入学、進級時の不適応	4	19
	家庭に係る状況		86	136
	上記該当なし		9	40

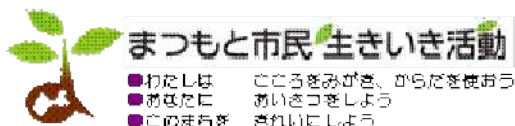
ウ 調査結果について

- (7) 長期欠席児童生徒は、小中学校合わせて489人でした。要因別では、経済的理由による欠席はなく、病気による欠席は小学校20人、中学校54人、計74人でした。また、不登校による欠席は小学校121人、中学校258人、計379人となり、一昨年度と比較して50人の増加でした。
- (イ) 不登校の要因の分類別にある「不安」の傾向の具体的な内容は、以下のようなものです。
- ・小学校：家庭環境に係るもの、友達との関係に係るもの、学習面に係るもの
 - ・中学校：人間関係に係るもの、家庭環境に係るもの、自分の体調に係るもの、技能教科を含む学習面に係るもの
- (ウ) 不登校の要因の区分別では、小中学校ともに「家庭に係る状況」が最も多く、次いで、「学業の不振」によるものでした。

5 今後の取組み

- (1) 暴力行為、いじめ、不登校とも、「未然防止に向けた取組み」、「早期発見・早期対応」、「児童生徒、保護者に寄り添った丁寧な事後指導」を継続して行うよう学校に助言していきます。特に、毎月取りまとめを行っている「不登校調査」と、2カ月に一度行っている「いじめ・体罰等の実態調査」に上がってきた児童生徒や、いじめ・体罰の事案について、学校と十分に情報共有を図り、その後の児童生徒や保護者の様子を丁寧に見守っていきます。
- (2) 子どもと教師との関係づくりや、主体的で対話的な子どもを育む授業のあり方など、いじめや不登校の未然防止に向けた取組みとして、「市立学校教職員研修」を引き続き継続していきます。教師と子どもとの接面を大切にしながら、その子の内面を深く知り、温かく見守りながら支援に当たっていくことができるよう、教員の育成を図っていきます。
- (3) 不登校児童生徒に係る状況については、一昨年度より不登校児童生徒への対応に特化した「自立支援教員」を中心に、対象となる子ども一人ひとりの将来を見据え、学習支援を更に充実していくとともに、社会的自立を目指した支援に取り組んでいきます。また、年4回行う自立支援教員報告会では、成功した事例や悩んでいることを互いに共有し、解決していくための糸口を見付けることができるような研修の機会を提供していきます。

担当	学校指導課
課長	横田 則雄
電話	33-4397



「学館松本」

教育委員会資料
30. 12. 20
こども部

報告第 5 号

まつもと子ども未来委員会による市長提言について

1 趣旨

松本市子どもの権利に関する条例に基づき、子どもの意見表明・参加の促進を図るために活動している第4期まつもと子ども未来委員会が、まちづくりに関する市長提言を実施しましたので、その結果の概要について報告するものです。

2 実施日

平成30年11月25日（日）

※ 「第35回松本市青少年健全育成市民大会・『松本子どもの権利の日』市民フォーラム」において実施

3 会場

勤労者福祉センター大会議室（松本市中央4-6-26）

4 参加者

- (1) まつもと子ども未来委員会 32名中22名
- (2) 市関係者 5名（市長、教育長、環境部長、こども部長、交通安全・都市交通課長）

5 提言テーマ

- (1) ごみ問題について
- (2) 交通ルールについて

6 その他

まつもと子ども未来委員会、提言内容及び提言に対する市関係者からのコメントについて、詳細は、別紙参考資料のとおり

担当	こども育成課
課長	青木 直美
TEL	34-3291



子どもたちに笑顔を、子どもたちから笑顔を、そして子どもたちと笑顔に



第4期まつもと子ども未来委員会の市長提言について

1 まつもと子ども未来委員会について

(1) 目的

子どもにやさしいまちづくりを一層進め、子どもの意見表明や参加の促進を図る。

(2) 内容

子どもたちが、学校、地域、年代を超えて、市政や地域の課題について学び、意見交換をするなどの活動をとおして、まちへの意識を高め、松本のまちづくりを子どもたち自らが考える。

(3) 委員数

小学5年生から高校2年生 32名

(4) 第4期のテーマ

今よりもっといい松本を作ろう！

(5) 活動内容

ア 松本市について学習、意見交換

イ ごみ拾い活動

ウ 市議会出前講座、意見交換会

エ 子ども交流事業（札幌市・奈井江町との子ども交流事業（8月実施））

2 提言内容

テーマ	ごみ問題	交通ルール
目指すまち	ポイ捨てを減らし、分別してごみを捨てることで、ごみの排出量を減らしたい。	交通事故をなくし、譲り合い運転のできる、「松本走り」がないまちにしたい。
松本市の現状	・ 自然が豊か。 ・ ごみ拾い活動を行っている。 ・ 道にごみ（ポイ捨て）がある。 ・ 県内で1人が1日に出すごみの量が最多	・ 子どもが交通ルールを守っている。 ・ 「スピード落とせ」等の看板がある。 ・ 逆走、割り込み、「松本走り」がある。 ・ 多国語表記の看板が少ない。
提言	・ 可燃ごみとプラスチックごみ等分別できるごみ箱を増やす。 ・ 3Rを広める。 ・ ポイ捨て禁止条例を広める。 ・ 店でポイ捨て禁止を呼びかける。	・ 取り締まりを強化する。 ・ 交通安全教室を増やす。 ・ 地域の放送や宣伝車で呼びかける。 ・ 多国語の看板を立てる。
提言に加えて	【大人にしてほしいこと】 ・ 海外での取組み（投票箱型の吸殻入れを設置）も参考にしながら、ポイ捨てを減らしてほしい。 ・ ごみは分別して捨ててほしい。 ・ リサイクルできるものは、捨てずに再利用してほしい。 【自分たちでもできること】 ・ ごみ拾い活動、3Rを広める活動に協力する。 ・ 環境問題について理解する。	【大人にしてほしいこと】 ・ 車で音楽を聞くときの音量に注意してほしい。 ・ 「松本走り」をしないでほしい。 【自分たちでもできること】 ・ 良い交通ルールのお手本を見せる。 ・ ルールを守っていない人に注意する。

3 市関係者からのコメント

(1) 菅谷市長

- ・ 松本のことを真剣に考えてくれたみんなが、これからの松本のことを背負ってくれることを、うれしく思います。担当している部長や課長から話のあったとおり、できることから始めていきたいと思っています。
- ・ ごみ問題について、観光客は、松本を「クリーン・シティだ」と言います。ごみのポイ捨てに気が付いたみんなは意外だと感じると思います。私も、「松本はきれいなまちなのでなく『市民がきれいにしているまち』だ」と言い直しています。
- ・ 交通ルールの問題について、「松本走り」という言葉がありますが、本当は松本だけの問題ではなく、他のまちでも問題があるようです。ただ、松本の場合は城下町なので道がせまく、複雑になっています。道を広げるのはとても大変なので、まちの中は、車ではなく、公共交通機関を使ってもらうように進めています。
- ・ また、自転車の事故も問題です。特に、高校生は、スマホを使ったり音楽を聞いたりしながら自転車を運転していることもあり、事故が多いです。交通事故にあうと、体に麻痺が残ることや死んでしまうこともあります。日本は、ただでさえ子どもが少なくなっているのに、事故のせいで子どもの健康が損なわれることは、別の大きな問題にもつながります。大人も気をつけますが、自分でも事故にあわないよう気をつけてほしいと思います。
- ・ 提言してくれたことを、ゆっくりでも粘り強く進めていくことは、市民にも観光客にも魅力的なもっといい松本を作ることにつながると 생각합니다。自分が住むまちに誇りを持つには、大人も子どもも自分の問題として意識し、責任をもって行動することが大切です。
- ・ 実は、松本は全国的にも評判が良いまちです。民間の調査機関によると、東京や大阪などの大きなまちもあるなかで、松本は昨年、全国で8位でした。今年は13位で、「生活や居住」「環境」というテーマだけで見ると2位です。提言された問題を直せば1位になるだろうと思います。そうしたら、みんなも一度松本から出たとしても、松本に戻ってきてください。

(2) 赤羽教育長

- ・ まず、未来委員会に自分で参加してみようと思ひ、行動してくれたことが素晴らしいと思います。新しい人と新しいことを学び合うことはとても大切です。これからも、自分で行動して、考えられる人になってほしいと思います。
- ・ ごみ問題については、目の前のことからもっと奥にあることを少しずつでも探っていただきたいと思っています。プラスチックごみが海に流れ着いてしまう話がありましたが、実はこれは、海で起きている遠い問題ではなく、身の回りの川や山から汚染は始まっているのです。
- ・ 交通ルールについても、横断歩道が少ないなど、車中心の社会で、人として暮らしにくいところがあると思います。しかし、これからは人間中心の社会に変わっていくだろうと思うので、自分たちがどう参加していくかを考えてほしいです。
- ・ 今回提言してくれた2つのことは、学校や地域でも話し合ってみてほしいと思います。松本は、市民全員で良いまちを作るように取り組んでいます。みんなのような人がまちづくりに加わってくれるなら、心強いと思っています。

(3) 土屋環境部長

- ・ ゴミ問題は生活の一部ではありますが、奥が深い問題で、特にポイ捨ては昔からある大きな問題です。人の生活が豊かになるにつれて、ゴミは増えています。昔から松本の人は、「自分のまちは自分でなんとかする」という気持ちがあり、ゴミ拾い運動には多くの人が参加してくれますし、学校や町会、会社でも取り組んでくれています。「市民がきれいにしているまち松本」が定着していると思います。
- ・ 観光客からも「松本はゴミが少ないきれいなまち」だと思われていますが、みんなが気付いてくれたように、よく見るとゴミが落ちています。
- ・ 分別できるゴミ箱を増やそうという意見がありました。ゴミ箱があると分別せずに捨ててしまうので、今は、家に持ち帰って分別して捨ててもらうことを基本に取り組んでおり、公園などにはゴミ箱はほとんど置いていません。
- ・ たばこの吸殻はゴミの問題だけでなく、健康の問題でもあります。たばこの煙の健康への害を防ぐためにも、たばこを吸える場所と吸えない場所を分けるのは大切です。吸える場所には、きちんと捨ててもらうための吸殻入れも必要です。投票箱型の吸殻入れのアイデアもおもしろいと思います。いろんなアイデアを大切に考えていきたいと思います。
- ・ 松本には焼却場も埋め立て場もあるので、ゴミはなぜ発生して、どう処理されるのか見ていただきたいと思っています。ゴミ問題は、世界共通の課題でもあるので、ぜひ、つきつめて考えていってほしいと思います。

(4) 伊佐治こども部長

- ・ 発表を聞いて、自分のマナーを見返す機会になりました。特に交通ルールの発表で、「子どもがルールを守っているのに大人が守っていない」という言葉には考えさせられました。
- ・ 交通ルールについても、ゴミ問題についても、子どもの方がマナーが良いと思います。どうして大人になるとルールやマナーを守れなくなってしまうのか考えてみると、まわりの大人がマナーを守っていないのに、自分だけ守ることが恥ずかしくなって、無意識で違反しているのだと思います。
- ・ 無意識で違反する人に、ルールやマナーを守ってもらうには、今日のように、大人が子どもに気付かされることも効果があると思います。警察の取り締まりもお願いしたいと思いますが、警察もずっと見ていないわけにはいきません。警察が見ていない所で違反してしまったら同じことなので、一人一人が自分で気付いてマナーを守れるようにしていくことが必要です。そのためにも、子どもたちの意見を大人が聞く、今日のような機会が大切だと思います。
- ・ みんなには、「子どもにやさしいまち」を作るために、いつも活動してもらっていますが、ゴミ問題を解決するまち、交通ルールを守るまちは、子どもだけでなく、すべての人にやさしいまちだと思うので、引き続き良い意見を聞かせてほしいと思います。

(5) 近藤交通安全・都市交通課長から

- ・ 取り締まりの強化という意見がありました。「強化」というものは、ただ何回も回数をこなすのではなく、事故の多い場所や時間などをよく分析して、いつどこで取り締まりをやるのが効果的なのかを考えることが重要です。ただ、取り締まりは、市役所ではなく警察の仕事なので、今回の意見は責任をもって警察に伝えます。

- ・ 地域の放送や宣伝車で呼びかけるという意見もありました。これまで、交通ルールについては、「広報まつもと」やチラシを使って呼びかけてきましたが、なかなかすぐに効果がでません。これから、今回の意見を参考にして、粘り強く呼びかけていきたいです。
- ・ 交通安全教室については、松本市でも保育園や幼稚園、高校生、高齢者を対象に開催しています。大人の講習は、運転免許の書き換えのときに行うことが多かったのですが、警察署や地区の交通安全協会と相談していきたいです。
- ・ 外国語の看板について、松本には多くの外国人が観光などを目的に來ています。交通標識に限らず、外国人に分かるように、様々な看板が必要になると思います。
- ・ 今回は、提言だけでなく、自分たちにできることの発表もありました。特に、音楽が大きすぎるという意見もありましたが、同じように、イヤホンを使って自転車を運転することも良くないことです。みんなには、ルールを知って、守って、ぜひ大人のお手本になってほしいです。
- ・ 運転するすべての人に対する思いやりをもち、お互いにゆずり合えるまちになれば、交通事故・松本走りがないまちになると思います。

【提言の様子】



教育委員会資料
30.12.20
美術館

周知事項 1

生誕110周年記念 関四郎五郎特集展示の開催について

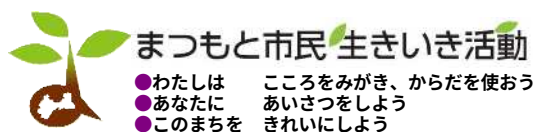
1 趣旨

松本市に生まれ、長野県の戦後美術を支えた関四郎五郎（1908～1971）の生誕110周年を記念した特集展示を開催することについて周知するものです。

2 概要

- (1) 内容 松本市所蔵作品を軸に、県内の美術館、個人・団体等が所蔵する代表作を加えた絵画、約50作品を展示。
- (2) 主催 松本市美術館
- (3) 会期 平成30年12月27日(木)から平成31年5月6日(祝・月)まで
- (4) 会場 松本市美術館 常設展示室B・C
- (5) 開館時間 9時から17時まで(入場は閉館の30分前まで)
- (6) 休館日 月曜日（祝日の場合は次の平日）、12月29日（土）から1月2日（水）まで
- (7) 料金 大人410円、大学高校生200円
※20名以上の団体当日券は100円引き
※70歳以上の松本市民、中学生以下は無料
※障害者手帳携帯者とその介助者1名は無料

担 当	美術館
副館長	小口 一夫
電 話	39-7400



「学都松本へ」

教育委員会資料
30. 12. 20
博物館

周知事項 2

松本市立博物館分館の企画展開催について

1 趣旨

松本市立博物館の分館で下記のとおり企画展を開催することについて周知するものです。

2 開催内容

(1) 松本市はかり資料館 企画展「中町今昔物語展」

- ア 内容 明治から昭和時代の中町・中町周辺の様子を、写真パネルで紹介します。また、所蔵資料の中から、当時の人々の生活に関わる資料を展示します。
- イ 期間 平成31年1月4日（金）から2月11日（月）まで
- ウ 会場 松本市はかり資料館 第1展示室
- エ 観覧料 大人200円 中学生以下は無料（通常観覧料）
- オ 展示資料 ①明治から昭和の中町・中町周辺の写真パネル13点
②アイロンやレコードなど、当時の人々の生活に関する資料7点

(2) 松本市時計博物館 企画展「あめ市歴史展示 絵図にみるあめ市」

- ア 内容 あめ市の歴史を資料展示などにより紹介するとともに、江戸から明治時代にかけて描かれた絵図を取り上げ、あめ市の賑わいや当時の様子について展示をします。
- イ 期間 平成31年1月4日（金）から1月27日（日）まで
- ウ 会場 松本市時計博物館 3階 企画展示室
- エ 観覧料 無料（ただし、1・2階常設展は通常観覧料が必要です）
- オ 展示資料 「市神祭之図」「善光寺道名所図会」「松本繁昌記」等の資料・写真パネル等約50点

担当 博物館
館長 木下 守
電話 32-0133



学都松本へ
松本は屋根のない博物館！松本の歩みと文化を知る。
松本の今にふれ、未来を思う。
——まるごと松本を知る旅のスタート地点です。



「学都松本」

周知事項 3

「殿村遺跡とその時代IX—平成30年度報告会・講演会—」の開催について

1 趣旨

殿村遺跡調査の普及公開事業の一環として、標記事業を開催することについて周知するものです。開催9回目を迎える今回は、これまでの調査成果を報告するとともに、古代・中世の寺院研究の第一人者である久保智康氏による講演会を行います。

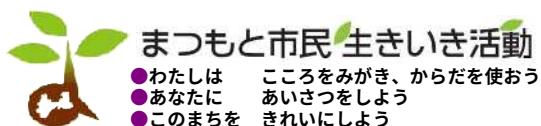
2 開催内容

- (1) 日時 平成31年1月20日（日） 13時から15時40分まで
- (2) 会場 ピナスホール（四賀支所1階）
- (3) 内容
 - ア 殿村遺跡調査概要報告 文化財課調査担当者
 - イ 講演「殿村遺跡とその時代～古代・中世の山と寺社」
講師 久保智康（京都国立博物館名誉館員）
- (4) 参加料 無料
- (5) 申込み方法 事前申込み不要

3 周知方法

- (1) チラシ配布（四賀地区全戸）
- (2) ポスター掲示（市内・県内主要公共施設）
- (3) 広報まつもと1月1日号への掲載
- (4) 市公式ホームページへの掲載

担当 文化財課
課長 大竹永明
電話 34-3292



「学都松本へ」

殿村遺跡と その時代IX

平成30年度
報告会・講演会

平成31年

1月20日(日)

午後1時～3時40分

会場：ピナスホール
(松本市役所
四賀支所1階)

参加無料
申し込み不要

プログラム

報告「殿村遺跡と虚空蔵山の宗教空間」

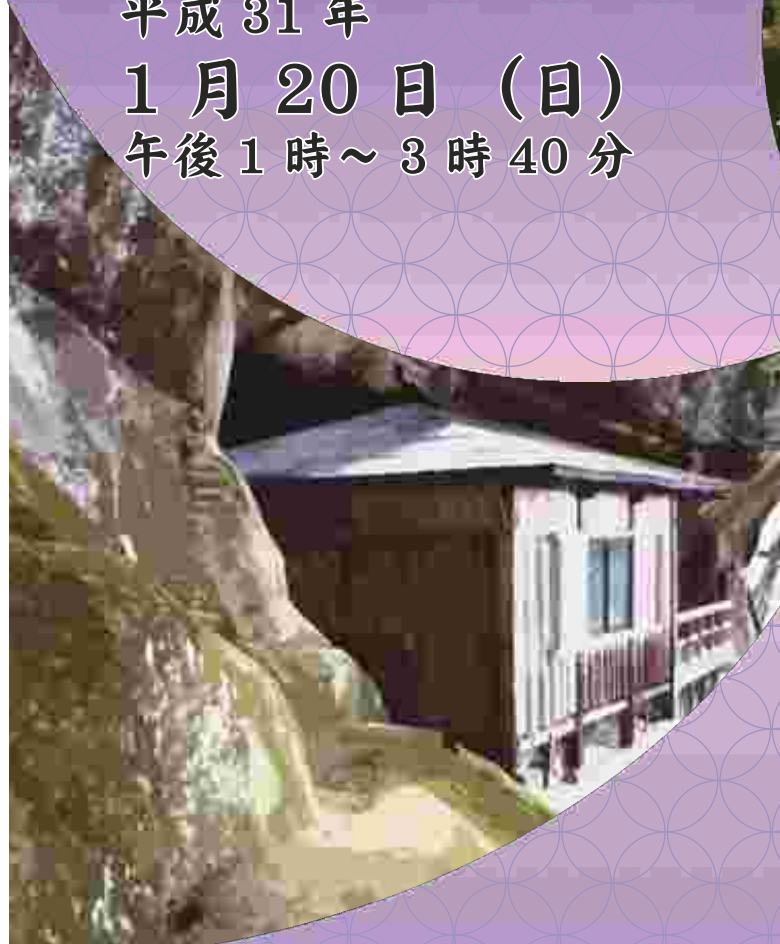
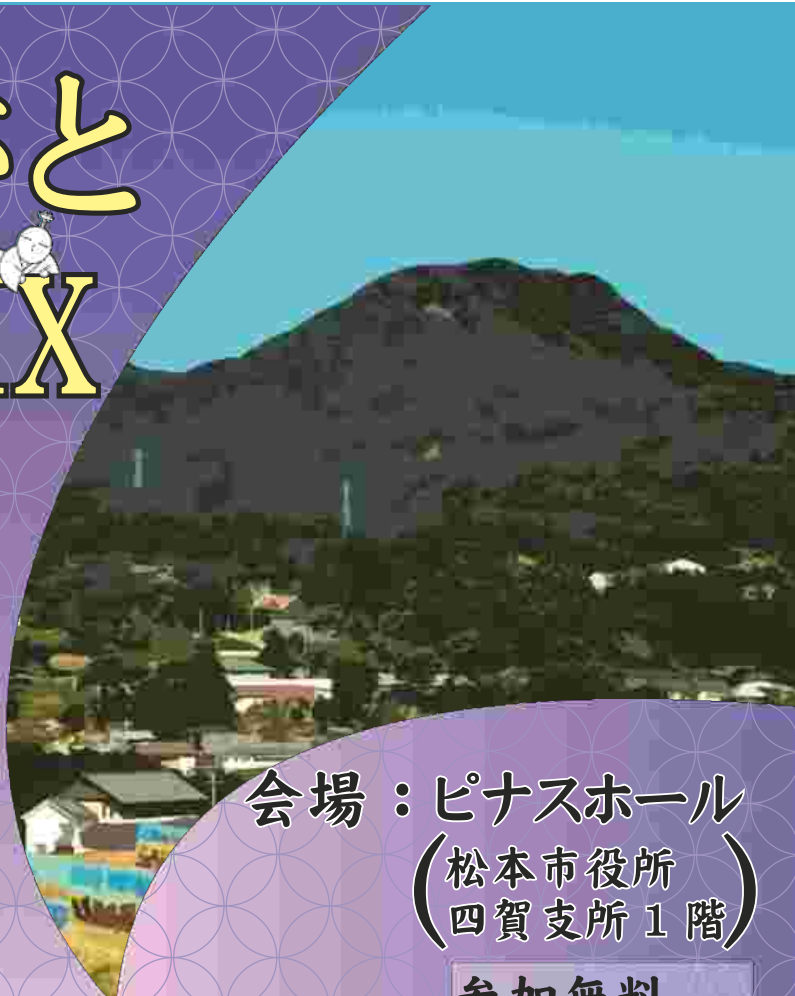
…松本市教育委員会文化財課 竹原 学

講演「殿村遺跡とその時代

—古代・中世の山と寺社—

…京都国立博物館名誉館員 久保智康氏

主催：松本市教育委員会（文化財課史跡整備担当 ☎0263-85-7064）





講演会 殿村遺跡とその時代 —古代・中世の山と寺社—

虚空蔵山は古くから人びとの信仰を集めていました。古代、山の上の岩場や磐座は修行の場となり、中世までに会田を中心とした山麓に宗教の拠点がつくられました。殿村遺跡はそのなかで成立した寺院跡であると考えられます。虚空蔵山と殿村遺跡、山と寺社のかかわりとは？ 古代・中世の寺院研究の第一人者が信州の古代山寺の動向について、仏教史をふまえて語ります。



講師プロフィール 久保 智康 (くぼ ともやす) 氏

1958 年、福井県生まれ。

福井県立博物館学芸員、京都国立博物館研究員を経て、
叡山学院教授、京都国立博物館名誉館員。天台宗窓安寺住職。

専門：考古学・美術史

〔主な著書論文〕

『もっと知りたい仁和寺の歴史』 東京美術

『日本の古代山寺』 高志書院

『東アジアをめぐる金属工芸 中世・国際交流の新視点』 勉誠出版

『出雲鰐淵寺の神と仏—鏡像・懸仏の尊格をめぐる—』（『叡山学院研究紀要』 85 号）

『宗教空間としての山寺と社—古代出雲を例に—』（『季刊考古学』 121 号）

『古代出雲の山寺と社』『大出雲展』（特別展覧会図録）京都国立博物館



周知事項 4

松本市美術館館長アートレクチャーの開催について

1 趣旨

松本市美術館の教育・普及事業の一環として、小川稔館長が、日本美術のあけぼのから現在までを時代、テーマごとに解説するアートレクチャーを開催することについて周知するものです。

2 アートレクチャーの概要

- (1) 事業名 松本市美術館館長アートレクチャー「よみなおし日本美術史」
- (2) 内容 小川稔館長が、日本美術史を時代、テーマごとに解説する平成26年度からのシリーズ企画で、今回は6回にわたって室町から安土桃山時代を取り上げます。

(3) 期日及びテーマ

期日	テーマ
1月19日(土)	室町時代後期から戦国時代の美術
26日(土)	漢画と大和絵 ー狩野派の成立
2月 2日(土)	狩野永徳について
23日(土)	長谷川等伯について
3月 2日(土)	安土桃山時代の美術 ー南蛮美術その他
16日(土)	茶の湯の美術 ー千利休を中心に

- (4) 会場 松本市美術館講座室
- (5) 時間 13時30分から15時まで（開場は13時から）
- (6) 定員 各日45人（申込み不要、当日先着順）

3 周知方法

- (1) 広報まつもとへの掲載
- (2) 松本市公式ホームページ、美術館ホームページへの掲載
- (3) 報道機関への周知

担 当 美術館
副館長 小口 一夫
電 話 39-7400



まつもと市民生きいき活動

●わたしは ころをみがき、からだを使おう
●あなたに あいさつをしよう
●このまちを きれいにしよう



「学都松本」

松本市美術館館長アートレクチャー

よみなおし 日本美術史

其の⑤

安土桃山時代の美術
——南蛮美術その他

3月2日(土)

其の①

室町時代後期
～戦国時代の美術

1月19日(土)

其の②

漢画と大和絵
——狩野派の成立

1月26日(土)

其の⑥

茶の湯の美術
——千利休を中心に

3月16日(土)

其の③

狩野永徳について

2月2日(土)

其の④

長谷川等伯について

2月23日(土)

各日13:30～15:00

開場13:00～

興味のある回にご参加ください。

【会場】松本市美術館 講座室

【定員】45人

【申込】不要、当日先着順

【料金】無料

【講師】小川稔

(松本市美術館館長)



問い合わせ TEL.0263-39-7400



松本市美術館

MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART

〒390-0811 長野県松本市中央 4-2-22 FAX.0263-39-3400



◇松本バスターミナルからアルピコ交通バス・横田信大循環線 5分 [松本市美術館] 下車
◇JR松本駅からタウンスニーカー(市内周遊バス) 東コース 14分 [松本市美術館] 下車
◇JR松本駅から徒歩 12分 ◇長野自動車道松本インターチェンジから車で 15分

を取り上げます。

室町後期～安土桃山時代

今回は6回にわたって

時代、テーマごとに解説します。

あけぼのから現在までを

小川稔館長が日本美術の